

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

平成 16 年 (2004 年)

愛媛県感染症情報センター
(愛媛県立衛生環境研究所)

はじめに

平成 16 年愛媛県感染症発生動向調査事業を御報告申し上げます。

平素、当事業への御支援、御協力に感謝申し上げますとともに、御一読の上、御助言、御教示賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年目立った感染症として、これまで漸減傾向にあった腸管出血性大腸菌感染症及び感染性胃腸炎の大幅な増加と散発性も含め集団発生の多発が有りました。E 型肝炎でも認められた肉類等の生食の関与が冬期の貝類の生食ともどもリスク要因として認められ、広範な普及啓発が求められています。また、昨年始めて報告のあった日本紅斑熱、生態系が変化したのか県内に定着したようで注意を要します。

所で、今年西日本で発生した養鶏場での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）、リアルタイムで正に現在、国内では関東での弱毒株（H5N2）の侵入に留まっていますが、海外では東南アジアからロシアへと世界的に拡大しつつあり、パンデミックインフルエンザの発生危機の可能性も懸念されています。今後、その動向からは目を離せません。

終わりに、感染症発生動向の監視を目的とした当事業の重要性が益々増す中、迅速、正確、有効に機能し、更に、関係各位との密接な情報網が構築されますよう御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

平成 17 年 9 月

愛媛県立衛生環境研究所

所長 井上博雄

目 次

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要	1
指定届出機関一覧	3
2004年(平成16年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -	5
報告週対応表	
1 全数把握対象 ー 五類感染症	
(1) 一類感染症	5
(2) 二類感染症	5
(3) 三類感染症	5
(4) 四類感染症	7
(5) 五類感染症	8
表2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	11
表2-1-2 2004年全数把握対象疾患発生状況(月別)	12
表2-1-3 2004年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	13
表2-1-4 2004年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	14
2 定点把握対象 五類感染症	
(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況	16
表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数	18
表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数	20
表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	22
表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数	23
表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり報告数	24
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	25
(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)	26
(3) 小児科定点対象疾患(週報)	28
(4) 眼科定点対象疾患(週報)	54
(5) 基幹定点対象疾患(週報)	58
(6) STD定点対象疾患(月報)	64
(7) 基幹定点対象疾患(月報)	70

2004年(平成16年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -

1 細菌検査状況	73
(1) 全数把握対象感染症	73
細菌性赤痢	73
腸管出血性大腸菌	73
(2) 定点把握対象感染症	77
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77
感染性胃腸炎	78
2 ウイルス検査状況	79
(1) 病原体定点種類別検体数	79
(2) 気道感染症等由来検体からの検出	81
(3) 感染性胃腸炎からの検出	88

2004年(平成16年)結核発生動向調査結果(速報値)

1 概況	91
2 新登録患者の状況	91
3 年末現在結核登録者の状況	93
表4-1 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、保健所別(速報値)	94
表4-2 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、性、年齢階級別(速報値)	94
表4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	95
表4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	95
表4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	95
表4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	95
表4-7 2004年新登録患者数 - 登録時結核病類、性、年齢階級別	96
表4-8 2004年新登録肺結核患者数 - 登録時職業、菌情報、保健所別	96
表4-9 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見方法別	97
表4-10 2004年新登録有症状肺結核患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見の遅れの期間別	97
表4-11 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、化療内容、保健所別	98
表4-12 2004年年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、保健所別	100
表4-13 2004年年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、性、年齢階級別	100

資料

1 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱	101
2 愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱	122
3 愛媛県感染症発生動向調査病原体検査要領	124

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

本事業は、感染症の患者発生に関する情報（患者情報）と、感染症の病原体に関する情報（病原体情報）を迅速かつ的確に収集及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ的確な感染症対策の確立に資することを目的とし、「愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱」（平成 13 年 1 月施行）に基づき、実施している。

対象疾患は一類から五類感染症 86 疾患である。このうち一類から四類感染症 44 疾患と五類感染症 14 疾患の合計 58 疾患は全医療機関を対象とする全数把握感染症で、その他の五類感染症 28 疾患は指定届出機関（定点）が週単位あるいは月単位で報告する定点把握感染症である。

1 一類感染症(7 疾患)

エボラ出血熱，クリミア・コンゴ出血熱，重症急性呼吸器症候群（病原体が S A R S コロナウイルスであるものに限る），痘そう，ペスト，マールブルグ病，ラッサ熱

2 二類感染症(6 疾患)

コレラ，細菌性赤痢，腸チフス，パラチフス，ジフテリア，急性灰白髄炎

3 三類感染症(1 疾患)

腸管出血性大腸菌感染症

4 四類感染症(30 疾患)

E 型肝炎，ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む），A 型肝炎，エキノコックス症，黄熱，オウム病，回帰熱，Q 熱，狂犬病，高病原性鳥インフルエンザ，コクシジオイデス症，サル痘，腎症候性出血熱，炭疽，つつが虫病，デング熱，ニパウイルス感染症，日本紅斑熱，日本脳炎，ハンタウイルス肺症候群，B ウイルス病，ブルセラ症，発しんチフス，ボツリヌス症，マラリア，野兔病，ライム病，リッサウイルス感染症，レジオネラ症，レプトスピラ症

5 五類感染症(42 疾患)

(1) 全数把握の対象(14 疾患)

アメーバ赤痢，ウイルス性肝炎(E 型及び A 型肝炎を除く)，急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)，クリプトスポリジウム症，クロイツフェルト・ヤコブ病，劇症型溶血性レンサ球菌感染症，後天性免疫不全症候群，ジアルジア症，髄膜炎菌性髄膜炎，先天性風しん症候群，梅毒，破傷風，バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症，バンコマイシン耐性腸球菌感染症

(2) 定点把握の対象(28 疾患)

インフルエンザ定点の対象(1 疾患)

インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

小児科定点の対象(13 疾患)

R S ウイルス感染症，咽頭結膜熱，A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎，感染性胃腸炎，水痘，手足口病，伝染性紅斑，突発性発しん，百日咳，風しん，ヘルパンギーナ，麻しん(成人麻しんを除く)，流行性耳下腺炎

眼科定点の対象(2 疾患)

急性出血性結膜炎，流行性角結膜炎

STD 定点の対象(4 疾患)

性器クラミジア感染症，性器ヘルペスウイルス感染症，尖圭コンジローマ，淋菌感染症

基幹定点の対象(8 疾患)

クラミジア肺炎(オウム病を除く)，細菌性髄膜炎(真菌性を含む)，無菌性髄膜炎，マイコプラズマ肺炎，成人麻しん，ペニシリン耐性肺炎球菌感染症，メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症，薬剤耐性緑膿菌感染症

なお、結核予防法の規定による届出等に基づく結核患者の情報についても同事業で扱っている。

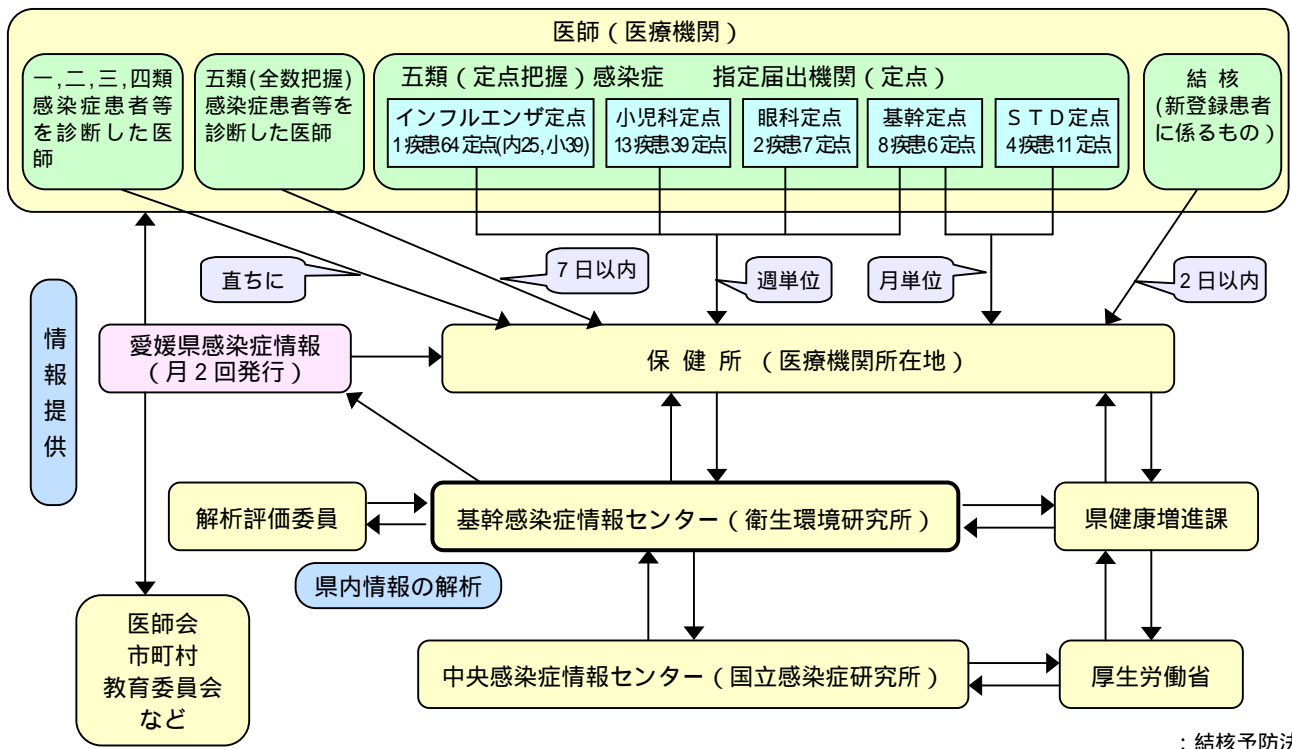
定点にはインフルエンザ定点(内科と小児科)、小児科定点、眼科定点、STD 定点(皮膚科、泌尿器科、婦人科)、基幹定点(内科と小児科を持つ300床以上の病院)の5種類あり、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されている。また、これらの定点の中から病原体定点を設定し、病原体の分離等の検査情報を収集している。

表 保健所別定点数

保健所	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	病原体
四国中央	5	3		1	1	2
新居浜	7	4	1	1	1	2
西条中央	5	3		1		1
今治中央	8	5	1	1	1	3
松山市	16	10	3	4		4
松山中央	8	5	1	1	1	3
大洲	3	2				1
八幡浜中央	5	3		1	1	2
宇和島中央	7	4	1	1	1	2
合計	64	39	7	11	6	20

小児科定点はインフルエンザ定点を兼ねる。

医療機関からの患者情報は保健所を通じて愛媛県基幹感染症情報センター(衛生環境研究所)へ集約され、中央感染症情報センターへ報告するとともに関係機関へ週報単位で還元している。また月2回、解析評価委員による県内情報の解析・評価が行われ、その結果を「愛媛県感染症情報」として関係機関に提供している。これらの情報はホームページでも公開している。



: 結核予防法

図 愛媛県における感染症発生動向調査事業のながれ

指定届出機関一覧(平成16年)

(平成16年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点	備考
松山市	インフルエンザ	稲田内科消化器科医院	松山市		16年9月まで
		今村循環器科内科	松山市		16年10月から
		おおの内科消化器科医院	松山市		16年9月まで
		矢野内科	松山市		16年10月から
		沖永内科医院	松山市		
		重松内科胃腸科医院	松山市		
		久野内科	松山市		
		永山内科	松山市		
	小児科	石丸小児科医院	松山市		
		いとう小児科	松山市		
		加賀田小児科	松山市		
		平井こどもクリニック	松山市		
		河野小児科医院	松山市		
		児玉小児科医院	松山市		
		徳丸小児科医院	松山市		
		新野小児科	松山市		
		まつうら小児科	松山市		
		くす小児科	松山市		
	眼科	高岡眼科小児科医院	松山市		
		吉田眼科	松山市		
		一色眼科	松山市		
	STD	松山市赤十字病院(泌尿器科)	松山市		
		銚石医院	松山市		
松山市民病院(産婦人科)		松山市			
米本産婦人科医院		松山市			
四国中央	インフルエンザ	矢部内科	四国中央市		
		川関高橋医院	四国中央市		
	小児科	川上こどもクリニック	四国中央市		
		大坪小児科	四国中央市		
		鈴木医院	四国中央市		
	STD	大西泌尿器科クリニック	四国中央市		
基幹定点	県立三島病院	四国中央市			
新居浜	インフルエンザ	発知医院	新居浜市		
		浜本内科	新居浜市		
		石川内科	新居浜市		16年6月まで
		中萩診療所	新居浜市		16年7月から
	小児科	山本小児科クリニック	新居浜市		
		マナベ小児科	新居浜市		
		しおだこどもクリニック	新居浜市		
		松浦小児科医院	新居浜市		
眼科	鈴木眼科	新居浜市			
STD	なめだ皮膚科医院	新居浜市			
基幹定点	住友別子病院	新居浜市			
西条中央	インフルエンザ	医療法人土岐医院	西条市		
		福田医院	西条市		
	小児科	高橋こどもクリニック	西条市		
		医療法人ながい小児科	西条市		
		井上医院	西条市		
STD	西条市立周桑病院	西条市			

(平成16年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点	備考	
今治中央	インフルエンザ	瀬戸内海病院	今治市			
		消化器科久保病院	今治市			
		重見内科医院	今治市			
	小児科	みぶ小児科	今治市			
		まつい小児科	今治市			
		今岡小児内科	今治市			16年3月まで
		済生会今治病院	今治市			16年4月から
		医療法人起生会 武田医院	今治市			16年3月まで
		あおい小児科	今治市			16年4月から
		喜多嶋診療所	越智郡			
	眼科	高木眼科病院	今治市			
	STD	今井皮膚泌尿器科医院	今治市			
基幹定点	県立今治病院	今治市				
松山中央	インフルエンザ	医療法人かざはやクリニック	北条市			
		きむら内科クリニック	伊予市			
		みかわクリニック	上浮穴郡			
	小児科	檜垣小児科内科医院	北条市			
		久万高原町立病院	上浮穴郡			
		宇山小児科	伊予市			
		小泉小児科	伊予郡			16年4月まで
		むかいだ小児科	伊予郡			16年5月から
	いのうえ小児科	東温市				
	眼科	いずみだ眼科	東温市			
STD	村上ひ尿器科皮ふ科	北条市				
基幹定点	愛媛大学医学部附属病院	東温市				
大洲	インフルエンザ	市立大洲病院	大洲市			
	小児科	亀井小児科	大洲市			
		ごうお小児科医院	大洲市			
八幡浜中央	インフルエンザ	三瓶病院	西予市			
		西予市立野村病院	西予市			
	小児科	守口小児科医院	八幡浜市			
		芳我小児科	八幡浜市			
		山下小児科	西予市			
	STD	しまだ医院	八幡浜市			
基幹定点	市立八幡浜総合病院	八幡浜市				
宇和島中央	インフルエンザ	田中循環器科内科医院	宇和島市			
		町立吉田総合病院	北宇和郡			
		粉川内科	南宇和郡			
	小児科	市立宇和島病院	宇和島市			
		石川医院	宇和島市			
		桑折小児科	宇和島市			
		県立南宇和病院	南宇和郡			
	眼科	阿部眼科	宇和島市			
	STD	秋山皮膚泌尿器科医院	宇和島市			
基幹定点	市立宇和島病院	宇和島市				

2004 年（平成 16 年）感染症発生動向調査結果
- 患者情報 -

2004年(平成16年)感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
1				1	2	3	4
2	5	6	7	8	9	10	11
3	12	13	14	15	16	17	18
4	19	20	21	22	23	24	25
5	26	27	28	29	30	31	

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
27				1	2	3	4
28	5	6	7	8	9	10	11
29	12	13	14	15	16	17	18
30	19	20	21	22	23	24	25
31	26	27	28	29	30	31	

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5							1
6	2	3	4	5	6	7	8
7	9	10	11	12	13	14	15
8	16	17	18	19	20	21	22
9	23	24	25	26	27	28	29

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
31							1
32	2	3	4	5	6	7	8
33	9	10	11	12	13	14	15
34	16	17	18	19	20	21	22
35	23	24	25	26	27	28	29
36	30	31					

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
10	1	2	3	4	5	6	7
11	8	9	10	11	12	13	14
12	15	16	17	18	19	20	21
13	22	23	24	25	26	27	28
14	29	30	31				

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
36			1	2	3	4	5
37	6	7	8	9	10	11	12
38	13	14	15	16	17	18	19
39	20	21	22	23	24	25	26
40	27	28	29	30			

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
14				1	2	3	4
15	5	6	7	8	9	10	11
16	12	13	14	15	16	17	18
17	19	20	21	22	23	24	25
18	26	27	28	29	30		

10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
40					1	2	3
41	4	5	6	7	8	9	10
42	11	12	13	14	15	16	17
43	18	19	20	21	22	23	24
44	25	26	27	28	29	30	31

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
18						1	2
19	3	4	5	6	7	8	9
20	10	11	12	13	14	15	16
21	17	18	19	20	21	22	23
22	24	25	26	27	28	29	30
23	31						

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
45	1	2	3	4	5	6	7
46	8	9	10	11	12	13	14
47	15	16	17	18	19	20	21
48	22	23	24	25	26	27	28
49	29	30					

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
23		1	2	3	4	5	6
24	7	8	9	10	11	12	13
25	14	15	16	17	18	19	20
26	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30				

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
49			1	2	3	4	5
50	6	7	8	9	10	11	12
51	13	14	15	16	17	18	19
52	20	21	22	23	24	25	26
53	27	28	29	30	31		

「愛媛県感染症情報」 発行日

2004年(平成16年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -

1 全数把握対象 一～五類感染症

(1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

(2) 二類感染症

細菌性赤痢

細菌性赤痢は3人の届出があり、20歳代女性、40歳代男性、50歳代男性各1人であった。推定感染地は海外2人(インドネシア、中国)、国内1人であった。分離された菌型は3人すべてフレキシネル型であった。

(3) 三類感染症

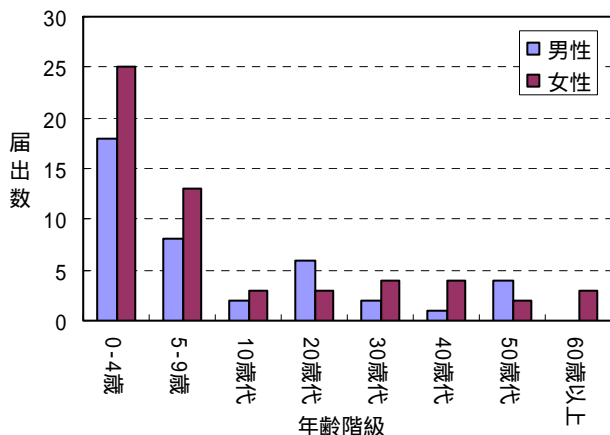
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は33事例98人の届出があり、1999年以降では最も多い届出数であった。性別は男性41人、女性57人で女性がやや多かった。年齢別では0～4歳が43人と最も多く、5～9歳が21人、10歳代5人、20歳代9人、30歳代6人、40歳代5人、50歳代6人、60歳代1人、70歳以上2人であり、10歳未満が全体の65.3%を占めた。

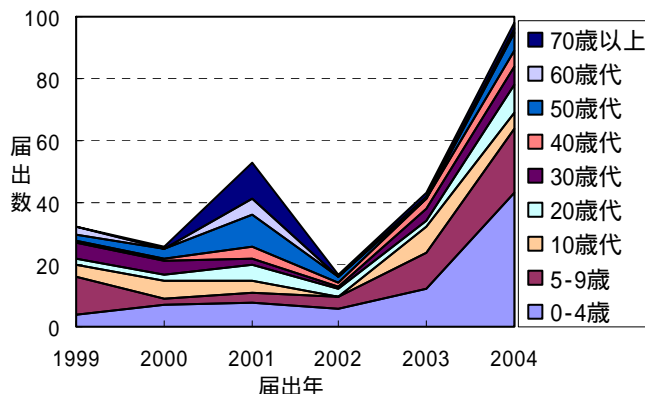
血清型(Vero毒素型)はO26(VT1)が59人、O157が37人(VT1・VT2が28人、VT1が1人、VT2が8人)、O63(VT2)が1人、O111(VT1)が1人であった。2004年はO26(VT1)による届出が急増し、全体の60%を占めた。

月別に届出数の推移を見ると、5月末に松山市の幼稚園(事例3)、8月中旬に西予市の保育所(事例13)で、いずれもO26による集団発生があったため、6月及び8月に乳幼児を中心としたO26の届出数が増加した。その後10月末～11月にかけて、今治地区及び中予地区でO157(VT1・VT2)による散発あるいは家族内感染事例(事例22～32)が多発したため、11月にO157の届出数が増加した。

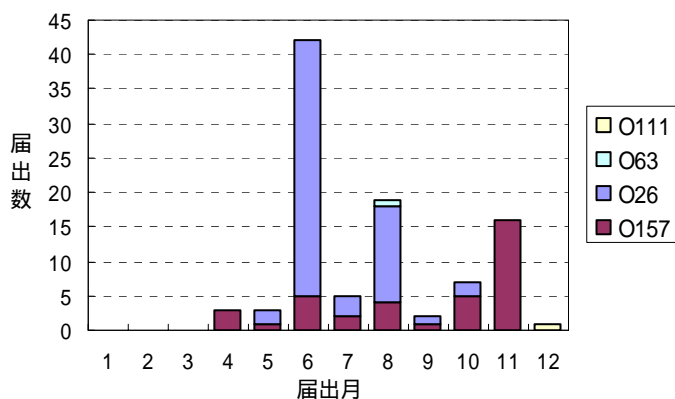
年齢階級・性別患者数(2004年)



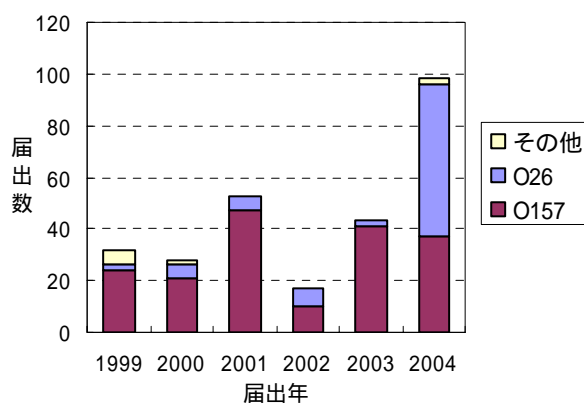
年齢階級別患者数(年推移)



月別・血清型別患者数(2004年)



血清型別患者数(年推移)



腸管出血性大腸菌感染症 事例別一覧

事例番号	届出月日	発生地 (患者所在地)	血清型	ベロ毒素	患者・感染者数
1	4月5日	松山市	O157	VT1・VT2	1
2	4月16日～	今治市	O157	VT1・VT2	2
3	5月27日～	松山市	O26	VT1	38
4	5月31日	新居浜市	O157	VT1・VT2	1
5	6月9日	温泉郡	O26	VT1	1
6	6月12日	松山市	O157	VT1・VT2	1
7	6月21日	越智郡	O157	VT2	1
8	6月24日～	松山市	O157	VT1・VT2	3
9	7月1日	西予市	O157	VT1・VT2	1
10	7月12日～	松山市	O26	VT1	3
11	7月20日	越智郡	O157	VT2	1
12	8月11日	松山市	O157	VT1・VT2	1
13	8月11日～	西予市	O26	VT1	15
14	8月13日	高松市	O157	VT2	1
15	8月18日	伊予市	O63	VT2	1
16	8月23日	新居浜市	O157	VT1	1
17	8月27日	越智郡	O157	VT1・VT2	1
18	9月10日	松山市	O157	VT2	1
19	10月2日～	松山市	O26	VT1	2
20	10月9日	喜多郡	O157	VT2	1
21	10月16日～	松山市	O157	VT2	3
22	10月22日	今治市	O157	VT1・VT2	1
23	11月11日～	越智郡	O157	VT1・VT2	2
24	11月13日～	松山市	O157	VT1・VT2	2
25	11月16日～	東温市	O157	VT1・VT2	2
26	11月16日	伊予市	O157	VT1・VT2	1
27	11月16日	松山市	O157	VT1・VT2	1
28	11月16日	今治市	O157	VT1・VT2	1
29	11月18日	松山市	O157	VT1・VT2	1
30	11月22日	東温市	O157	VT1・VT2	1
31	11月22日	松山市	O157	VT1・VT2	4
32	11月30日	伊予市	O157	VT1・VT2	1
33	12月28日	今治市	O111	VT1	1
計					98

(4) 四類感染症

E 型肝炎

E 型肝炎は 2 人の届出があった。1 人はインドでの感染が推定される 20 歳代男性で、A 型肝炎との重複感染であった。1 人は国内での感染が推定される 50 歳代女性であった。国内感染例の多くはイノシシやシカ等の野生動物の生肉が原因と考えられており、本症例においてもイノシシ肉の摂食歴があった。

A 型肝炎

A 型肝炎は 2 人の届出があった。1 人は上記のとおりインドでの感染が推定される 20 歳代男性で、E 型肝炎との重複感染であった。また、国内での感染が推定される 30 歳代女性の届出が 9 月に 1 人あったが、感染経路は不明であった。2003 年は 18 人の届出があったが、2004 年は 2001 年と並んで最も少ない届出数であった。

オウム病

1999 年以降、県内ではじめて 1 人の届出があった。患者は 70 歳代女性で、メジロを飼育中の感染が推定された。

日本紅斑熱

日本紅斑熱は 5～11 月の間に宇和島中央保健所管内から 6 人の届出があった。性別は男性 1 人、女性 5 人であり、年齢は 30 歳代 1 人、50 歳代 3 人、60 歳代 1 人、70 歳代 1 人であった。いずれも国内での感染であり、すべてダニ（マダニ）による刺咬歴が確認された。媒介動物との接触場所は、みかん山 4 人、公園 1 人、不明 1 人であった。日本紅斑熱は 2003 年に県内で初めて 2 人の患者が確認されたが、2004 年は 6 人に急増しており、今後の動向に注意が必要である。

マラリア

20 歳代女性 1 人の届出があった。推定感染地域はインドネシアであり、三日熱マラリアが検出された。

レプトスピラ症

2003 年 11 月の法改正で対象疾患となった後、県内ではじめて 1 人の届出があった。患者は 60 歳代男性で、水害の後片付け中の感染が推定された。

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は3人の届出があった。年齢及び性別は20歳代女性1人、30歳代男性1人、30歳代女性1人であった。推定される感染地域は、シンガポール1人、日本国内1人、不明1人であり、いずれも推定感染経路は不明であった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）として8人の届出があり、B型6人、C型1人、その他（EBウイルス）1人であった。すべて国内での感染が推定された。

B型肝炎は20歳代男性2人、20歳代女性1人、30歳代女性1人、40歳代男性1人、50歳代男性1人であり、推定される感染経路は異性間性的接触2人、不明4人であった。

C型肝炎は40歳代女性1人で、推定される感染経路は不明であった。

EBウイルスによる急性肝炎は20歳代女性で、推定される感染経路は異性間性的接触であった。

急性脳炎（ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く）

急性脳炎は2人の届出があり、1歳女児1人、3歳男児1人であった。いずれも病原体としてムンプスウイルスが検出された。

クロイツフェルト・ヤコブ病

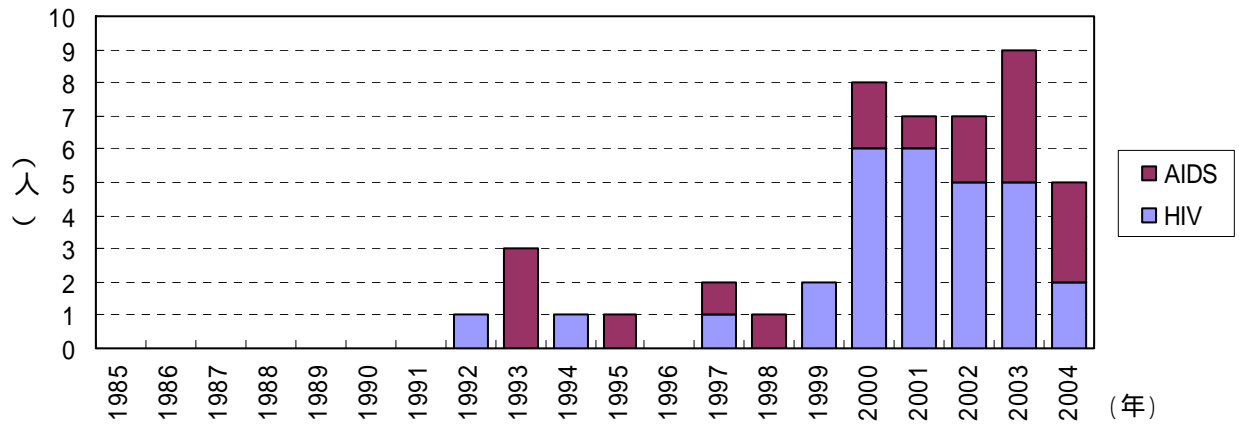
クロイツフェルト・ヤコブ病は80歳代女性2人の届出があった。いずれも弧発性クロイツフェルト・ヤコブ病で、ほぼ確実例1人、疑い例1人であった。

後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は5人の届出があり、そのうち無症候性キャリア（HIV感染者）2人、AIDS3人であった。年代別の届出数（うちAIDS数）は20歳代2(2)人、30歳代2人、40歳代1(1)人であり、性別はすべて男性であった。推定感染地域はいずれも日本国内であり、推定される感染経路はすべて性的接触（同性間3人、異性間1人、異性・同性間1人）であった。

県内のHIV感染者及びAIDS患者数の年次推移をみると、1992年にHIV感染者が届出されてから1999年までは毎年1～2人程度の届出数で推移していたが、2000年以降は年間届出数5人以上と多い状態が続いている。1999年4月1日以降感染症法に基づいて届出された38例の感染経路別内訳は、国内感染例31例のうち22例（71%）が男性の同性間性的接触（同性・異性間を含む）であり、全国的な傾向と同様、県内においても男性の同性間性的接触が主要な感染経路と考えられる。

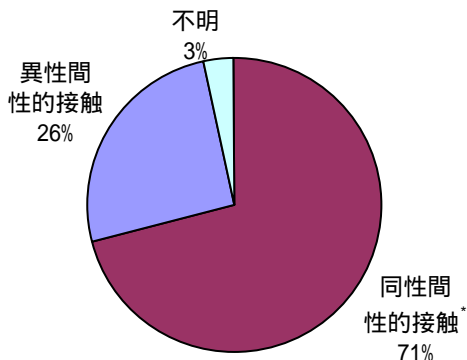
愛媛県における HIV 感染者及び AIDS 患者の年次推移



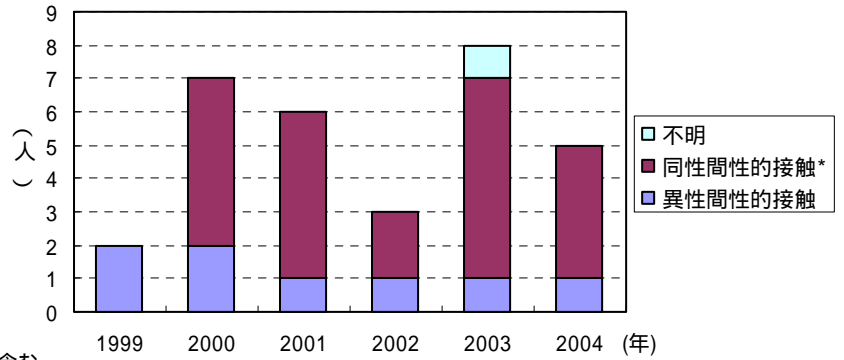
国内感染例の感染経路別内訳

(1999年4月1日以降届出者)

(年次推移)



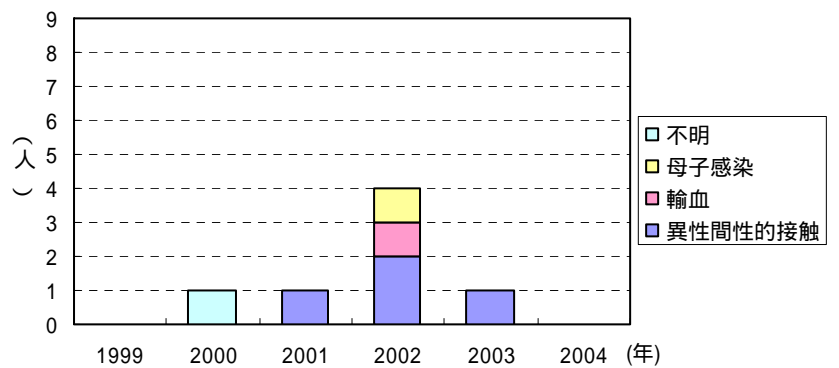
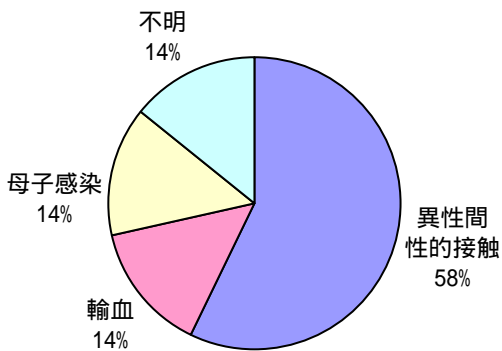
*両性間性的接触を含む



国外感染例・不明例の感染経路別内訳

(1999年4月1日以降届出者)

(年次推移)

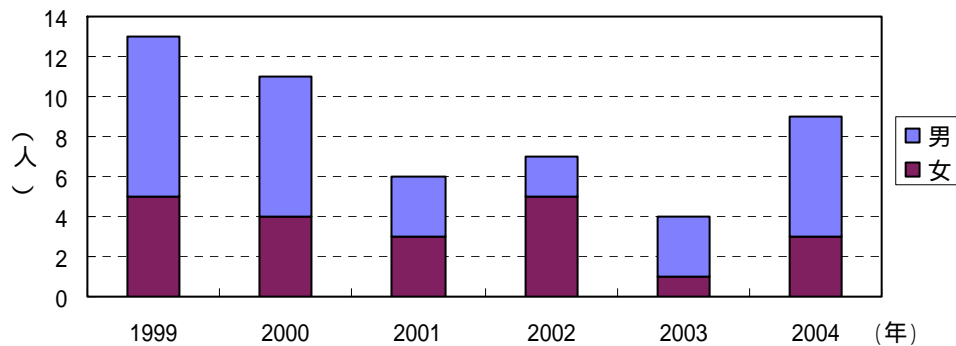


梅毒

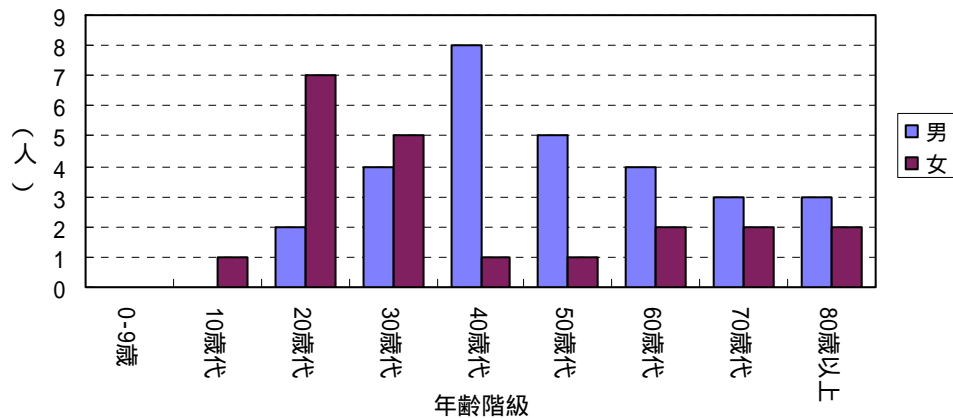
1999年から2003年までは梅毒の届出数は概ね減少傾向にあったが、2004年の届出数は9人と増加した。内訳は晩期顕症梅毒2人、早期顕症梅毒3人(期2人、期1人)、無症候梅毒4人であり、性別及び年齢は、20歳代3人(男性1人、女性2人)、40歳代4人(男性3人、女性1人)、50歳代2人(男性2人)であった。推定される感染地域は日本国内6人、海外1人、不明2人であり、推定される感染経路は、異性間性的接触が5人、不明が4人であった。

1999年4月1日以降感染症法に基づいて届出された50人(男性29人、女性21人)の年齢分布を男女別に比較すると、男性は40歳代を中心として20歳以上の幅広い年齢層に分布しているのに対し、女性では20歳~30歳代の比較的若い世代が57%(12/21)を占めているのが特徴である。

梅毒患者の年次推移



梅毒患者の年齢階級別届出数 (1999年4月1日以降届出者)



破傷風

50歳代男性1人、60歳代男性1人の合計2人の届出があった。両事例とも日本国内での感染であり、推定感染経路は外傷による創部からの感染が1例、不明が1例であった。

表 2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)

感染症 種類	年	愛媛県						全国						
		2004	2003	2002	2001	2000	1999	2004	2003	2002	2001	2000	1999	
一類	エボラ出血熱													
	クリミア・コンゴ出血熱													
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)*			-	-	-	-			-	-	-	-	
	痘そう			-	-	-	-			-	-	-	-	
	ペスト													
	マールブルグ病													
ラッサ熱														
二類	急性灰白髄炎												1	
	コレラ							82	25	51	50	58	39	
	細菌性赤痢	3	3	6	7	50	2	576	473	699	844	843	620	
	ジフテリア												1	2
	腸チフス				2			66	62	63	65	86	72	
	パラチフス							86	44	35	22	20	30	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	98	43	17	53	28	32	3,640	2,999	3,183	4,435	3,642	3,117	
四類	E型肝炎	2	1					35	3	-	-	-	-	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)				-	-	-				-	-	-	
	A型肝炎	2	18	7	2	12	3	136	13	-	-	-	-	
	エキノコックス症							25	20	10	15	22	7	
	黄熱													
	オウム病	1						39	44	54	35	18	23	
	回歸熱													
	Q熱						5	7	9	47	42	24	12	
	狂犬病													
	高病原性鳥インフルエンザ*			-	-	-	-			-	-	-	-	
	コクシジオイデス症							6	1	3	2	1		
	サル痘			-	-	-	-			-	-	-	-	
	腎症候性出血熱													
	炭疽													
	つつが虫病					1		296	402	338	491	791	556	
	デング熱							45	32	52	50	18	9	
	ニパウイルス感染症*			-	-	-	-			-	-	-	-	
	日本紅斑熱	6	2					67	52	36	40	38	39	
	日本脳炎				1			5	1	8	5	7	5	
	ハンタウイルス肺症候群													
	Bウイルス病													
	ブルセラ症									1				
	発疹チフス													
	ボツリヌス症													1
マラリア	1	2	3				73	78	83	109	154	112		
野兔病*			-	-	-	-			-	-	-	-		
ライム病							4	5	15	15	12	14		
リッサウイルス感染症*			-	-	-	-			-	-	-	-		
レジオネラ症		1	1				162	146	167	86	154	56		
レプトスピラ症*	1		-	-	-	-	18	1	-	-	-	-		
五類	アメーバ赤痢	3	3		3	4	1	580	520	465	429	378	276	
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8	6	2	3	15	18	299	650	948	929	991	1,519	
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)*	2		-	-	-	-	157	12	-	-	-	-	
	クリプトスポリジウム症							91	8	109	11	3	4	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	2		3		1	167	118	147	133	108	92	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			3			1	53	53	92	47	47	22	
	後天性免疫不全症候群	5	9	7	7	8	2	1,119	970	916	947	794	588	
	ジアルジア症		1	1	1	1		85	103	113	137	98	42	
	髄膜炎菌性髄膜炎							22	18	9	8	15	10	
	先天性風しん症候群							10	1	1	1	1	1	
	梅毒	9	4	7	6	11	13	516	509	575	585	759	751	
	破傷風	2	2	4	5	1	1	100	73	106	80	91	66	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症*			-	-	-	-			-	-	-	-	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							49	59	44	40	36	23	
計	145	97	58	93	131	79	8,616	7,504	8,370	9,653	9,211	8,107		

注1: 1999年の報告数については4月から12月までの数値である。

注2: (*)の疾患については2003年11月5日からの数値である。

注3: 全国の2004年の報告数については概数である。

注4: 全国のウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)の報告数については、2003年11月5日以前はE型肝炎及びA型肝炎を含む。

表 2-1-2 2004年全数把握対象疾患発生状況(月別)

平成16年1月1日～平成16年12月31日

感染症類型	疾病名	月																
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
一類	エボラ出血熱																	
	クリミア・コンゴ出血熱																	
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																	
	痘そう																	
	ペスト																	
	マールブルグ病																	
	ラッサ熱																	
二類	急性灰白髄炎																	
	コレラ																	
	細菌性赤痢	3					1			2								
	ジフテリア																	
	腸チフス																	
	パラチフス																	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	98				3	3	42	5	19	2	7	16	1				
四類	E型肝炎	2	1							1								
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																	
	A型肝炎	2	1								1							
	エキノコックス症																	
	黄熱																	
	オウム病	1											1					
	回帰熱																	
	Q熱																	
	狂犬病																	
	高病原性鳥インフルエンザ																	
	コクシジオイデス症																	
	サル痘																	
	腎症候性出血熱																	
	炭疽																	
	つつが虫病																	
	デング熱																	
	ニバウイルス感染症																	
	日本紅斑熱	6					1	1		1	1	1	1	1				
	日本脳炎																	
	ハンタウイルス肺症候群																	
	Bウイルス病																	
	ブルセラ症																	
	発疹チフス																	
	ポツリヌス症																	
	マラリア	1												1				
	野兔病																	
	ライム病																	
リッサウイルス感染症																		
レジオネラ症																		
レプトスピラ症	1													1				
五類	アムール赤痢	3			1	1									1			
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8			1		1	2	1					1	2			
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)	2						1	1									
	クリプトスポリジウム症																	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2													2			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																	
	後天性免疫不全症候群	5		1					1	1	1			1				
	ジアルジア症																	
	髄膜炎菌性髄膜炎																	
	先天性風疹症候群																	
	梅毒	9		2		2		2				1	1	1				
	破傷風	2							1			1						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																	
計	145		5	2	6	7	50	8	23	6	17	20	1					

表2-1-3 2004年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)

平成16年1月1日～平成16年12月31日

感染症類型	疾病名	保健所名									
		計	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央
一類	エボラ出血熱										
	クリミア・コンゴ出血熱										
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)										
	痘そう										
	ペスト										
	マールブルグ病										
二類	ラッサ熱										
	急性灰白髄炎										
	コレラ										
	細菌性赤痢	3			1		1	1			
	ジフテリア										
三類	腸チフス										
	パラチフス										
三類	腸管出血性大腸菌感染症	98		2		10	64	5	2	15	
四類	E型肝炎	2				1					1
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)										
	A型肝炎	2				2					
	エキノコックス症										
	黄熱										
	オウム病	1								1	
	回歸熱										
	Q熱										
	狂犬病										
	高病原性鳥インフルエンザ										
	コクシジオイデス症										
	サル痘										
	腎症候性出血熱										
	炭疽										
	つつが虫病										
	デング熱										
	ニバウイルス感染症										
	日本紅斑熱	6									6
	日本脳炎										
	ハンタウイルス肺症候群										
	Bウイルス病										
	ブルセラ症										
	発疹チフス										
ポツリヌス症											
マラリア	1							1			
野兔病											
ライム病											
リッサウイルス感染症											
レジオネラ症											
レプトスピラ症	1							1			
五類	アメーバ赤痢	3				1	1	1			
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8			3		2	1			2
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)	2					2				
	クリプトスポリジウム症										
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2					1	1			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										
	後天性免疫不全症候群	5			1		3	1			
	ジアルジア症										
	髄膜炎菌性髄膜炎										
	先天性風疹症候群										
	梅毒	9	2				5		1	1	
	破傷風	2				1	1				
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症										
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症										
	計	145	2	2	5	15	80	9	6	17	9

表 2-1-4 2004年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)

平成16年1月1日～平成16年12月31日

感染症 類 型	年齢 疾病名	計	0	1	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
			歳	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	歳以上	
一類	エボラ出血熱																		
	クリミア・コンゴ出血熱																		
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																		
	痘そう																		
	ベスト																		
	マールブルグ病																		
二類	ラッサ熱																		
	急性灰白髄炎																		
	コレラ																		
	細菌性赤痢	3							1			1		1					
	ジフテリア																		
	腸チフス																		
三類	パラチフス																		
	腸管出血性大腸菌感染症	98	4	39	21	4	1	6	3	2	4	1	4	3	3		1	2	
四類	E型肝炎	2							1					1					
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																		
	A型肝炎	2							1		1								
	エキノкокクス症																		
	黄熱																		
	オウム病	1																1	
	回帰熱																		
	Q熱																		
	狂犬病																		
	高病原性鳥インフルエンザ																		
	コクシジオイデス症																		
	サル痘																		
	腎症候性出血熱																		
	炭疽																		
	つつが虫病																		
	デング熱																		
	ニパウイルス感染症																		
	日本紅斑熱	6										1			1	2		1	1
	日本脳炎																		
	ハンタウイルス肺症候群																		
	Bウイルス病																		
	ブルセラ症																		
	発疹チフス																		
ポツリヌス症																			
マラリア	1							1											
野兔病																			
ライム病																			
リッサウイルス感染症																			
レジオネラ症																			
レプトスピラ症	1															1			
五類	アメーバ赤痢	3						1		1	1								
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8						4		1		1	1		1				
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)	2	2																
	クリプトスポリジウム症																		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2																2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																		
	後天性免疫不全症候群	5							2	1	1	1							
	ジアルジア症																		
	髄膜炎菌性髄膜炎																		
	先天性風疹症候群																		
	梅毒	9							1	2		2	2	2					
	破傷風	2														1		1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																		
計	145	4	41	21	4	1	13	10	5	8	6	7	8	7	1	3	6		

2 定点把握対象 五類感染症

(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況

2004年(平成16年)における定点把握感染症の流行状況を、愛媛県内の流行規模で分類した。まず、週報対象疾患は以下のとおりであった。なお、(イ)はインフルエンザ定点、(小)は小児科定点、(眼)は眼科定点、(基)は基幹定点からの報告疾患であることを示す。

例年より大きな流行となった疾患

咽頭結膜熱(小)：報告数773人(定点当たり19.8人/年)で、過去10年間では2003年(946人 定点当たり24.3人/年)に次ぐ流行規模であった。前年の流行が1月まで続いた後、3月中旬に今季の増加が始まった。7月中旬のピーク後9月上旬にはほぼ終息し、例年発生していた冬季の小流行はみられなかった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(小)：報告数3,838人(定点当たり98.4人/年)で、過去10年間で最も大きな流行規模となった。例年冬期と夏期に多発するが、2004年は夏期に今治地区と松山地区で顕著な増加が見られた。

感染性胃腸炎(小)：報告数18,991人(定点当たり487.0人/年)で、過去10年間で最も大きな流行規模であった。1月下旬にピークとなった患者数の減少幅が小さく、今治地区で4月下旬、中予で7月中旬まで患者数の多い状況が続いた。9月下旬に再び増加に転じ、年末に冬季のピークを形成した。

急性出血性結膜炎(眼)：報告数68人(定点当たり9.7人/年)で、過去10年間では最も多かった。報告は9月下旬の宇和島地区にほぼ限定され、年齢は10~40歳代が中心であった。

例年並であるが2003年よりも増加した疾患

流行性耳下腺炎(小)：報告数1,656人(定点当たり42.5人/年)であり、非流行期であった2003年(467人 定点当たり12.0人/年)に比べて増加した。本疾患は3~4年周期で流行しており、2001~2002年の流行から2年を経過していることから、今後の動向に注意が必要である。

無菌性髄膜炎(基)：報告数13人(定点当たり2.2人/年)で、2003年の2人(定点当たり0.3人/年)から増加した。

マイコプラズマ肺炎(基)：報告数85人(定点当たり14.2人/年)で、2003年の64人(定点当たり10.7人/年)に比べてやや増加した。

ほぼ例年並の規模で推移した疾患

水痘(小)：報告数3,982人(定点当たり102.1人/年)で、例年とほぼ同程度の流行規模で推移した。

突発性発しん(小)：報告数2,132人(定点当たり54.7人/年)で、年間を通じほぼ一定の推移を示した。

ヘルパンギーナ(小)：報告数2,477人(定点当たり63.5人/年)で、2003年(2,622人 定点当たり67.2人/年)に比べ若干減少したが、流行のピークで比較すると、過去10年間では2001年に次いで大きなピークであった。流行時期は例年に比べて約1ヶ月早く、本県に特徴的であった。

流行性角結膜炎(眼)：報告数729人(定点当たり104.1人/年)であり、2003年(1,053人 定点当たり150.4人/年)よりも減少した。1995年の流行以後は低いレベルの流行で推移している。

例年よりも小さな流行となった疾患

インフルエンザ(イ)：2003/2004シーズンの報告数は10,211人(定点当たり159.6人/シーズン)であり、例年並の発生規模であった2002/2003シーズン(16,119人 定点当たり251.9人/シーズン)の約6割の患者報告数にとどまった。

手足口病(小)：報告数1,063人(定点当たり27.3人/年)で、2003年(3,892人 定点当たり99.8人/年)よりも大幅に減少し、感染症法が施行された1999年以降では最も小さな流行規模であった。

非流行期にあたった疾患

伝染性紅斑(小)：過去 1992 年、1997 年、2001～2002 年と 4～5 年の周期で定点当たり 25 人/年を超す流行がみられている。2004 年は報告数 334 人(定点当たり 8.6 人/年)で、2003 年(157 人 定点当たり 4.0 人/年)に比べて倍増したが、引き続き非流行期にあたった。

報告が極めて少なかった疾患

百日咳(小)：報告数 4 人(定点当たり 0.1 人/年)で、過去 10 年間で最も少ない報告数であった。1995 年(定点当たり 5.4 人/年)の流行以降、報告数の少ない状況が続いている。

風しん(小)：報告数 6 人(定点当たり 0.2 人/年)であった。1995 年(定点当たり 41.7 人/年)の大流行以降県内で大きな流行はなく、報告数の少ない状況が続いている。

麻しん(小)：2004 年は報告がなかった。2002 年 10 月～2003 年 7 月に東予地区を中心とした麻しん(成人麻しん)の流行があったが、その後は新たな患者は報告されていない。

細菌性髄膜炎(基)：報告数 3 人(定点当たり 0.5 人/年)で、すべて 0 歳児であった。

クラミジア肺炎(基)：報告数 4 人(定点当たり 0.7 人/年)で、すべて 70 歳以上であった。

成人麻しん(基)：2004 年は報告がなかった。2002 年 10 月～2003 年 7 月に東予地区を中心とした成人麻しん(麻しん)の流行があったが、その後は新たな患者は報告されていない。

その他

RS ウイルス感染症(小)：報告数 116 人(定点当たり 3.0 人/年)で、1 歳以下が報告の 76%を占めた。本疾患は昨年 11 月から小児科定点の対象となり、年間を通じての調査は本年が初めてである。

STD 定点対象疾患(月報)では、性器ヘルペスウイルス感染症(71 人)、尖圭コンジローマ(74 人)は前年に比べて増加したが、性器クラミジア感染症(218 人)、淋菌感染症(135 人)は前年に比べて減少した。

また、基幹定点対象疾患(月報)では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(250 人)は前年とほぼ同じ報告数であったが、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(7 人)、薬剤耐性緑膿菌感染症(3 人)は前年に比べて減少した。

表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数

週	期 間	インフルエンザ 定点	小児科定点									
		インフル エンザ	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん
1	12/29 ~ 1/4		2	25	16	293	131	6	4	22		
2	1/5 ~ 1/11	25	5	34	35	546	230	4	4	50		
3	1/12 ~ 1/18	105	3	18	56	628	137	1	5	40		
4	1/19 ~ 1/25	532	6	11	60	720	143	1	6	36		
5	1/26 ~ 2/1	1,592	12	6	74	681	111		8	40		
6	2/2 ~ 2/8	2,206	6	7	97	627	118		3	35		
7	2/9 ~ 2/15	2,051	4	7	57	486	96	1	6	36		
8	2/16 ~ 2/22	1,592	3	6	56	485	132		12	32		
9	2/23 ~ 2/29	964	1	6	69	473	113	3	10	41	1	
10	3/1 ~ 3/7	521	2	3	74	516	129		7	25		
11	3/8 ~ 3/14	345	11	24	76	521	85	3	6	48		
12	3/15 ~ 3/21	169	1	9	92	526	119	1	5	35		
13	3/22 ~ 3/28	62	6	8	100	458	153		9	32		
14	3/29 ~ 4/4	27	1	23	63	372	126		5	43		
15	4/5 ~ 4/11	1		17	53	351	149		13	40		
16	4/12 ~ 4/18	2		24	68	395	91		16	45		
17	4/19 ~ 4/25		1	17	57	342	110		14	50	1	
18	4/26 ~ 5/2		8	17	87	345	87		14	53		
19	5/3 ~ 5/9		1	8	61	239	78		8	22		
20	5/10 ~ 5/16			23	111	355	95	1	4	37		1
21	5/17 ~ 5/23			23	127	329	97	2	11	45		
22	5/24 ~ 5/30			27	136	379	76	10	11	25		
23	5/31 ~ 6/6		1	20	127	335	100	13	13	26		
24	6/7 ~ 6/13			13	147	327	81	23	5	28		3
25	6/14 ~ 6/20			15	156	302	74	23	15	41		
26	6/21 ~ 6/27			17	176	247	82	29	11	46		
27	6/28 ~ 7/4		1	30	157	206	71	20	22	45		
28	7/5 ~ 7/11		2	23	102	229	28	44	9	51		
29	7/12 ~ 7/18			53	103	230	46	65	5	45		
30	7/19 ~ 7/25			42	46	144	32	60	4	47		
31	7/26 ~ 8/1			48	30	125	25	76	2	46		
32	8/2 ~ 8/8			31	39	164	18	42	3	57		1
33	8/9 ~ 8/15			38	39	144	19	63		36		
34	8/16 ~ 8/22			22	24	166	17	43	1	42		
35	8/23 ~ 8/29			15	27	155	21	59		66		
36	8/30 ~ 9/5		2	11	23	131	21	65	7	42		
37	9/6 ~ 9/12			10	38	125	25	23	5	56		
38	9/13 ~ 9/19			7	41	167	26	38	3	51	1	
39	9/20 ~ 9/26				28	150	28	29	7	45		
40	9/27 ~ 10/3			5	35	164	18	39	5	51		
41	10/4 ~ 10/10			3	50	193	27	52	3	42		
42	10/11 ~ 10/17			2	34	177	21	45	2	25		
43	10/18 ~ 10/24				54	207	14	32	3	34		
44	10/25 ~ 10/31				63	223	38	19	3	38		
45	11/1 ~ 11/7		1		50	264	41	26	2	38	1	
46	11/8 ~ 11/14	2	3	1	63	260	45	15	6	46		
47	11/15 ~ 11/21		1		64	297	54	18	2	37		
48	11/22 ~ 11/28		1	3	65	405	52	19	3	27		
49	11/29 ~ 12/5	1		8	80	519	44	15	3	43		1
50	12/6 ~ 12/12	3	2	3	93	681	75	8	2	41		
51	12/13 ~ 12/19	3	11	2	101	797	54	13	1	38		
52	12/20 ~ 12/26	6	10	6	103	842	122	11	5	43		
53	12/27 ~ 1/2	7	8	2	55	548	57	3	1	27		
合計		10,216	116	773	3,838	18,991	3,982	1,063	334	2,132	4	6
男性		5,210	66	432	2,120	9,992	2,088	545	168	1,116	3	4
女性		5,006	50	341	1,718	8,999	1,894	518	166	1,016	1	2

(人)

			眼科定点		基幹定点				定点数				
ヘルパンギーナ	麻疹 (成人麻疹を除く)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	成人麻疹	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
3		3		2						64	39	7	6
9		16		24			1			64	39	7	6
		9		12						64	39	7	6
2		10		10			2			64	39	7	6
4		9		19			1			64	39	7	6
1		9	1	17						64	39	7	6
1		16		8			3			64	39	7	6
		10	1	18			2			64	39	7	6
1		26		22						64	39	7	6
		10		19			2			64	39	7	6
		9		9						64	39	7	6
2		18		14			1			64	39	7	6
		14	2	13						64	39	7	6
2		18		7			1			64	39	7	6
3		26	1	16						64	39	7	6
16		18		10			2			64	39	7	6
17		24		9			1			64	39	7	6
43		10		8			1			64	39	7	6
18		8		3						64	39	7	6
91		22		16						64	39	7	6
127		21	1	11			2			64	39	7	6
208		24		11			2			64	39	7	6
239		26	1	16		1	1			64	39	7	6
302		29		17						64	39	7	6
239		41	1	11						64	39	7	6
210		46		15			1			64	39	7	6
203		46		13			1	1		64	39	7	6
173		39		6			1	1		64	39	7	6
127		49		13			2			64	39	7	6
89		53		13			2	1		64	39	7	6
61		57		23		1	1	1		64	39	7	6
53		41		22						64	39	7	6
47		54	1	14		2				64	39	7	6
30		33	3	32	1					64	39	7	6
25		37	1	18		2	1			64	39	7	6
32		46	1	23		1	2			64	39	7	6
18		26	3	12		2	2			64	39	7	6
13		43	17	19						64	39	7	6
16		47	25	14			1			64	39	7	6
14		39	9	31		1	4			64	39	7	6
10		43		19			4			64	39	7	6
7		45		16		2	8			64	39	7	6
4		48		10			2			64	39	7	6
3		55		10			7			64	39	7	6
4		42		13			6			64	39	7	6
3		57		13			3			64	39	7	6
		38		4			6			64	39	7	6
3		36		17	1		6			64	39	7	6
1		48		8		1				64	39	7	6
		40		9	1		1			64	39	7	6
		35		11			1			64	39	7	6
2		54		6			1			64	39	7	6
1		33		3						64	39	7	6
2,477		1,656	68	729	3	13	85	4					
1,257		870	39	343	2	6	34	3					
1,220		786	29	386	1	7	51	1					

表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数

週	期間	インフルエンザ 定点	小児科定点								
		インフル エンザ	R S ウ イル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん
1	12/29 ~ 1/4		0.05	0.64	0.41	7.51	3.36	0.15	0.10	0.56	
2	1/5 ~ 1/11	0.39	0.13	0.87	0.90	14.00	5.90	0.10	0.10	1.28	
3	1/12 ~ 1/18	1.64	0.08	0.46	1.44	16.10	3.51	0.03	0.13	1.03	
4	1/19 ~ 1/25	8.31	0.15	0.28	1.54	18.46	3.67	0.03	0.15	0.92	
5	1/26 ~ 2/1	24.88	0.31	0.15	1.90	17.46	2.85		0.21	1.03	
6	2/2 ~ 2/8	34.47	0.15	0.18	2.49	16.08	3.03		0.08	0.90	
7	2/9 ~ 2/15	32.05	0.10	0.18	1.46	12.46	2.46	0.03	0.15	0.92	
8	2/16 ~ 2/22	24.88	0.08	0.15	1.44	12.44	3.38		0.31	0.82	
9	2/23 ~ 2/29	15.06	0.03	0.15	1.77	12.13	2.90	0.08	0.26	1.05	0.03
10	3/1 ~ 3/7	8.14	0.05	0.08	1.90	13.23	3.31		0.18	0.64	
11	3/8 ~ 3/14	5.39	0.28	0.62	1.95	13.36	2.18	0.08	0.15	1.23	
12	3/15 ~ 3/21	2.64	0.03	0.23	2.36	13.49	3.05	0.03	0.13	0.90	
13	3/22 ~ 3/28	0.97	0.15	0.21	2.56	11.74	3.92		0.23	0.82	
14	3/29 ~ 4/4	0.42	0.03	0.59	1.62	9.54	3.23		0.13	1.10	
15	4/5 ~ 4/11	0.02		0.44	1.36	9.00	3.82		0.33	1.03	
16	4/12 ~ 4/18	0.03		0.62	1.74	10.13	2.33		0.41	1.15	
17	4/19 ~ 4/25		0.03	0.44	1.46	8.77	2.82		0.36	1.28	0.03
18	4/26 ~ 5/2		0.21	0.44	2.23	8.85	2.23		0.36	1.36	
19	5/3 ~ 5/9	0.03	0.03	0.21	1.56	6.13	2.00		0.21	0.56	
20	5/10 ~ 5/16			0.59	2.85	9.10	2.44	0.03	0.10	0.95	
21	5/17 ~ 5/23			0.59	3.26	8.44	2.49	0.05	0.28	1.15	
22	5/24 ~ 5/30			0.69	3.49	9.72	1.95	0.26	0.28	0.64	
23	5/31 ~ 6/6		0.03	0.51	3.26	8.59	2.56	0.33	0.33	0.67	
24	6/7 ~ 6/13			0.33	3.77	8.38	2.08	0.59	0.13	0.72	
25	6/14 ~ 6/20			0.38	4.00	7.74	1.90	0.59	0.38	1.05	
26	6/21 ~ 6/27			0.44	4.51	6.33	2.10	0.74	0.28	1.18	
27	6/28 ~ 7/4		0.03	0.77	4.03	5.28	1.82	0.51	0.56	1.15	
28	7/5 ~ 7/11		0.05	0.59	2.62	5.87	0.72	1.13	0.23	1.31	
29	7/12 ~ 7/18			1.36	2.64	5.90	1.18	1.67	0.13	1.15	
30	7/19 ~ 7/25			1.08	1.18	3.69	0.82	1.54	0.10	1.21	
31	7/26 ~ 8/1			1.23	0.77	3.21	0.64	1.95	0.05	1.18	
32	8/2 ~ 8/8			0.79	1.00	4.21	0.46	1.08	0.08	1.46	
33	8/9 ~ 8/15			0.97	1.00	3.69	0.49	1.62		0.92	
34	8/16 ~ 8/22			0.56	0.62	4.26	0.44	1.10	0.03	1.08	
35	8/23 ~ 8/29			0.38	0.69	3.97	0.54	1.51		1.69	
36	8/30 ~ 9/5		0.05	0.28	0.59	3.36	0.54	1.67	0.18	1.08	
37	9/6 ~ 9/12			0.26	0.97	3.21	0.64	0.59	0.13	1.44	
38	9/13 ~ 9/19			0.18	1.05	4.28	0.67	0.97	0.08	1.31	0.03
39	9/20 ~ 9/26				0.72	3.85	0.72	0.74	0.18	1.15	
40	9/27 ~ 10/3			0.13	0.90	4.21	0.46	1.00	0.13	1.31	
41	10/4 ~ 10/10			0.08	1.28	4.95	0.69	1.33	0.08	1.08	
42	10/11 ~ 10/17			0.05	0.87	4.54	0.54	1.15	0.05	0.64	
43	10/18 ~ 10/24				1.38	5.31	0.36	0.82	0.08	0.87	
44	10/25 ~ 10/31				1.62	5.72	0.97	0.49	0.08	0.97	
45	11/1 ~ 11/7		0.03		1.28	6.77	1.05	0.67	0.05	0.97	0.03
46	11/8 ~ 11/14	0.03	0.08	0.03	1.62	6.67	1.15	0.38	0.15	1.18	
47	11/15 ~ 11/21		0.03		1.64	7.62	1.38	0.46	0.05	0.95	
48	11/22 ~ 11/28		0.03	0.08	1.67	10.38	1.33	0.49	0.08	0.69	
49	11/29 ~ 12/5	0.02		0.21	2.05	13.31	1.13	0.38	0.08	1.10	
50	12/6 ~ 12/12	0.05	0.05	0.08	2.38	17.46	1.92	0.21	0.05	1.05	
51	12/13 ~ 12/19	0.05	0.28	0.05	2.59	20.44	1.38	0.33	0.03	0.97	
52	12/20 ~ 12/26	0.09	0.26	0.15	2.64	21.59	3.13	0.28	0.13	1.10	
53	12/27 ~ 1/2	0.11	0.21	0.05	1.41	14.05	1.46	0.08	0.03	0.69	
合計		159.63	2.97	19.82	98.41	486.95	102.10	27.26	8.56	54.67	0.10
男性		81.41	1.69	11.08	54.36	256.21	53.54	13.97	4.31	28.62	0.08
女性		78.22	1.28	8.74	44.05	230.74	48.56	13.28	4.26	26.05	0.03

(人/定点当たり)

				眼科定点		基幹定点					定点数			
風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	成人麻しん	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
	0.08		0.08		0.29						64	39	7	6
	0.23		0.41		3.43			0.17			64	39	7	6
			0.23		1.71						64	39	7	6
	0.05		0.26		1.43			0.33			64	39	7	6
	0.10		0.23		2.71			0.17			64	39	7	6
	0.03		0.23	0.14	2.43						64	39	7	6
	0.03		0.41		1.14			0.50			64	39	7	6
			0.26	0.14	2.57			0.33			64	39	7	6
	0.03		0.67		3.14						64	39	7	6
			0.26		2.71			0.33			64	39	7	6
			0.23		1.29						64	39	7	6
	0.05		0.46		2.00			0.17			64	39	7	6
			0.36	0.29	1.86						64	39	7	6
	0.05		0.46		1.00			0.17			64	39	7	6
	0.08		0.67	0.14	2.29						64	39	7	6
	0.41		0.46		1.43			0.33			64	39	7	6
	0.44		0.62		1.29			0.17			64	39	7	6
	1.10		0.26		1.14			0.17			64	39	7	6
	0.46		0.21		0.43						64	39	7	6
0.03	2.33		0.56		2.29						64	39	7	6
	3.26		0.54	0.14	1.57			0.33			64	39	7	6
	5.33		0.62		1.57			0.33			64	39	7	6
	6.13		0.67	0.14	2.29		0.17	0.17			64	39	7	6
0.08	7.74		0.74		2.43						64	39	7	6
	6.13		1.05	0.14	1.57						64	39	7	6
	5.38		1.18		2.14			0.17			64	39	7	6
	5.21		1.18		1.86			0.17	0.17		64	39	7	6
	4.44		1.00		0.86			0.17	0.17		64	39	7	6
	3.26		1.26		1.86			0.33			64	39	7	6
	2.28		1.36		1.86			0.33	0.17		64	39	7	6
	1.56		1.46		3.29		0.17	0.17	0.17		64	39	7	6
0.03	1.36		1.05		3.14						64	39	7	6
	1.21		1.38	0.14	2.00		0.33				64	39	7	6
	0.77		0.85	0.43	4.57	0.17					64	39	7	6
	0.64		0.95	0.14	2.57		0.33	0.17			64	39	7	6
	0.82		1.18	0.14	3.29		0.17	0.33			64	39	7	6
	0.46		0.67	0.43	1.71		0.33	0.33			64	39	7	6
	0.33		1.10	2.43	2.71						64	39	7	6
	0.41		1.21	3.57	2.00			0.17			64	39	7	6
	0.36		1.00	1.29	4.43		0.17	0.67			64	39	7	6
	0.26		1.10		2.71			0.67			64	39	7	6
	0.18		1.15		2.29		0.33	1.33			64	39	7	6
	0.10		1.23		1.43			0.33			64	39	7	6
	0.08		1.41		1.43			1.17			64	39	7	6
	0.10		1.08		1.86			1.00			64	39	7	6
	0.08		1.46		1.86			0.50			64	39	7	6
			0.97		0.57			1.00			64	39	7	6
	0.08		0.92		2.43	0.17		1.00			64	39	7	6
0.03	0.03		1.23		1.14		0.17				64	39	7	6
			1.03		1.29	0.17		0.17			64	39	7	6
			0.90		1.57			0.17						
	0.05		1.38		0.86			0.17			64	39	7	6
	0.03		0.85		0.43						64	39	7	6
0.15	63.51		42.46	9.71	104.14	0.50	2.17	14.17	0.67					
0.10	32.23		22.31	5.57	49.00	0.33	1.00	5.67	0.50					
0.05	31.28		20.15	4.14	55.14	0.17	1.17	8.50	0.17					

表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数

年齢区分	小児科定点													眼科定点				基幹定点					
	インフルエンザ 定点	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 溶血性レンサ球菌	A 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	成人麻しん	
6ヶ月未満	53	30	2	235	88	4	107	1	7	4	2	4	2	4	2	2	2	3	6	3	3	0	0
12ヶ月未満	170	37	25	1,189	229	63	1,398	2	175	9	6	9	9	9	6	9	9	1	1	31	31	0	0
1歳	615	21	106	2,748	766	262	600	3	638	23	79	23	23	23	79	23	23	2	2	33	33	0	0
2歳	629	12	109	2,436	793	216	24	1	501	20	168	20	20	20	168	20	20	1	1	11	11	0	0
3歳	649	4	147	2,283	738	168	1	2	413	22	286	22	22	22	286	22	22	1	1	1	1	0	0
4歳	769	5	114	2,017	565	131	49	313	177	24	304	24	24	304	24	24	24	1	1	1	1	0	0
5歳	592	3	102	1,785	373	93	1	177	113	22	299	22	22	299	22	22	22	1	1	1	1	0	0
6歳	505	1	65	1,396	182	57	37	113	42	13	197	13	13	197	13	13	13	1	1	1	1	0	0
7歳	405		28	1,130	90	28	31	42	107	11	107	11	11	107	11	11	11					0	0
8歳	441	2	21	900	53	20	38	44	65	6	65	6	6	65	6	6	6			1	1	0	0
9歳	461		18	734	29	10	19	33	42	9	42	9	9	42	9	9	9			1	1	0	0
10~14歳	1,810	1	28	1,548	61	7	16	18	91	29	91	29	29	91	29	29	29					0	0
15~19歳	891		3	153	8			2	4	40	4	40	40	4	40	40	40					0	0
20~29歳 ¹⁾	602		5	437	7	4	9	1	8	119	8	119	119	8	119	119	119					0	0
30~39歳	635	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	115	115	-	115	115	115					0	0
40~49歳	397	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	83	83	-	83	83	83					0	0
50~59歳	229	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	71	71	-	71	71	71					0	0
60~69歳	165	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	65	65	-	65	65	65					0	0
70~79歳 ²⁾	130	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	44	44	-	44	44	44					0	0
80歳以上	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					0	0
合計	10,216	116	773	3,838	18,991	3,982	1,063	334	2,132	4	6	2,477	0	1,656	68	729	729	3	13	85	3	0	0

1)小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20~29歳"に計上。
2)眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70~79歳"に計上

表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数

月	STD定点										基幹定点						定点数				
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		S	T D					
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男			女				
1	18	8	10	5	1	4	9	4	5	1	6	7	23	16	7	2	1	1	11	6	
2	8	3	5	2	2		5	3	2		11	1	12	7	5	3	1			11	6
3	20	2	18	6	2	4	5	2	3		9	1	10	22	5					11	6
4	16	8	8	8	4	4					8	1	9	18	10					11	6
5	18	6	12	9	5	4	4	3	1		11	1	12	19	10					11	6
6	16	4	12	4	1	3	6	4	2		5	1	6	11	6					11	6
7	28	9	19	7	3	4	9	7	2		16	3	17	9	8		1			11	6
8	19	8	11	6	1	5	5	5			12	1	13	13	8					11	6
9	19	8	11	11	8	3	7	4	3		9	2	16	7	9				1	11	6
10	21	8	13	9	5	4	7	5	2		12		14	9	5					11	6
11	23	7	16	2	2		7	3	4		9	2	26	19	7				1	11	6
12	12	5	7	2	1	1	10	6	4		12	1	20	14	6		1			11	6
合計	218	76	142	71	35	36	74	46	28		120	15	250	164	86	7	4	3	3	1	2

表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり患者報告数

月	STD定点						基幹定点						定点数					
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		STD	基幹		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男			女	
1	1.64	0.73	0.91	0.45	0.09	0.36	0.82	0.36	0.45	0.36	0.45	0.09	0.36	0.45	0.09	0.36	11	6
2	0.73	0.27	0.45	0.18	0.18	0.18	0.45	0.27	0.18	0.18	0.18	0.09	0.27	0.18	0.09	0.27	11	6
3	1.82	0.18	1.64	0.36	0.18	0.36	0.45	0.18	0.27	0.36	0.27	0.09	0.36	0.83	0.09	0.36	11	6
4	1.45	0.73	0.73	0.36	0.36	0.36	0.82	0.36	0.36	0.36	0.36	0.09	0.36	1.67	0.09	0.36	11	6
5	1.64	0.55	1.09	0.36	0.45	0.36	0.36	0.27	0.09	0.36	0.27	0.09	0.36	1.67	0.09	0.36	11	6
6	1.45	0.36	1.09	0.36	0.09	0.36	0.55	0.36	0.18	0.36	0.18	0.45	0.36	1.83	0.09	0.36	11	6
7	2.55	0.82	1.73	0.64	0.27	0.36	0.82	0.64	0.18	0.64	0.18	1.45	0.27	2.83	0.27	0.36	11	6
8	1.73	0.73	1.00	0.55	0.09	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	1.09	0.09	3.50	0.09	0.45	11	6
9	1.73	0.73	1.00	1.00	0.73	0.27	0.64	0.36	0.27	0.36	0.27	0.82	0.18	2.67	0.18	0.50	11	6
10	1.91	0.73	1.18	0.82	0.45	0.36	0.64	0.45	0.18	0.45	0.18	1.09	0.09	2.33	0.09	0.83	11	6
11	2.09	0.64	1.45	0.18	0.18	0.36	0.64	0.27	0.36	0.27	0.36	0.82	0.18	4.33	0.18	1.17	11	6
12	1.09	0.45	0.64	0.18	0.09	0.09	0.91	0.55	0.36	0.36	0.36	1.18	1.09	3.33	1.09	1.00	11	6
合計	19.82	6.91	12.91	6.45	3.18	3.27	6.73	4.18	2.55	4.18	2.55	12.27	10.91	41.67	14.33	27.33	0.50	0.33

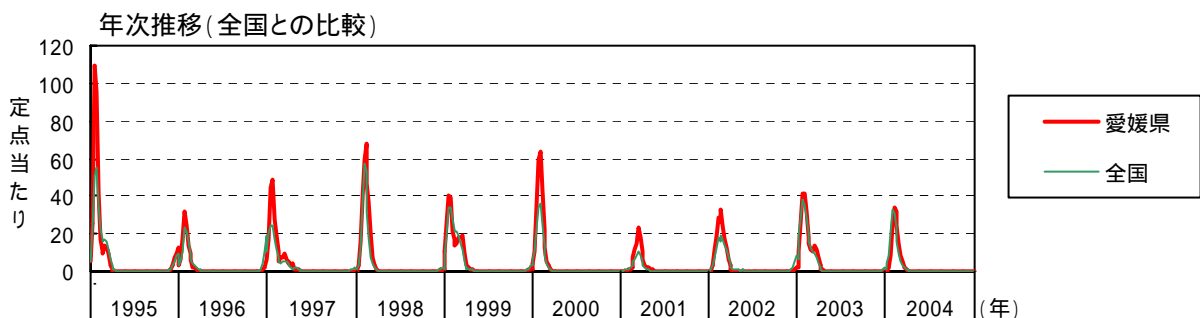
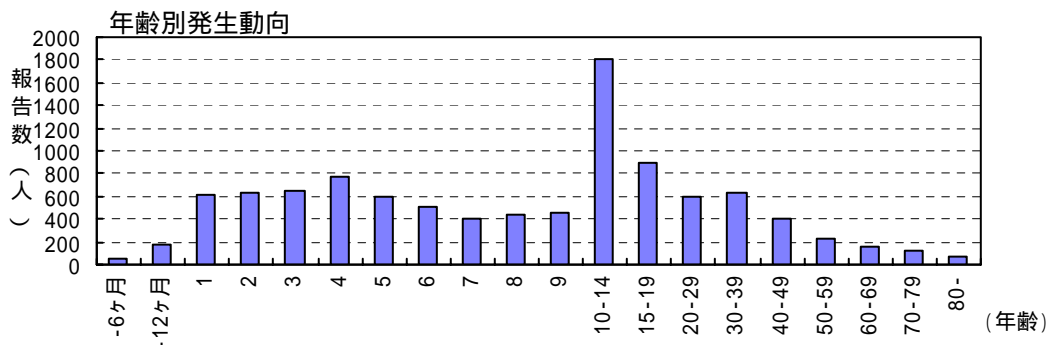
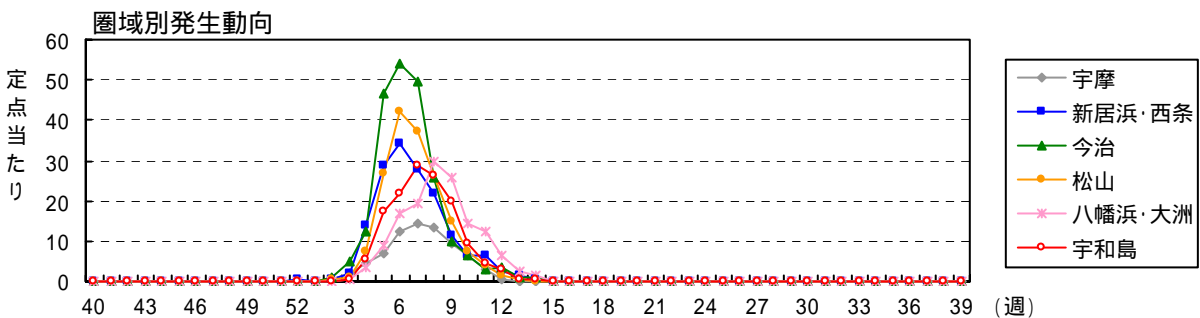
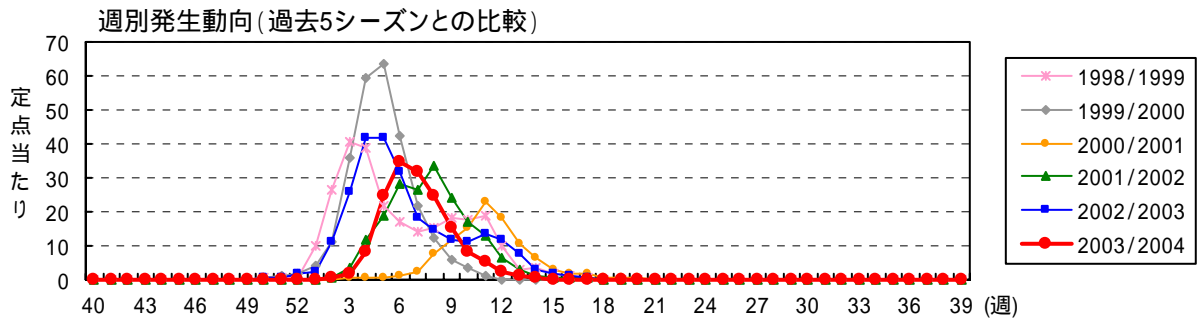
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数

年齢区分	STD定点												基幹定点								
	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローム			淋菌感染症			メキシコ耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女			
0歳																					
1~4歳																					
5~9歳																					
10~14歳																					
15~19歳	30	6	24	8		8	5	3	2	9	7	2									
20~24歳	57	16	41	9	5	4	23	11	12	35	31	4	3	2	1						
25~29歳	51	21	30	11	6	5	9	5	4	31	29	2	2								
30~34歳	32	7	25	7	3	4	15	11	4	18	15	3	3	1	2						
35~39歳	27	13	14	10	5	5	7	5	2	19	19		1	1							1
40~44歳	6	2	4	8	4	4	9	7	2	10	8	2	4	4							
45~49歳	5	3	2	4	3	1	3	3		5	5		4	2	2						
50~54歳	6	4	2	2	1	1				6	4	2	14	11	3						
55~59歳	4	4		2	1	1	1	1	1	2	2		22	17	5						1
60~64歳				3	3		1	1					18	11	7						
65~69歳				3	1	2							23	16	7						1
70歳以上				4	3	1	1	1	1				141	90	51						
合計	218	76	142	71	35	36	74	46	28	135	120	15	250	164	86	7	4	3	3	1	2

(2)インフルエンザ定点対象疾患(週報)

インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

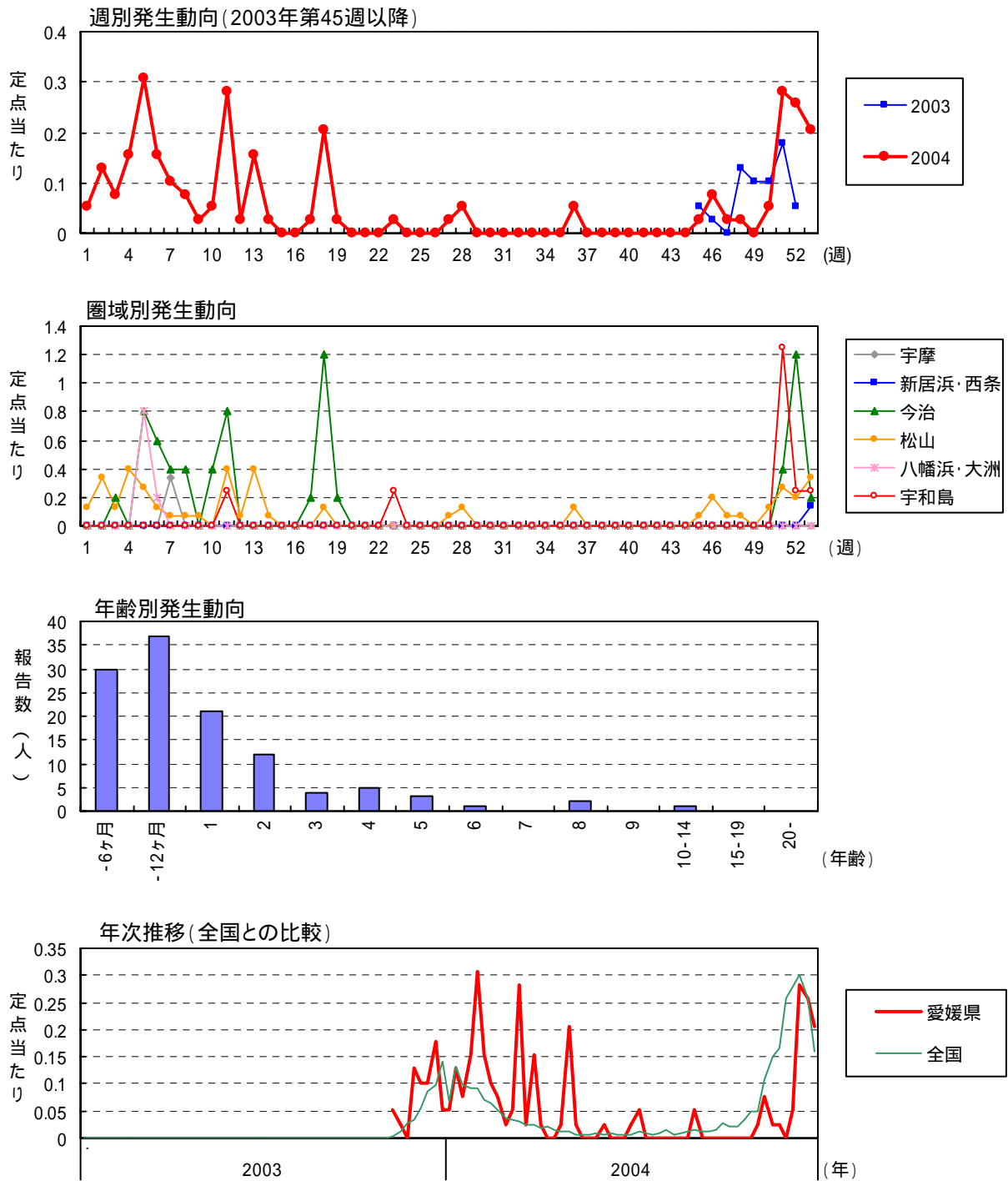
2003/2004シーズンの患者報告数は10,211人(定点当たり159.55人/シーズン)で、過去5シーズンでは、2000/2001シーズン(6,816人 定点当たり106.50人/シーズン)に次ぐ小規模な流行であった。また2003/2004シーズンはA香港型のみでの流行で、例年発生していたB型の流行は見られなかった(85ページ 図1)。そのため例年に比べ流行期間が短く、例年並の発生規模であった前シーズン(16,119人 定点当たり251.86人/シーズン)の約6割の患者報告数に留まった。前年第42週に2003/2004シーズン初めての患者報告があり、年始まで県下各地で散発が続いた。第3週に流行開始の基準とされる定点当たり1.0人/週を超え、例年に比べ約3週遅れて本格的な流行を迎えた。今治地区を中心に患者数が急激に増加し、第6週(定点当たり34.47人/週)に流行のピークを形成し、その後大洲地区と八幡浜地区での増加が続いたが、第9週には県下全域で減少に転じた。地域別では今治地区が第6週に定点当たり53.88人/週まで増加し、シーズン中の患者総数も219.50人/シーズンと他の地区よりも大規模な流行であった。年齢別では乳児から高齢者まで全年齢にわたって報告があった。



(3)小児科定点対象疾患(週報)

RS ウイルス感染症

2004年の患者報告数は116人(定点当たり2.97人/年)であった。小児科定点の対象疾患となった前年11月以降、松山市を中心に県下各地で4月下旬まで散発が続いた。その後11月から今治地区、宇和島地区で再び増加しはじめ、全国の平均とほぼ同様な推移を示した。地域別では今治地区(定点当たり7.00人/年)松山市(定点当たり6.50人/年)宇和島地区(定点当たり2.50人/年)が多く、西条地区と松山地区からは報告がなかった。年齢別では1歳以下が88人で、全体の76%を占めていた。



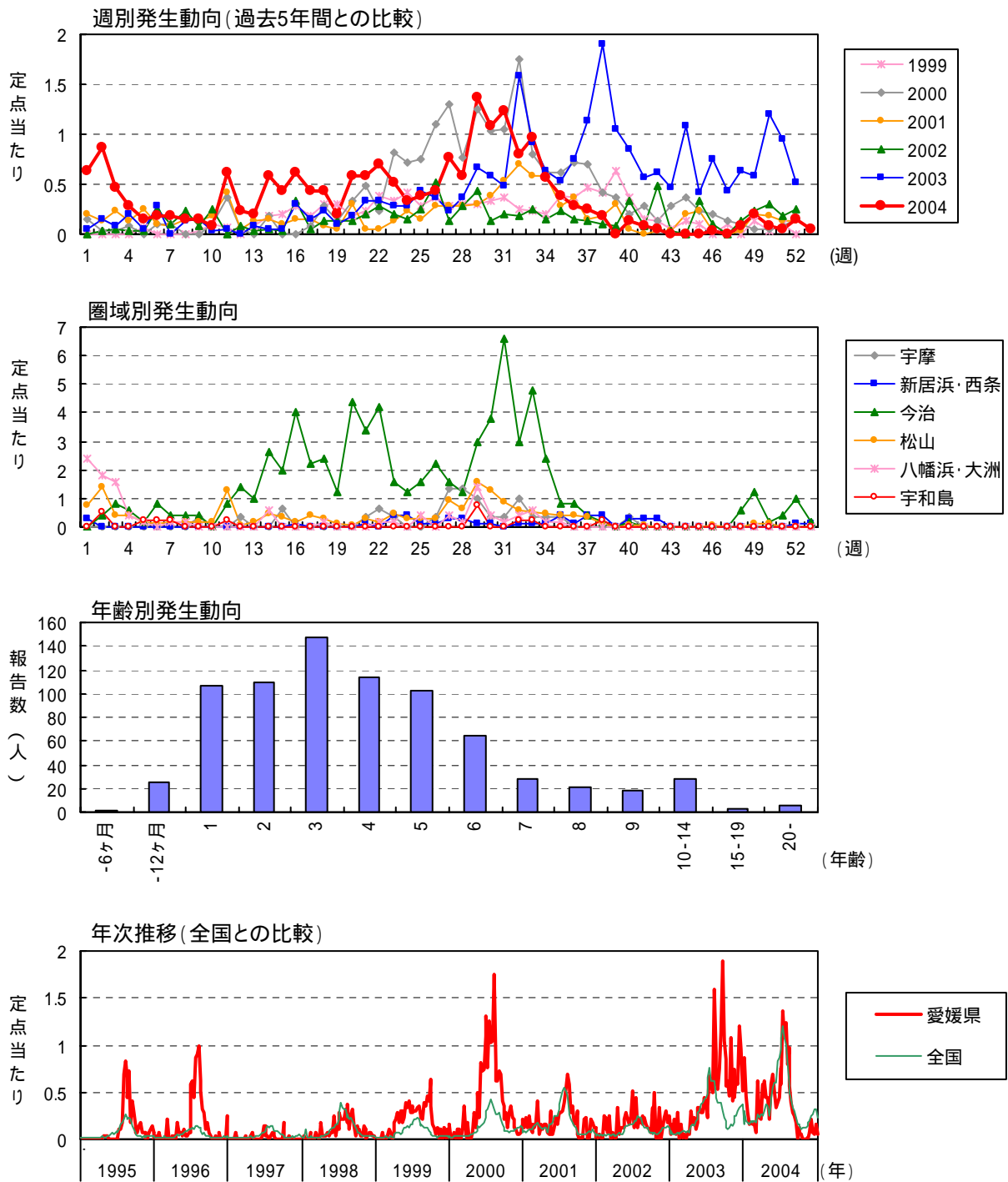
RSウイルス感染症

月週	患者報告数												定点あたり報告数																		
	2004年						愛媛県						2004年							愛媛県			全国								
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	
1					2				2			204							0.20					0.05							
2					5				3			395							0.50					0.13							
3					2				3			297							0.20					0.08							
4					6				6			277							0.60					0.15							
5					4				12			284							0.40			0.50	1.00	0.31							
6					2				6			217							0.20			0.50		0.15							
7					4				4			194							0.40					0.10							
8					2				3			157							0.10					0.08							
9					1				1			110							0.10					0.03							
10					2				2			102							0.40					0.05							
11					4				11			98							0.60				0.25	0.28							
12					1				1			76							0.10					0.03							
13					6				6			76							0.60					0.15							
14					1				1			56							0.10					0.03							
15												62																			
16												50																			
17												42												0.03							
18					6				8			38							0.20					0.21							
19					1				1			17							0.20					0.03							
20												15																			
21												15																			
22												29																			
23												21																			
24												31																			
25												17																			
26												20																			
27												15							0.10					0.03							
28					2				2			40							0.20					0.05							
29												28																			
30												15																			
31												31																			
32												43																			
33												19																			
34												28																			
35												33																			
36												45																			
37					2				2			42												0.05							
38												39																			
39												46																			
40												88																			
41												68																			
42												68																			
43												105																			
44												149																			
45												151							0.10												
46					3				3			331							0.30					0.03							
47					1				1			453							0.10					0.03							
48					1				1			506							0.10					0.03							
49												789																			
50					2				2			855							0.20					0.05							
51					4				4			921							0.40				1.25	0.10							
52					6				6			780							0.30				0.25	0.18							
53					1				1			486							0.20				0.25	0.05							
合計					35				65			9,074							7.00				1.00	2.97							
					1				116			25							0.33				1.00	2.25							
					9				9			1,703							6.50				0.25	0.64							

注)2004年の全国患者報告数は各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。また、定点あたり報告数は国から情報還元されていないため、報告数のみ掲載しています。

咽頭結膜熱

2004年の患者報告数は773人(定点当たり19.82人/年)で、過去10年間では、2003年(946人定点当たり24.26人/年)に次ぐ流行規模であった。前年冬季の流行が1月まで続いた後、3月中旬から今治地区で増加し始めた。その後、他の地区でも散発し始めたが顕著な増加傾向は見られず、今治地区で突出して多い状況が続き、7月中旬(第29週 定点当たり1.36人/週)に流行のピークを迎えた。9月上旬にはほぼ終息し、例年発生していた冬季の小流行は見られなかった。今治地区は第31週に定点当たり6.60人/週まで増加し、年間の患者総数も363人(定点当たり72.60人/年)と他の地区に比べ発生規模が大きく、地域的な流行が確認された。年齢別では1歳から6歳の幼児が643人で、全体の83%を占めた。



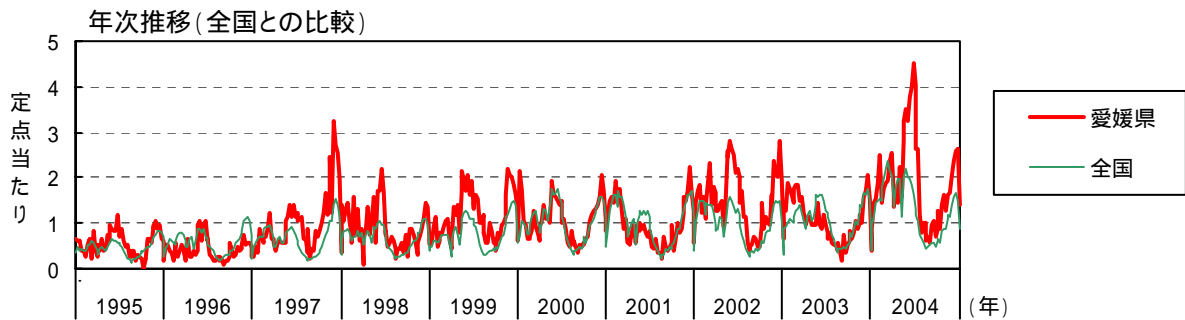
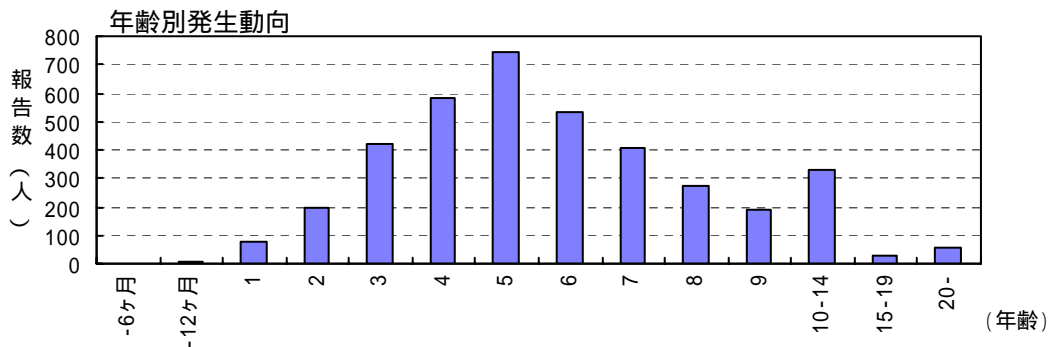
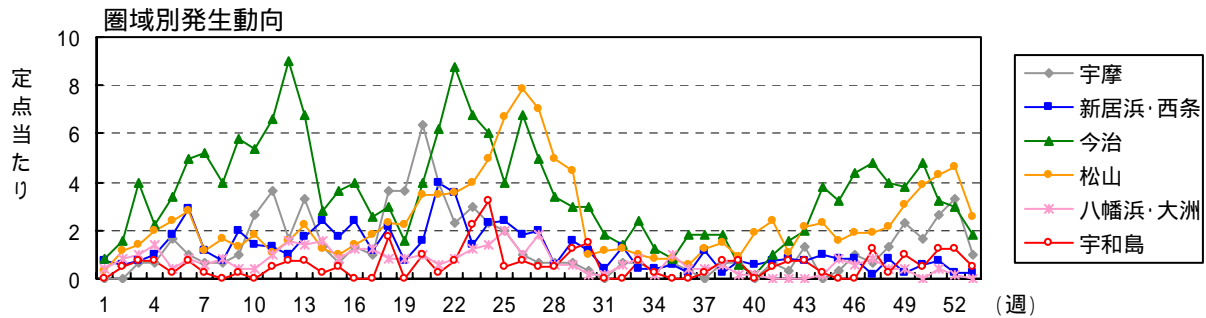
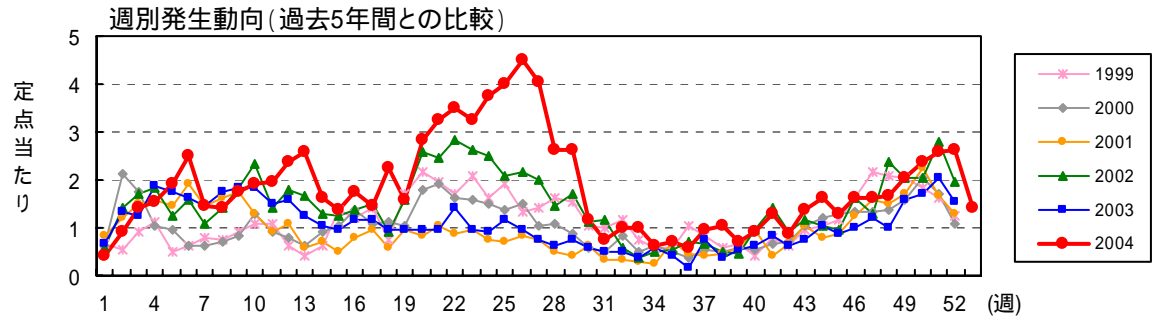
咽頭結膜熱

月 週	患者報告数													定点あたり報告数					愛媛県			全国																		
	2004年 保健所別									愛媛県				全国					2004年 保健所別			愛媛県			全国															
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002													
1			2	10	1	1	1	11	2	25	2	1	455	151	108				0.64	0.05	0.03	0.64	0.05	0.03	0.15	0.05	0.04													
2				17	4		9	2	34	6	1	1	894	259	160				0.87	0.15	0.03	0.87	0.15	0.03	0.30	0.09	0.05													
3				4	5		4	4	18	3	2	2	583	187	107				0.46	0.08	0.05	0.46	0.08	0.05	0.19	0.06	0.04													
4				3	4		2	2	11	8	1	1	527	178	170				0.28	0.21	0.03	0.28	0.21	0.03	0.17	0.06	0.06													
5				1	1		2	1	6	2	1	1	506	156	133				0.15	0.05	0.03	0.15	0.05	0.03	0.17	0.05	0.04													
6				4	1		1	1	7	11	10	10	589	201	174				0.18	0.28	0.26	0.18	0.28	0.26	0.19	0.07	0.06													
7				2	2		2	1	7	7	4	4	526	183	114				0.18	0.10	0.10	0.18	0.10	0.10	0.17	0.06	0.04													
8				2	2		2	1	6	5	9	9	590	235	113				0.15	0.13	0.23	0.15	0.13	0.23	0.19	0.08	0.04													
9	1			2	2		2	1	6	6	3	6	603	199	136				0.15	0.15	0.08	0.15	0.15	0.08	0.07	0.04	0.04													
10				2	2		2	1	3	3	10	10	556	244	145				0.08	0.03	0.26	0.08	0.03	0.26	0.18	0.07	0.05													
11				4	18		1	1	24	2	2	2	797	280	121				0.62	0.05	0.08	0.62	0.05	0.08	0.26	0.09	0.04													
12			1	7	7		1		9	9	3	3	725	216	142				0.23	0.08	0.03	0.23	0.08	0.03	0.24	0.07	0.05													
13				5	2		2		8	3	1	1	824	253	140				0.21	0.08	0.03	0.21	0.08	0.03	0.27	0.08	0.05													
14				13	7		3		23	2	2	2	824	231	115				0.59	0.05	0.05	0.59	0.05	0.05	0.27	0.08	0.04													
15	2			10	4		1		17	2	1	1	761	289	108				0.44	0.05	0.03	0.44	0.05	0.03	0.25	0.09	0.04													
16				20	3		3		24	12	13	13	933	405	154				0.62	0.31	0.33	0.62	0.31	0.33	0.31	0.13	0.05													
17			1	11	4		2		17	6	2	2	1,130	473	212				0.44	0.15	0.05	0.44	0.15	0.05	0.37	0.16	0.07													
18				12	4		1		17	9	5	5	1,086	424	143				0.44	0.23	0.13	0.44	0.23	0.13	0.36	0.14	0.05													
19				6	1		1		8	4	5	5	783	560	203				0.21	0.10	0.13	0.21	0.10	0.13	0.26	0.18	0.07													
20				22	1		2		23	7	5	5	1,177	644	258				0.59	0.18	0.13	0.59	0.18	0.13	0.39	0.21	0.08													
21				17	2		2		23	13	8	8	1,296	861	369				0.59	0.33	0.21	0.59	0.33	0.21	0.43	0.28	0.14													
22				21	1		1		27	13	11	11	1,693	928	422				0.69	0.33	0.28	0.69	0.33	0.28	0.56	0.30	0.14													
23				8	5		2		20	11	8	8	1,812	1,113	456				0.51	0.28	0.21	0.51	0.28	0.21	0.60	0.37	0.15													
24				6	3		1		13	11	6	6	1,857	1,178	454				0.38	0.44	0.26	0.38	0.44	0.26	0.83	0.42	0.15													
25				8	4		1		15	17	10	10	2,521	1,281	456				0.44	0.36	0.51	0.44	0.36	0.51	1.01	0.63	0.25													
26	1			11	3		1		17	14	20	20	2,638	1,333	486				0.77	0.49	0.22	0.77	0.49	0.22	1.08	0.62	0.22													
27	4			8	14		2		30	9	5	5	2,882	1,502	521				1.23	0.81	0.49	1.23	0.81	0.49	1.01	0.63	0.25													
28	4			6	10		1		23	14	11	11	3,296	1,980	612				0.59	0.36	0.28	0.59	0.36	0.28	1.08	0.65	0.20													
29	3			15	17		7		53	26	17	17	3,686	2,366	593				1.36	0.67	0.44	1.36	0.67	0.44	1.21	0.78	0.19													
30	1			19	11		8		42	23	5	5	3,289	1,904	755				1.08	0.59	0.13	1.08	0.59	0.13	1.08	0.63	0.25													
31	1			33	8		5		48	19	8	8	3,070	1,881	682				1.23	0.81	0.49	1.23	0.81	0.49	1.01	0.63	0.25													
32	3			15	6		3		31	62	7	7	2,431	1,893	690				0.79	1.59	0.18	0.79	1.59	0.18	0.80	0.62	0.23													
33	1			24	5		3		38	36	10	10	1,732	1,455	486				0.92	0.92	0.26	0.92	0.92	0.26	0.57	0.49	0.16													
34	1			12	4		3		22	25	6	6	1,484	1,365	485				0.56	0.64	0.15	0.56	0.64	0.15	0.49	0.45	0.16													
35	1			3	4		2		15	21	9	9	1,292	1,204	376				0.38	0.54	0.23	0.38	0.54	0.23	0.43	0.40	0.12													
36				4	5		1		11	29	6	6	1,017	1,180	381				0.28	0.74	0.15	0.28	0.74	0.15	0.34	0.39	0.13													
37				2	4		1		10	44	5	5	890	1,163	373				0.26	1.13	0.13	0.26	1.13	0.13	0.29	0.38	0.12													
38				3	1		2		7	74	4	4	674	896	228				0.18	1.90	0.10	0.18	1.90	0.10	0.22	0.30	0.08													
39				4	4		1		41	41	3	3	470	695	193				1.05	0.08	0.15	1.05	0.08	0.15	0.23	0.06	0.06													
40	1			2	1		1		5	33	13	13	499	577	222				0.13	0.85	0.33	0.13	0.85	0.33	0.16	0.19	0.07													
41				2	1		1		3	22	3	3	411	401	168				0.08	0.56	0.08	0.08	0.56	0.08	0.13	0.13	0.06													
42				2	2		2		2	24	19	19	333	330	193				0.05	0.62	0.49	0.05	0.62	0.49	0.11	0.11	0.06													
43									18	18	1	1	359	366	144				1.08	1.08	0.03	1.08	1.08	0.03	0.12	0.12	0.05													
44									42	42	5	5	363	509	166				0.08	0.44	0.13	0.08	0.44	0.13	0.19	0.25	0.09													
45									16	13	13	13	366	442	223				0.41	0.41	0.33	0.41	0.41	0.33	0.12	0.15	0.07													
46									29	29	4	4	451	543	251				0.74	0.74	0.10	0.74	0.74	0.10	0.15	0.18	0.08													
47									1	17	17	17	526	751	280				0.44	0.44	0.13	0.44	0.44	0.13	0.17	0.25	0.09													
48				3					3	25	5	5	585	749	367				0.21	0.59	0.23	0.21	0.59	0.23	0.24	0.30	0.12													
49				6			2		8	23	9	9	737	908	379				0.08	1.21	0.31	0.08	1.21	0.31	0.32	0.34	0.12													
50				1	1		1		3	47	12	12	816	1,049	355				0.05	0.95	0.18	0.05	0.95	0.18	0.37	0.35	0.14													
51				2			1		2	37	7	7	967	1,061	424				0.15	0.51	0.26	0.15	0.51	0.26	0.32	0.37	0.12													
52				5					6	20	10	10	968	1,119	354				0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.12	0.12	0.05													
53				1					2	-	-	-	705	-	-				0.05	-	-	0.05	-	-	0.23	-	-													
合計	29	14	25	363	198	70	44	12	773	946	333	333	60,985	40,751	15,500				9.67	3.50	8.33	9.67	3.50	8.33	3.00	14.67	9.00	14.00	19.80	19.80	14.00	9.00	14.67	3.00	19.82	24.26	8.54	20.06	13.40	5.11

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2004年の患者報告数は3,838人(定点当たり98.41人/年)で、2003年(2,150人 定点当たり55.13人/年)に比べ大幅に増加し、過去10年間で最も大きな流行規模となった。本疾患は冬季と春から初夏にかけて多発する傾向が見られるが、本年は夏季に今治地区と松山地区で多発し、例年になく大規模な流行が発生した。松山地区は本年5月以降患者報告数が増加し、年間の患者報告数は定点当たり196.60人/年と他の地区に比べて多く、特に第24週から第29週の定点当たり患者報告数は10~20人/週で推移した。また今治地区は前年11月以降患者報告数が多い状況が続いており、年間の患者報告数も定点当たり189.60人/年と松山地区に次いで多かった。年齢別では5歳が741人(19%)で最も多く、3歳から7歳が2,683人で全体の70%を占めた。

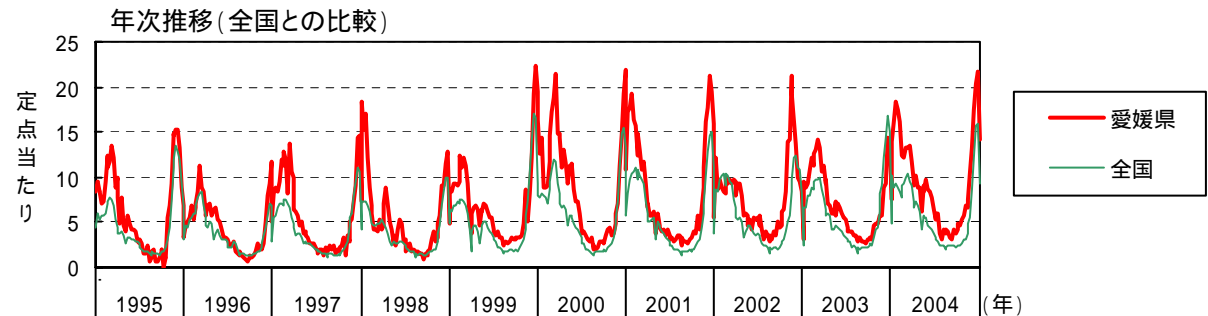
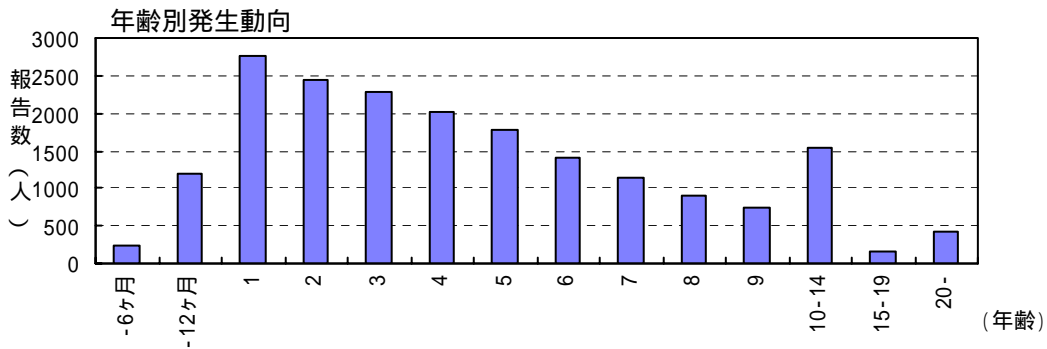
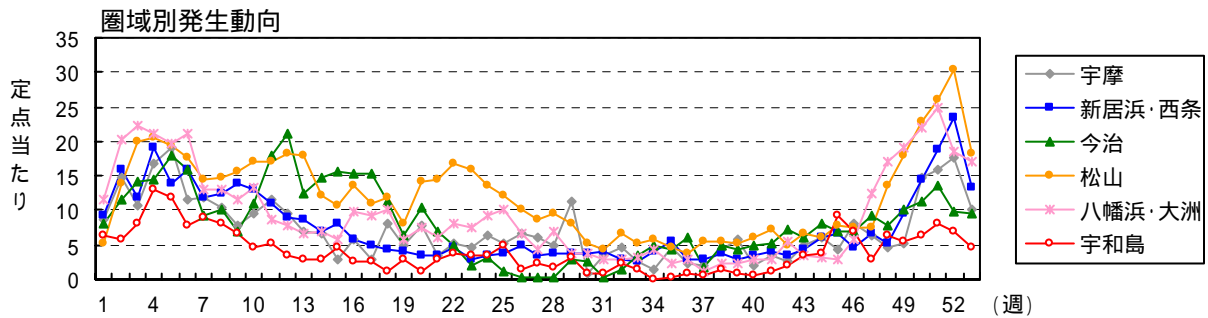
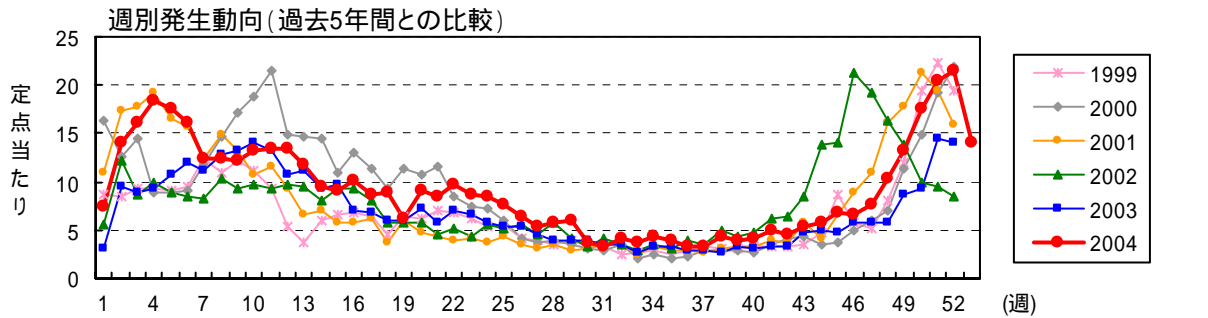


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

月週	患者報告数																					定点あたり報告数				
	2004年 保健所別												愛媛県					全国								
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2003	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002					
1	2	3	4	4	1	1	1	1	2	16	23	1,174	907	1,149	0.50	0.40	0.20	0.50	0.33	0.50	0.41	0.67	0.59	0.40	0.31	0.38
2	2	2	8	13	4	4	4	4	2	35	52	2,951	2,617	3,010	0.50	0.40	0.80	0.50	0.33	0.50	0.90	1.33	1.44	0.98	0.86	0.99
3	5	5	20	15	6	3	2	3	3	56	49	3,446	2,740	3,804	0.67	1.50	1.20	1.50	0.67	0.75	1.44	1.26	1.69	1.14	0.90	1.25
4	2	2	11	25	5	7	7	7	3	60	73	4,414	3,110	4,457	0.67	2.20	2.50	3.50	0.67	0.75	1.54	1.87	1.85	1.45	1.02	1.47
5	5	7	6	17	26	10	2	1	1	74	68	4,589	3,380	4,479	1.67	2.60	2.00	2.00	0.25	0.25	1.90	1.74	1.23	1.51	1.11	1.48
6	3	12	8	25	33	9	3	3	3	97	64	4,050	3,181	4,462	1.00	3.30	1.80	1.50	0.33	0.75	2.49	1.64	1.59	1.53	1.04	1.47
7	2	2	6	26	14	3	2	1	1	57	57	4,326	3,047	3,473	0.67	1.40	0.60	1.00	0.33	0.25	1.46	1.46	1.10	1.49	1.00	1.14
8	2	1	4	20	18	7	2	2	2	56	68	5,495	3,519	4,341	0.67	0.25	1.40	1.00	0.67	1.44	1.74	1.41	1.81	1.15	1.43	1.43
9	3	10	4	29	16	4	2	1	1	69	71	6,003	3,888	4,238	1.00	2.50	1.60	1.00	0.25	1.77	1.82	1.85	1.97	1.28	1.31	1.41
10	8	5	5	27	20	7	2	2	74	72	6,602	4,029	4,270	2.67	1.25	1.40	1.00	0.33	0.25	1.90	1.85	2.33	2.17	1.32	1.41	
11	11	5	4	33	9	7	4	1	2	76	59	7,161	4,256	4,232	3.67	1.25	1.40	2.00	0.33	0.50	1.95	1.51	1.41	2.35	1.40	1.39
12	5	4	3	45	12	3	3	5	3	92	62	70	6,333	3,746	1.67	1.00	1.20	1.50	1.67	0.75	2.36	1.59	1.79	2.15	1.25	1.23
13	10	8	4	34	28	6	4	3	100	48	65	6,301	3,152	2,900	3.33	2.00	1.20	2.00	1.00	0.75	2.56	1.23	1.67	2.07	1.83	0.95
14	4	13	4	14	16	3	7	1	63	40	50	4,493	2,723	2,524	1.33	3.25	0.60	3.50	0.33	0.25	1.62	1.03	1.28	1.48	0.89	0.83
15	2	10	2	18	13	2	3	1	53	38	49	4,084	2,755	2,610	0.67	2.50	0.40	1.50	0.33	0.50	1.36	0.97	1.26	1.34	0.90	0.86
16	4	9	8	20	14	7	4	2	68	45	54	5,459	3,643	3,362	1.33	2.25	1.40	2.00	0.67	1.74	1.15	1.38	1.79	1.20	1.11	
17	3	6	2	13	17	10	6	5	57	45	59	6,052	3,347	3,347	1.00	1.50	1.40	3.00	0.67	1.46	1.46	1.15	1.51	1.99	1.27	1.10
18	11	13	2	15	25	10	4	7	87	37	36	5,980	3,180	2,160	3.67	3.25	2.00	2.00	1.75	2.23	2.23	0.95	0.92	1.97	1.05	0.71
19	11	3	2	8	20	13	3	3	61	38	61	3,454	3,478	3,233	3.67	0.75	2.60	1.50	0.33	1.56	1.56	0.97	1.56	1.13	1.14	1.06
20	19	6	5	20	33	9	2	4	111	37	101	6,158	4,300	4,232	6.33	1.50	3.80	1.00	1.00	2.85	2.85	0.95	2.59	2.02	1.41	1.39
21	12	23	5	31	30	22	1	2	127	37	96	6,192	4,957	4,308	4.00	5.75	4.40	0.50	0.67	0.25	3.26	0.95	2.46	2.04	1.63	1.42
22	7	19	6	44	32	2	2	3	136	56	110	6,668	4,816	4,720	2.33	4.75	4.20	1.00	0.67	0.75	3.49	1.44	2.82	2.19	1.58	1.55
23	9	1	34	31	28	1	5	9	127	38	102	6,187	4,888	4,397	3.00	2.25	5.60	0.50	1.67	2.25	3.26	0.97	2.62	2.03	1.60	1.45
24	7	11	5	30	22	52	2	13	147	35	98	6,017	4,482	4,048	2.33	2.75	10.40	1.00	1.67	3.25	3.77	0.90	2.51	1.98	1.60	1.33
25	6	11	6	20	28	73	5	2	156	46	82	5,619	4,535	3,734	2.00	2.75	14.60	2.50	1.67	0.50	4.00	1.18	2.10	1.85	1.49	1.23
26	3	10	3	34	21	97	1	4	176	38	85	4,936	3,905	3,906	1.00	2.50	19.40	0.50	1.33	0.75	4.51	0.97	2.18	1.62	1.28	1.28
27	2	6	8	25	18	87	5	4	157	30	78	4,048	3,857	3,576	0.67	1.50	17.40	2.50	1.33	0.50	4.03	0.77	2.00	1.33	1.27	1.18
28	2	3	1	17	23	51	1	2	102	25	57	3,559	3,555	2,837	0.67	0.75	10.20	0.50	0.67	0.50	2.62	0.64	1.46	1.17	1.17	0.93
29	2	8	3	15	14	53	1	2	103	30	67	3,139	3,042	2,300	0.67	2.00	10.60	0.50	0.67	1.25	2.64	0.77	1.72	1.03	1.00	0.76
30	1	7	1	15	10	5	1	6	46	22	44	2,238	2,328	1,861	0.33	1.75	1.00	0.50	0.33	1.50	1.18	0.56	1.13	0.73	0.76	0.61
31	2	1	9	10	7	1	1	1	36	20	45	1,981	2,076	1,357	0.50	0.50	1.40	0.50	0.33	0.77	0.77	0.51	1.15	0.65	0.68	0.61
32	2	5	4	7	10	8	3	3	39	20	22	1,713	1,523	1,093	0.67	1.25	1.60	0.50	1.00	1.00	1.00	0.51	0.56	0.56	0.50	0.36
33	2	3	12	4	11	1	1	3	39	15	15	1,294	1,021	726	0.67	0.75	2.40	0.50	1.00	0.75	1.00	0.38	0.38	0.43	0.34	0.24
34	1	3	6	7	5	1	1	1	24	23	19	1,283	1,350	996	0.33	0.75	1.00	0.50	0.33	0.25	0.62	0.59	0.49	0.43	0.44	0.33
35	2	4	4	4	8	5	5	5	27	16	21	1,502	1,283	1,142	0.67	1.00	1.60	0.50	1.67	0.69	0.69	0.41	0.54	0.49	0.42	0.38
36	1	2	9	3	6	1	1	1	23	7	27	1,567	1,381	1,106	0.33	0.50	1.20	0.50	0.33	0.59	0.18	0.69	0.52	0.45	0.45	0.36
37	7	7	1	9	6	12	4	2	38	29	26	1,698	1,511	1,261	1.75	1.75	2.40	0.50	0.67	0.25	0.97	0.74	0.67	0.56	0.50	0.42
38	2	1	1	9	12	10	3	3	41	14	19	1,744	1,343	1,131	0.67	0.25	2.00	0.50	1.00	0.75	1.05	0.36	0.49	0.57	0.44	0.37
39	2	3	2	3	5	9	1	3	28	21	18	1,441	1,544	1,290	0.67	0.75	1.80	0.50	0.33	0.75	0.72	0.54	0.46	0.47	0.51	0.42
40	4	5	1	3	1	13	1	3	35	24	37	1,820	1,763	1,774	0.67	0.25	3.20	0.50	0.33	0.90	0.90	0.62	0.95	0.60	0.58	0.58
41	2	3	2	5	16	20	2	2	50	32	56	1,950	2,369	1,735	0.67	0.75	4.00	0.50	0.50	1.28	1.28	0.82	1.44	0.64	0.78	0.57
42	1	3	3	8	12	4	4	3	34	25	35	1,756	2,086	1,739	0.33	0.75	0.80	0.50	0.33	0.75	0.87	0.64	0.90	0.58	0.69	0.57
43	4	3	2	10	17	15	3	3	54	30	45	2,532	2,757	2,340	1.33	0.75	3.00	0.50	1.00	0.75	0.62	0.77	1.15	0.83	0.90	0.71
44	4	5	2	19	12	23	1	1	63	41	40	2,636	3,195	2,450	1.25	1.25	4.60	0.50	0.33	1.25	1.62	1.05	1.03	0.87	1.05	0.81
45	1	3	3	16	13	10	2	2	50	34	38	2,725	2,993	2,506	0.33	0.75	2.00	1.00	0.67	1.28	0.87	1.28	0.97	0.90	0.98	0.82
46	3	1	5	22	17	12	3	3	63	39	64	3,337	3,829	3,370	1.00	0.25	2.40	0.50	1.00	1.62	1.62	1.00	1.64	1.10	1.26	1.11
47	2	1	24	13	15	4	5	5	64	47	50	3,605	4,318	3,401	0.67	0.25	3.00	0.50	1.33	1.25	1.64	1.21	1.28	1.19	1.42	1.12
48	4	5	1	20	17	15	1	1	65	39	93	3,415	4,086	4,287	1.33	1.25	3.00	0.50	0.33	1.67	1.67	1.00	2.38	1.12	1.34	1.41
49	7	5	2	19	18	28	2	4	80	61	80	4,308	5,077	4,508	2.33	3.80	5.60	1.00	0.33	2.05	2.05	1.56	2.05	1.42	1.67	1.48
50	5	3	1	24	31	27	2	2	93	67	79	4,804	4,988	4,389	1.67	0.75	3.10	1.00	0.50	2.58	2.58	1.72	2.03	1.58	1.64	1.44
51	8	3	2	16	39	26	2	5	101	80	109	5,020	5,272	4,554	2.67	0.75	5.20	1.00	1.25	2.59	2.59	2.05	2.79	1.65	1.73	1.50
52	10	3	2	15	37	33	1	5	103	60	76	4,571	4,464	3,128	3.33	0.67	6.60	0.50	1.25	2.64	2.64	1.54	1.95	1.50	1.47	1.03
53	3	2	2	9	10	29	2	2	55	-	-	2,641	-	-	1.00	0.67	5.80	0.50	0.67	1.41	-	-	-	0.87	-	-
合計	220	295	155	948	926	983	100	85	3,838	2,150	3,021	207,471	166,566	155,999	73.33	73.75	51.67	50.00	28.33	31.50	98.41	55.13	77.46	68.23	54.77	51.38

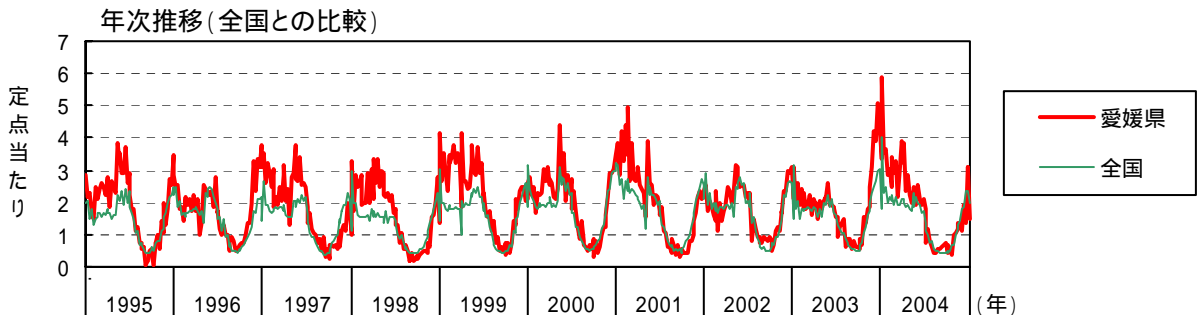
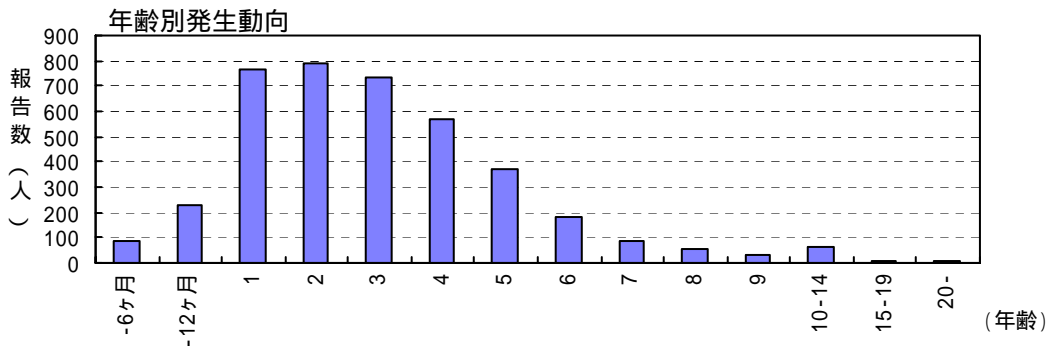
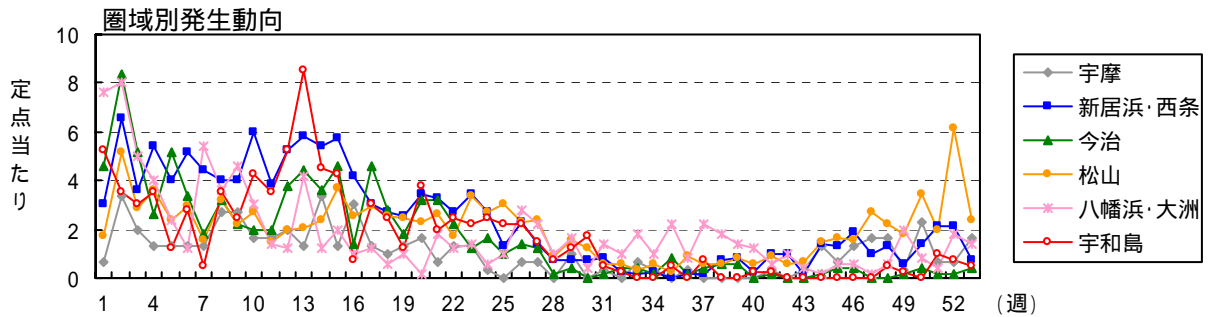
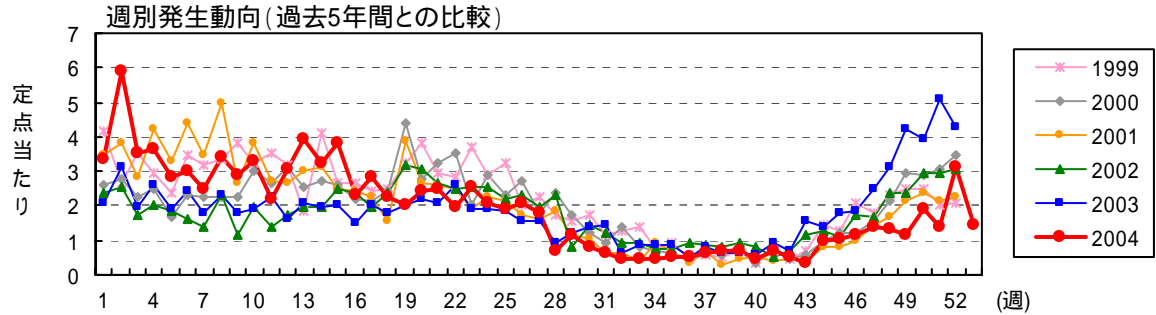
感染性胃腸炎

2004年の患者報告数は18,991人(定点当たり486.95人/年)で、前年(14,066人 定点当たり360.07人/年)に比べて大幅に増加し、過去10年間では最も大きな流行規模であった。本疾患は例年2~3月のなだらかなピークと冬季の急峻なピークの2峰性の患者発生がみられるが、前年冬季の患者増加が遅く、本年第4週(定点当たり18.46人/週)に冬季の流行のピークを迎えた。その後減少に転じたが、春先のピークと重なり今治地区では4月下旬まで、中予では7月上旬までそれぞれ患者数の多い状況が続いたことから、例年よりも減少幅に鈍化が見られた。9月下旬から再び増加に転じ、第52週に定点当たり21.59人/週となり2回目の冬季のピークを形成した。地域的には松山市(定点当たり680.30人/年)、松山地区(定点当たり552.60人/年)と中予で特に多かった。年齢別では乳幼児から成人まで全年齢層にわたって報告があり、1歳から6歳の幼児が12,665人で全体の67%を占めていた。



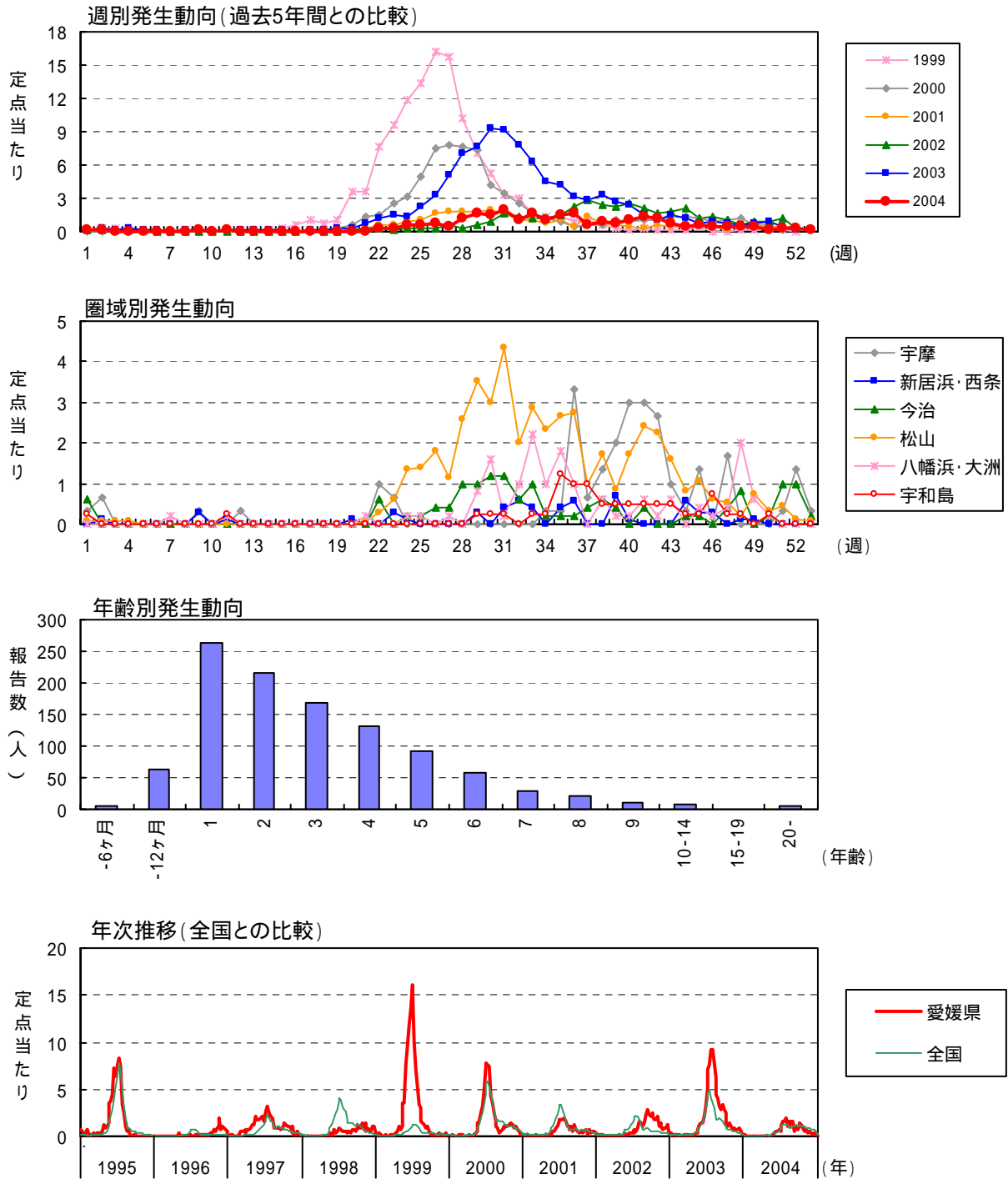
水痘

2004年の患者報告数は3,982人(定点当たり102.10人/年)で、前年(3,809人 定点当たり97.67人/年)とほぼ同程度であった。前年末からの増加が第2週(定点当たり5.90人/週)にピークを迎え、過去10年間で最大の流行ピークを形成した。その後緩やかに減少し、11月以降再び増加に転じ、第52週(定点当たり3.13人/週)に再び流行のピークを迎えた。地域的には大洲地区(定点当たり162.00人/年)、西条地区(定点当たり144.00人/年)、松山市(定点当たり123.50人/年)が多かった。年齢別では1歳から4歳の報告が多く、全体の72%(2,862人)を占めた。



手足口病

2004年の患者報告数は1,063人(定点当たり27.26人/年)で、前年(3,892人 定点当たり99.79人/年)よりも大幅に減少し、感染症法が施行された1999年以降では最も小さな流行規模であった。6月以降中予で散発し始め、例年よりも約1ヶ月遅れて増加傾向が見られた。その後中予での増加が続き、次第に今治地区や大洲地区へ発生地域が拡大したが、例年に比べ低い発生頻度で推移した。第31週(定点当たり1.95人/週)に流行のピークを迎え、その後一旦減少傾向が見られたが、中予での多発と四国中央地区での増加により、10月中旬までほぼ横ばいで推移した。地域的には松山市(定点当たり55.80人/年)、松山地区(定点当たり36.80人/年)、四国中央地区(定点当たり26.33人/年)が多かった。年齢別では1歳児(262人)が最も多く、5歳以下(937人)が全体の88%を占めた。



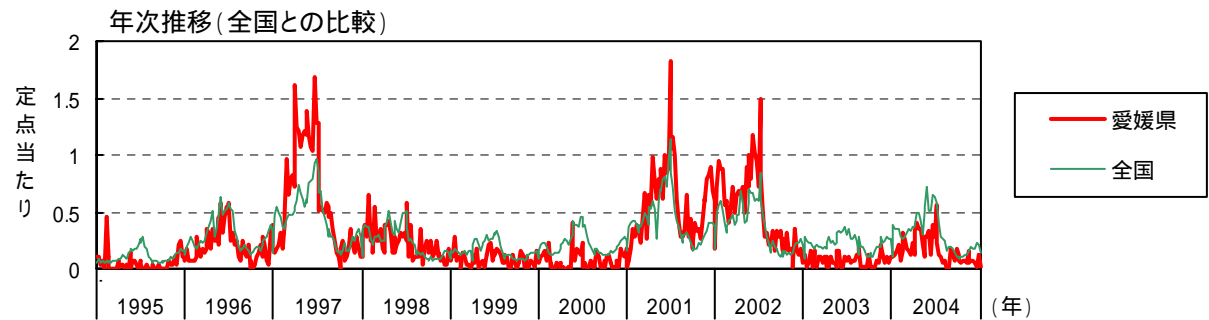
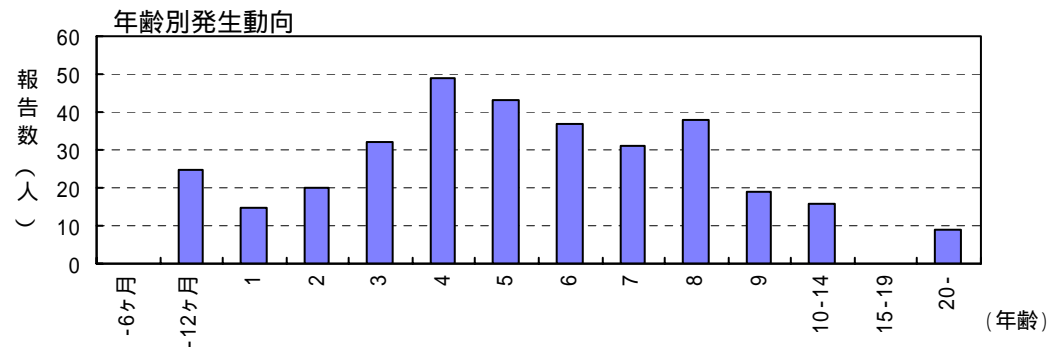
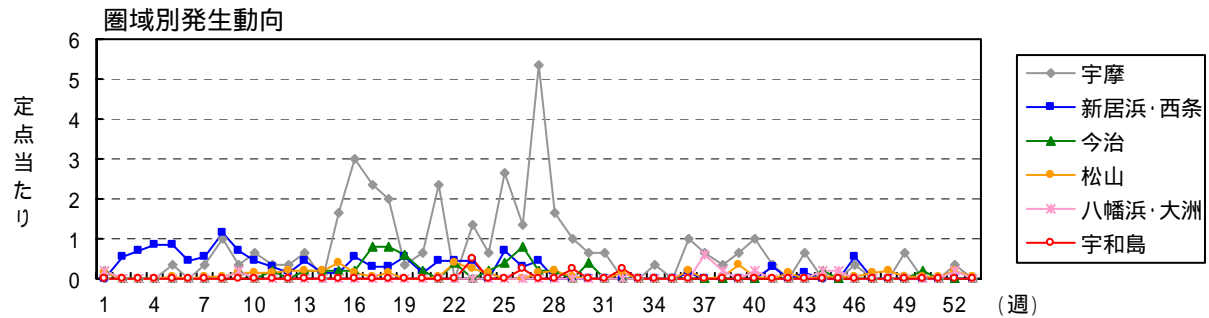
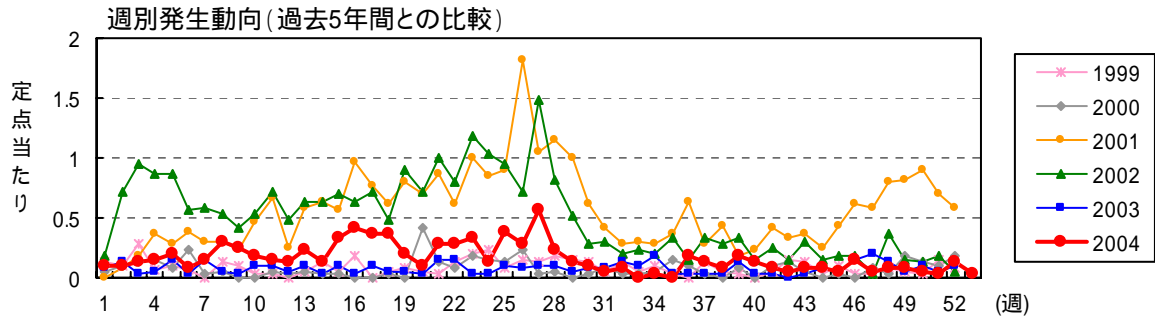
手足口病

月週	患者報告数											定点あたり報告数																				
	2004年 保健所別						愛媛県					全国					2004年 保健所別						愛媛県					全国				
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002		
1	1			3	1			1	6	7	4	186	188	222	0.33	0.67			0.60	0.10				0.25	0.15	0.18	0.10	0.06	0.07			
2	2	1			4				4	12	4	219	300	328	0.67				0.10	0.10					0.10	0.31	0.10	0.07	0.11			
3					1				1	8	4	200	318	361					0.10	0.10					0.03	0.21	0.10	0.07	0.10			
4					1				1	10	5	237	276	470					0.10	0.10					0.03	0.26	0.13	0.08	0.09			
5									7	8	7	242	280	428											0.21	0.18	0.08	0.09	0.14			
6									1	2	2	194	300	414											0.18	0.03	0.06	0.10	0.14			
7									1	2	2	184	280	384											0.03	0.05	0.05	0.06	0.09			
8									3	3	1	169	256	381	0.33	0.50									0.15	0.15	0.06	0.08	0.13			
9	1								3	3	1	188	317	351	0.33										0.08	0.08	0.03	0.06	0.10			
10										2	2	156	343	357											0.05	0.05	0.03	0.05	0.11			
11									3	7	2	148	452	389											0.08	0.18	0.05	0.05	0.15			
12	1								1	4	1	151	337	331	0.33										0.03	0.10	0.03	0.05	0.11			
13									1	5	1	165	359	302	0.33										0.03	0.13	0.03	0.05	0.11			
14										3	3	131	392	352												0.08	0.04	0.13	0.12			
15										5	2	166	472	348												0.13	0.05	0.15	0.11			
16										2	2	208	639	574												0.05	0.07	0.21	0.19			
17										8	6	274	735	674												0.21	0.15	0.09	0.24	0.22		
18										7	1	332	911	602												0.18	0.03	0.11	0.30	0.20		
19										13	2	252	926	804												0.33	0.05	0.08	0.30	0.26		
20									1	13	8	394	1,546	1,205											0.03	0.33	0.21	0.13	0.51			
21									2	29	11	639	2,447	1,906											0.05	0.74	0.28	0.21	0.80			
22									10	47	9	847	2,881	2,061	1.00				0.60	0.70					0.26	1.21	0.23	0.28	0.95			
23	2								13	57	7	889	3,522	2,287	0.67											0.33	1.46	0.18	0.29	1.16		
24									23	54	14	1,209	4,179	2,777					0.20	1.80						0.59	1.38	0.36	0.40	1.37		
25									23	85	14	1,648	6,532	3,754					0.20	1.50						0.59	2.18	0.36	0.54	2.14		
26									29	131	14	1,828	9,732	4,009					0.40	2.20						0.74	3.36	0.36	1.00	3.19		
27									20	198	26	2,587	12,036	5,175					0.40	1.40						0.51	5.08	0.67	0.85	3.95		
28									44	275	14	3,221	13,881	6,314					1.00	3.00						1.13	7.05	0.36	1.06	4.55		
29									65	300	21	3,954	15,227	6,470					3.20	3.70						1.67	7.69	0.54	1.30	5.00		
30									60	361	35	3,787	12,426	6,374					1.20	3.40						1.54	9.26	0.90	1.24	4.08		
31									76	359	63	3,965	10,957	5,047					0.40	2.20						1.95	9.21	1.62	1.30	3.59		
32									42	306	53	3,909	9,402	3,659					0.60	1.80						1.08	7.85	1.36	1.29	3.09		
33									63	245	46	2,936	5,750	2,253					1.00	2.50						1.62	6.28	1.18	0.97	1.92		
34	1								43	175	44	2,687	5,456	1,955	0.33				0.20	2.30						1.10	4.49	1.13	0.89	1.80		
35	1								59	161	58	2,938	5,661	2,186	0.33				0.20	2.70						1.51	4.13	1.49	0.97	1.86		
36	10								65	124	90	3,179	5,973	2,434					0.20	2.80						1.67	3.18	2.31	1.05	1.97		
37	2								23	113	110	3,160	5,419	2,466					0.40	1.00						1.00	5.9	2.90	2.82	1.04	1.79	
38	4								38	130	93	3,496	5,090	2,124					0.60	2.20						0.67	3.33	2.38	1.15	1.68		
39	6								29	107	86	3,159	4,023	1,788					0.40	1.10						0.33	0.50	0.74	2.21	1.04		
40	9								39	96	98	3,259	3,500	1,745					0.25	3.00						1.00	2.46	2.51	1.07	1.15		
41	9								52	57	83	3,534	2,892	1,825					0.40	3.00						1.33	1.46	2.13	1.15	0.95		
42	8								45	42	66	3,106	1,937	1,738					3.00	3.00						0.50	1.15	1.08	1.69	1.02	0.64	0.57
43	3								32	56	69	3,004	2,013	1,572					1.90	1.90						0.33	0.82	1.44	1.77	0.99	0.66	0.52
44	1								19	44	84	2,972	1,896	1,638					1.00	1.00						0.25	0.49	1.13	2.15	0.98	0.62	0.54
45	4								26	30	44	2,724	1,643	1,316					1.50	2.00						0.25	0.67	0.77	1.13	0.90	0.54	0.43
46	5								15	34	53	2,813	1,651	1,251					0.70	0.40						0.75	0.38	0.87	1.36	0.92	0.54	0.41
47	5								18	29	40	2,721	1,792	1,126					0.40	0.60						0.25	0.46	0.74	1.03	0.89	0.59	0.37
48									19	25	25	2,601	1,396	1,062					0.80	0.30						0.25	0.40	0.64	0.86	0.46	0.37	0.37
49									15	31	37	2,555	1,185	1,027					0.90	0.90						0.38	0.79	0.95	0.74	0.39	0.34	0.34
50									8	33	33	2,039	1,018	908					0.20	0.50						0.21	0.85	0.85	0.67	0.33	0.30	0.30
51	1								13	19	49	1,985	897	877					1.00	0.70						0.33	0.49	1.26	0.65	0.29	0.29	0.29
52	4								11	7	10	1,512	618	623					1.00	0.20						0.28	0.18	0.26	0.50	0.20	0.21	0.21
53	1								3	-	-	783	-	-					0.20	0.10						0.08	-	-	-	-	-	-
合計	79	23	20	74	558	184	45	40	1,063	3,892	1,550	89,542	172,659	91,024	26.33	5.75	6.67	14.80	55.80	36.80	22.50	13.33	10.00	27.26	99.79	39.74	29.45	56.78	29.98	29.98	29.98	

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

伝染性紅斑

2004年の患者報告数は334人(定点当たり8.56人/年)であった。本疾患は過去1992年、1997年および2001～2002年と、4～5年に一度流行期を迎えている。前年(157人 定点当たり4.03人/年)から非流行期に入ったようで、本年は小規模な流行であった。前年11月以降、新居浜地区を中心に東予で散発が続いており、本年4月中旬から四国中央地区で増加傾向が確認され、他の地区よりも患者数の多い状況で推移した。第27週には、四国中央地区で定点当たり5.33人/週、県全体でも0.56人/週と流行のピークを迎え、その後減少に転じたが、他の地区では顕著な増加は確認されなかった。年齢別では0歳から9歳を中心に幅広く分布しており、0歳から4歳が42%(141人)、5歳から9歳が50%(168人)を占めた。



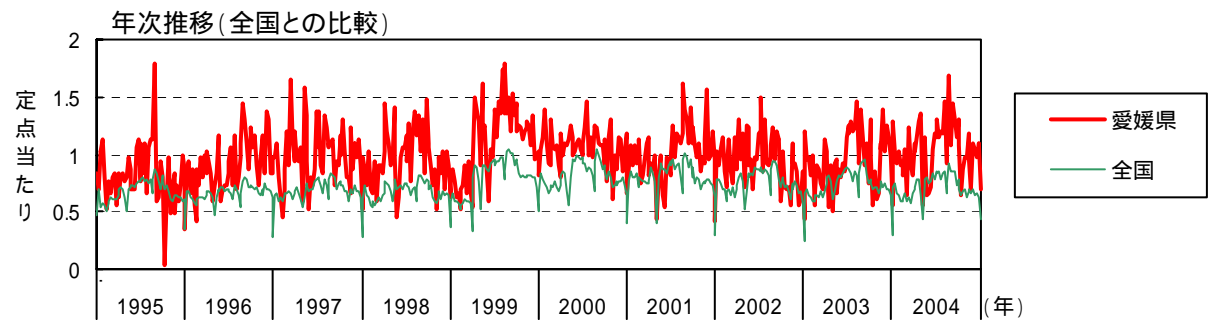
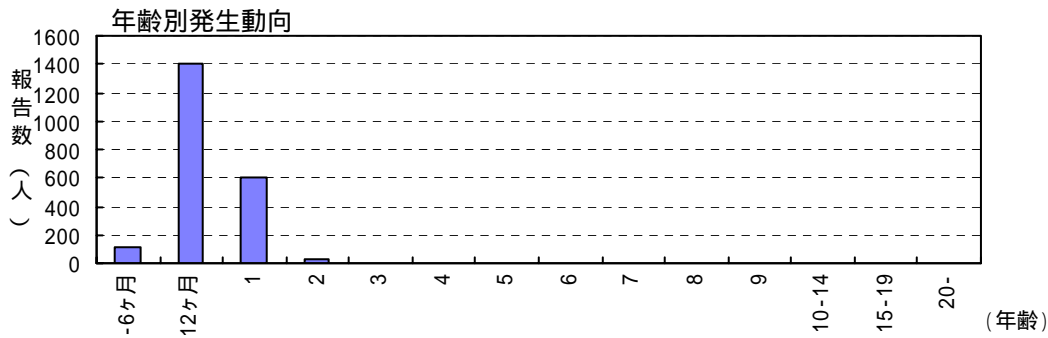
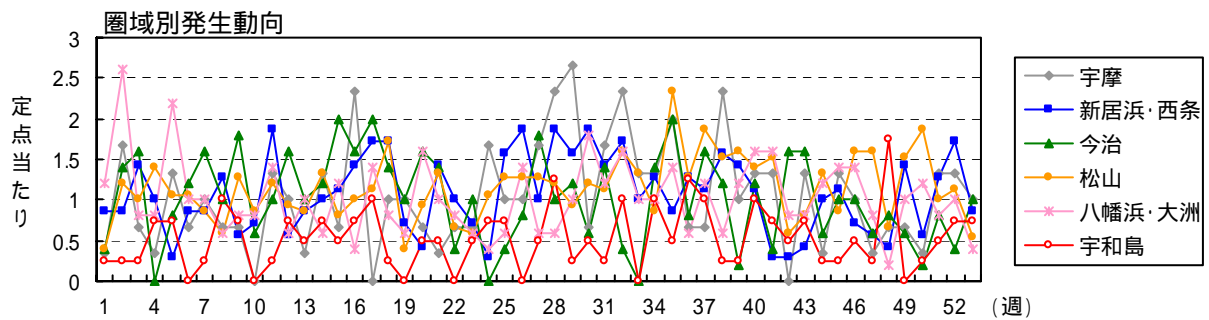
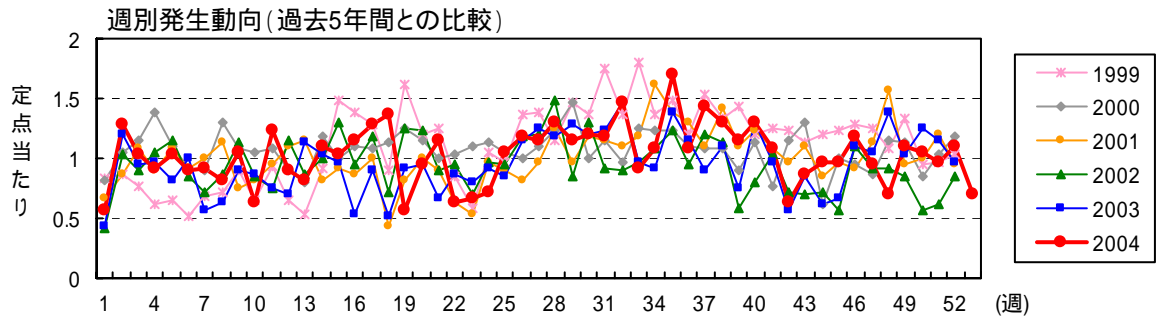
伝染性紅斑

月週	患者報告数										定点あたり報告数																		
	愛媛県					全国					2004年 保健所別					愛媛県					全国								
	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003
1	4	3	7	299	271	520						0.20	0.10	0.20	0.50							0.10	0.08	0.18	0.10	0.09	0.17		
2	4	5	28	1,148	850	1,479																0.10	0.13	0.72	0.38	0.28	0.49		
3	5	1	37	1,067	756	1,706																0.13	0.03	0.95	0.35	0.25	0.56		
4	6	2	34	1,091	710	1,796																0.15	0.05	0.87	0.36	0.23	0.59		
5	8	6	34	1,052	696	1,548																0.21	0.15	0.87	0.35	0.23	0.51		
6	3	1	22	862	602	1,231																0.08	0.03	0.56	0.28	0.20	0.41		
7	6	6	23	786	519	925						0.10	0.15	0.30								0.15	0.15	0.59	0.26	0.17	0.30		
8	12	2	21	782	572	1,119						0.10	0.10	0.10								0.31	0.05	0.54	0.26	0.19	0.37		
9	10	1	16	871	620	1,254						0.20	0.20	0.20	0.50							0.26	0.03	0.41	0.29	0.20	0.41		
10	7	4	21	939	573	1,295						0.20	0.20	0.20								0.18	0.10	0.54	0.31	0.19	0.43		
11	6	4	28	1,050	583	1,403						0.20	0.20	0.20								0.15	0.10	0.72	0.35	0.19	0.46		
12	5	2	19	999	522	1,174						0.30	0.30	0.30								0.13	0.05	0.49	0.33	0.17	0.39		
13	9	4	25	1,103	603	1,238						0.20	0.30	0.20								0.23	0.10	0.64	0.36	0.20	0.41		
14	5	1	25	1,125	558	1,407						0.20	0.30	0.20								0.13	0.03	0.64	0.37	0.18	0.46		
15	13	4	27	1,171	699	1,460						0.20	0.50	0.20								0.33	0.10	0.69	0.38	0.23	0.48		
16	16	1	25	1,487	855	2,032						0.20	0.20	0.20								0.41	0.03	0.64	0.49	0.28	0.67		
17	14	4	28	1,477	714	1,754						0.80	0.10	0.20								0.36	0.10	0.72	0.40	0.23	0.58		
18	14	2	19	1,258	728	1,218						0.80	0.20	0.20								0.36	0.05	0.49	0.41	0.24	0.40		
19	8	2	35	909	648	1,317						0.60	0.20	0.40								0.21	0.05	0.90	0.30	0.21	0.43		
20	4	4	28	1,572	672	1,711						0.20	0.20	0.20								0.10	0.03	0.72	0.52	0.22	0.56		
21	11	6	39	1,671	960	2,088						0.40	0.40	0.40								0.28	0.15	1.00	0.55	0.31	0.69		
22	11	6	31	2,212	1,032	2,025						0.40	0.40	0.40								0.28	0.15	0.79	0.73	0.34	0.67		
23	13	1	46	1,558	964	1,996						0.20	0.20	0.20								0.33	0.03	1.18	0.51	0.32	0.66		
24	5	1	40	1,572	1,006	1,766						0.20	0.20	0.20								0.13	0.03	1.03	0.52	0.33	0.58		
25	15	4	37	1,981	1,117	1,824						0.40	0.40	0.40								0.38	0.10	0.95	0.65	0.37	0.60		
26	11	3	28	1,910	931	1,772						0.80	0.20	0.20								0.28	0.08	0.72	0.63	0.31	0.58		
27	22	4	58	1,757	1,081	2,560						0.20	0.20	0.20								0.56	0.10	1.49	0.58	0.35	0.84		
28	9	4	32	1,746	1,052	1,838						0.20	0.20	0.20								0.23	0.10	0.82	0.57	0.35	0.60		
29	5	2	20	1,240	818	1,405						0.10	0.10	0.20								0.13	0.05	0.51	0.41	0.27	0.46		
30	4	3	11	881	776	1,168						0.40	0.40	0.40								0.10	0.08	0.28	0.29	0.25	0.38		
31	2	3	12	801	892	833						0.67	0.67	0.67								0.05	0.08	0.31	0.26	0.29	0.27		
32	3	5	8	742	734	669						0.20	0.20	0.20								0.08	0.13	0.21	0.24	0.24	0.22		
33	4	4	9	465	380	408																0.10	0.10	0.23	0.15	0.13	0.14		
34	1	7	8	461	842	567																0.03	0.18	0.21	0.15	0.28	0.19		
35	1	1	13	591	608	752																	0.03	0.03	0.33	0.19	0.20	0.25	
36	7	1	6	577	613	588						0.10	0.25	0.40								0.18	0.03	0.15	0.19	0.20	0.19		
37	5	1	13	539	490	527						0.10	0.10	0.20								0.13	0.03	0.33	0.18	0.16	0.17		
38	3	1	11	446	329	354						0.10	0.40	0.20								0.08	0.03	0.28	0.15	0.11	0.12		
39	7	5	13	301	302	315						0.40	0.40	0.20								0.18	0.13	0.33	0.10	0.10	0.10		
40	5	1	6	310	402	447						0.20	0.20	0.20								0.13	0.03	0.15	0.10	0.10	0.15		
41	3	1	10	278	343	342						0.33	0.50									0.08	0.03	0.26	0.09	0.11	0.11		
42	2	2	6	312	339	468							0.40	0.40								0.05	0.05	0.15	0.10	0.11	0.15		
43	3	1	12	340	476	348						0.20		0.20								0.08	0.08	0.03	0.31	0.11	0.16	0.11	
44	3	3	6	364	594	435						0.20	0.20	0.20								0.08	0.08	0.15	0.12	0.20	0.14		
45	2	2	7	395	563	368						0.50	0.50	0.50								0.05	0.05	0.18	0.13	0.18	0.12		
46	6	6	7	475	615	410						0.10	0.10	0.20								0.15	0.15	0.18	0.16	0.20	0.14		
47	2	8	1	487	838	422						0.10	0.10	0.20								0.05	0.21	0.03	0.16	0.28	0.14		
48	3	5	14	578	673	626						0.10	0.10	0.40								0.08	0.13	0.36	0.19	0.22	0.21		
49	3	2	6	533	766	715						0.10	0.10	0.40								0.08	0.05	0.15	0.18	0.25	0.24		
50	2	4	5	558	869	666						0.20	0.10	0.10								0.05	0.10	0.13	0.18	0.29	0.22		
51	1	1	7	703	823	801						0.10	0.10	0.40								0.03	0.05	0.18	0.23	0.27	0.26		
52	5	4	2	656	823	647						0.10	0.10	0.40								0.13	0.10	0.05	0.22	0.27	0.21		
53	1	-	-	436	-	-						0.33	0.33	0.33								0.03	-	-	0.14	-	-	-	
合計	114	73	19	48,924	35,802	57,737	5	334	157	1,026	48,924	6.80	6.80	4.40	5.00	4.40	4.40	4.40	5.00	1.25	8.56	4.03	26.31	16.09	11.77	19.02			

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

突発性発しん

2004年の患者報告数は2,132人(定点当たり54.67人/年)で、前年(1,939人 定点当たり49.72人/年)に比べやや増加した。患者報告数に多少の変動は見られるが、例年どおり年間を通じほぼ一定の推移を示した。地域的には松山市(定点当たり71.50人/年)が他の地区に比べ多く、宇和島地区(定点当たり28.25人/年)は少なかった。年齢別では2歳未満が全体の99%(2,105人)を占めた。

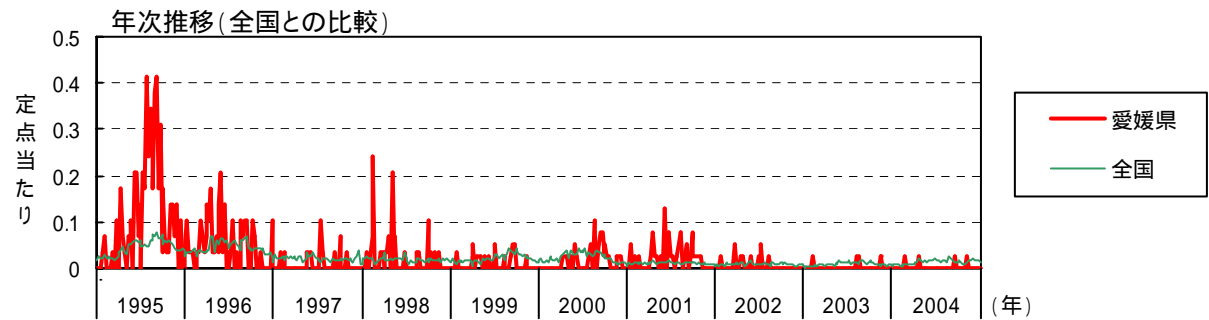
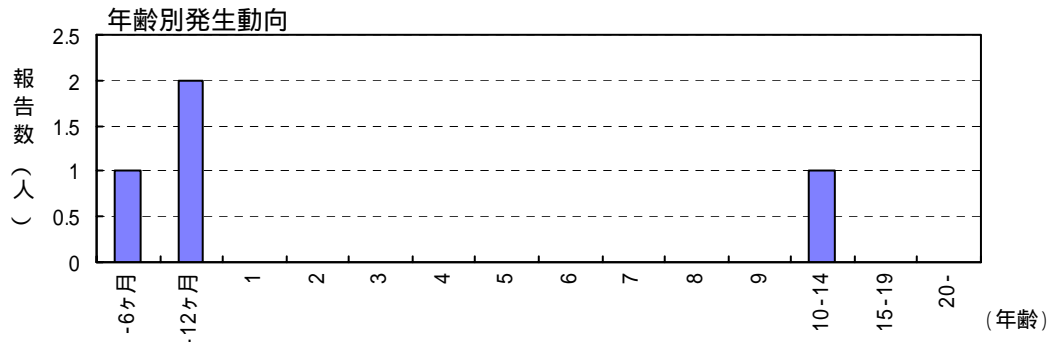
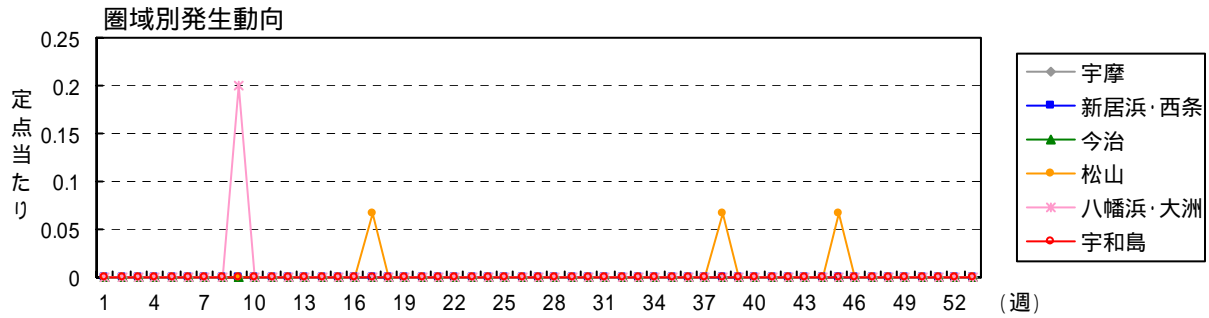
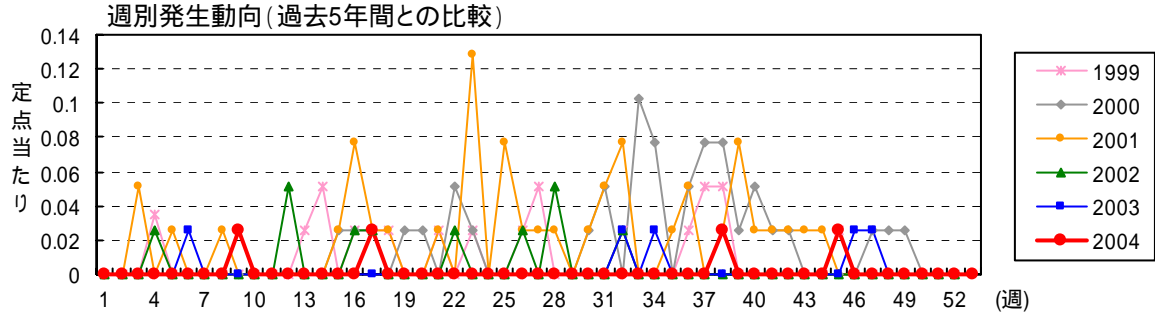


突発性発しん

月週	患者報告数																			定点あたり報告数								
	愛媛県													全国						愛媛県					全国			
	2004年保健所別													2004年保健所別						2004年保健所別					2004年保健所別			
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	
1	1	3	3	2	5	1	4	2	1	22	17	16	853	715	888	0.33	0.75	1.00	0.40	0.50	0.20	0.67	0.25	0.56	0.44	0.41	0.29	0.24
2	5	5	1	7	10	3	9	4	1	50	47	50	2,159	2,006	2,321	1.67	1.25	0.33	1.40	1.50	0.60	1.33	0.25	1.28	1.21	1.03	0.72	
3	2	6	4	8	10	5	2	4	1	40	37	35	2,262	2,142	2,334	0.67	1.50	1.33	1.60	1.00	1.00	0.67	0.25	0.92	0.95	0.90	0.75	
4	1	5	2	4	17	3	3	1	3	36	38	41	1,999	1,962	2,232	0.33	0.25	0.67	1.70	1.00	0.80	0.33	0.75	0.92	0.97	1.05	0.66	
5	4	1	1	4	14	2	2	7	3	40	32	45	1,951	1,906	2,075	1.33	0.25	0.33	0.80	1.40	0.40	2.33	0.75	1.03	0.82	1.15	0.64	
6	2	3	3	6	14	2	2	3	3	35	39	33	1,805	1,802	2,111	0.67	0.75	1.00	1.20	1.40	0.40	1.00	0.90	0.90	1.00	0.85	0.59	
7	3	3	5	8	13	3	3	3	1	36	22	28	1,813	1,738	1,738	1.00	0.25	1.67	1.60	1.30	0.60	0.67	0.25	0.92	0.56	0.72		
8	2	4	5	5	9	2	1	2	4	32	25	34	1,832	1,940	2,026	0.67	1.00	1.67	1.00	0.90	0.60	0.67	1.00	0.82	0.64	0.87		
9	2	3	1	9	16	3	1	3	3	41	35	44	1,997	1,948	2,078	0.67	0.75	0.33	1.80	1.60	0.60	1.00	0.75	1.00	0.90	1.13		
10	10	2	3	3	10	3	2	2	3	25	34	33	1,799	1,943	1,928	0.50	0.50	1.00	0.60	1.00	0.60	0.67	0.50	0.64	0.87	0.85		
11	4	8	5	5	15	3	2	5	1	48	29	29	1,916	2,080	2,099	1.33	2.00	1.67	1.00	1.50	0.60	1.67	0.25	1.23	0.74	0.74		
12	3	2	2	8	8	6	1	2	3	35	27	45	1,722	1,901	1,903	1.00	0.50	0.67	1.60	0.80	1.20	0.67	0.75	0.90	0.69	1.15		
13	1	4	2	5	9	4	3	2	2	32	44	34	2,022	2,089	2,077	0.33	1.00	0.67	1.00	0.90	0.80	0.67	0.50	0.82	1.13	0.87		
14	4	2	5	6	16	4	1	2	3	43	40	39	2,100	2,309	2,188	1.33	0.50	1.67	1.20	1.60	0.80	0.67	0.50	1.10	1.03	1.00		
15	2	4	4	10	10	2	1	5	2	40	38	51	2,155	2,442	2,384	0.67	1.00	1.33	2.00	1.00	0.40	1.67	0.50	1.03	0.97	1.31		
16	7	6	4	8	11	4	1	1	3	45	21	37	2,407	2,499	2,495	2.33	2.25	1.33	1.60	1.10	0.80	0.33	0.75	1.15	0.94	0.95		
17	9	6	3	10	13	4	5	2	4	50	35	46	2,389	2,341	2,277	2.25	2.25	1.00	2.00	1.30	0.80	0.67	1.00	1.28	0.90	1.18		
18	3	8	4	7	20	6	3	1	1	53	20	28	1,970	1,857	1,545	1.00	2.00	1.33	1.40	2.00	1.20	0.33	0.25	1.36	0.51	0.72		
19	3	3	2	5	5	1	1	4	2	22	36	49	1,342	2,050	2,135	1.00	0.75	0.67	1.00	0.50	0.20	0.67	0.50	0.56	0.92	1.26		
20	2	1	2	8	11	3	4	2	2	37	48	48	2,236	2,324	2,490	0.67	0.75	0.67	1.60	1.10	0.60	1.33	0.50	0.95	1.23			
21	1	6	4	7	17	3	2	3	2	45	26	35	2,360	2,326	2,386	0.33	1.50	1.33	1.40	1.70	0.60	1.00	0.50	1.15	0.67			
22	2	2	5	2	6	4	1	3	2	25	34	27	2,419	2,462	2,492	0.67	0.50	1.67	0.40	0.60	0.80	1.00	0.64	0.87	0.95			
23	2	4	1	5	8	1	1	2	2	26	31	37	2,296	2,462	2,471	0.67	1.00	0.33	1.00	0.80	0.20	0.67	0.50	0.67	0.79			
24	5	1	1	4	9	7	2	2	3	28	36	38	2,325	2,541	2,657	1.67	0.25	0.33	1.40	0.90	1.40	0.67	0.75	0.72	0.92			
25	3	7	4	2	11	8	3	3	3	41	33	37	2,560	2,653	2,600	1.00	1.75	1.33	0.40	1.10	1.60	1.00	0.75	1.05	0.85			
26	3	7	6	4	15	5	2	2	4	46	45	46	2,401	2,693	2,571	1.00	1.75	2.00	0.80	1.40	1.00	0.67	0.50	0.64	0.87			
27	5	3	4	9	14	4	2	1	2	45	49	47	2,581	2,660	2,563	1.67	0.75	1.33	1.80	1.50	0.80	1.00	1.15	1.26	1.21			
28	7	9	4	5	14	4	1	2	5	51	46	58	2,547	2,655	2,622	2.33	2.25	1.33	1.00	1.40	0.80	0.67	1.25	1.31	1.18			
29	8	7	4	6	12	2	3	1	4	45	50	33	2,615	2,578	2,504	2.67	1.75	1.33	1.20	1.20	0.40	1.00	0.25	1.15	1.28			
30	2	5	8	3	16	2	2	4	2	47	47	51	2,367	2,331	2,623	0.67	1.25	2.67	0.60	1.60	0.40	1.33	0.50	1.21	1.31			
31	5	6	4	7	12	5	3	1	4	46	48	36	2,563	2,590	2,546	1.67	1.50	1.33	1.40	1.20	1.00	1.00	0.25	1.18	1.23			
32	7	9	3	2	13	11	5	3	4	57	57	35	2,602	2,518	2,475	2.33	2.25	1.00	0.40	1.30	2.20	2.50	1.46	1.46	0.90			
33	4	4	4	3	17	3	4	1	4	36	38	38	1,984	1,905	1,912	1.33	1.00	1.00	0.40	1.70	0.60	1.33	0.92	0.97	0.66			
34	4	4	4	5	7	9	4	2	4	42	36	42	2,252	2,563	2,618	1.33	1.00	1.67	1.40	0.90	0.80	1.00	1.08	0.92	1.08			
35	6	2	4	10	26	9	3	4	2	66	54	48	2,825	2,804	2,821	2.00	0.50	1.33	2.00	2.60	1.80	1.50	1.69	1.38	1.23			
36	2	4	4	4	13	6	1	2	5	42	45	37	2,606	2,861	2,806	0.67	1.25	1.33	0.80	1.30	1.20	0.67	1.25	1.08	0.95			
37	2	6	2	8	21	7	3	3	4	56	35	47	2,590	2,879	2,688	0.67	1.50	0.67	1.60	2.10	1.40	1.00	1.44	1.90	1.21			
38	7	7	4	6	20	3	3	3	1	51	43	44	2,580	2,503	2,364	2.33	1.75	1.33	1.20	2.00	0.60	1.00	0.25	1.31	1.13			
39	3	7	3	1	21	3	2	4	1	45	29	23	2,224	2,281	2,148	1.00	1.75	1.00	0.20	2.10	0.60	1.33	0.25	1.15	0.74			
40	4	6	2	6	15	6	2	2	4	51	51	31	2,372	2,393	2,398	1.33	1.50	0.67	1.20	1.50	1.20	0.67	1.00	1.31	1.31			
41	4	4	2	2	17	6	5	3	3	42	38	40	2,134	2,319	2,379	1.33	0.67	0.67	0.40	1.70	1.20	2.50	1.08	0.97	1.03			
42	4	4	2	8	7	2	4	2	2	25	22	28	1,971	2,126	2,159	1.33	0.25	0.67	1.60	0.70	0.40	2.00	0.64	0.56	0.72			
43	4	1	2	8	12	1	1	3	3	34	33	27	2,040	2,175	2,177	1.33	0.25	0.67	1.60	1.20	0.40	0.50	0.87	0.85	0.69			
44	1	2	5	3	18	2	1	5	1	38	24	28	2,088	2,162	2,007	0.33	0.50	1.67	0.60	1.80	0.40	1.67	0.25	0.97	0.62			
45	4	5	3	5	13	3	4	1	3	38	26	22	1,887	2,040	1,833	1.33	1.25	1.00	1.00	1.30	0.40	1.50	0.97	0.67	0.56			
46	3	2	3	5	22	2	2	5	2	46	43	43	2,057	2,204	2,228	1.00	0.50	1.00	1.00	2.20	0.40	1.00	0.50	1.18	1.10			
47	1	3	1	3	21	3	3	1	1	37	41	36	2,126	2,356	2,059	0.33	0.75	0.33	0.60	2.10	0.60	1.50	0.95	0.92	0.70			
48	2	1	2	4	8	2	1	7	2	54	36	27	2,005	2,154	2,291	0.67	0.25	0.67	0.80	0.80	0.40	3.00	0.69	1.38	0.92			
49	2	4	6	3	20	3	3	2	4	43	40	33	2,130	2,301	2,208	0.67	1.00	2.00	0.60	2.00	0.60	1.50	1.10	1.03	0.85			
50																												

百日咳

2004年の患者報告数は4人(定点当たり0.10人/年)で、過去10年間で最も少ない報告数であった。1995年以降県内で流行は見られず、患者報告数の極めて少ない状況で推移している。地域別では松山市が3人、八幡浜地区が1人で、年齢別では0歳が3人、10~14歳が1人であった。



百日咳

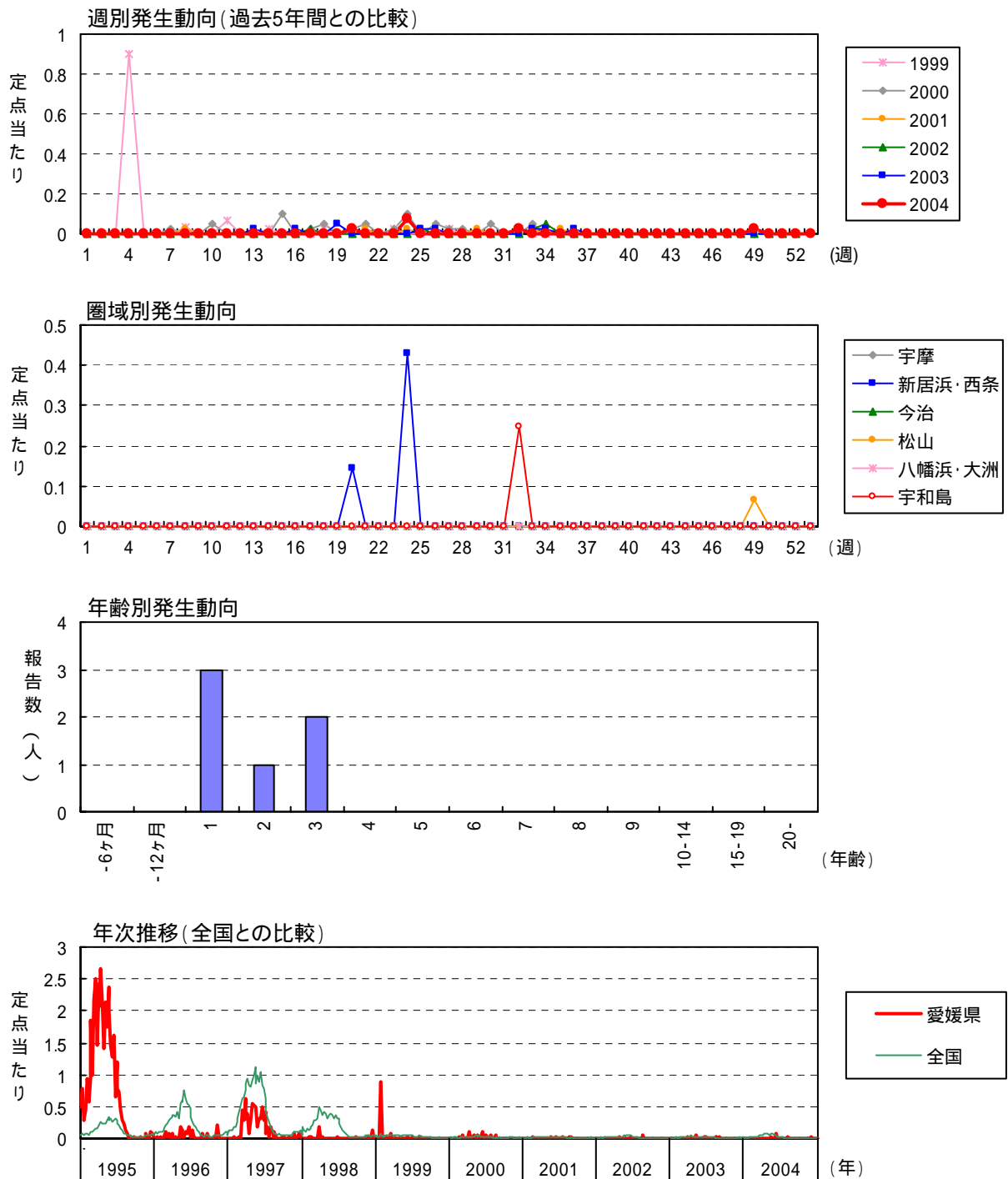
月 週	患者報告数												定点あたり報告数									
	2004年 保健所別						愛媛県						全国									
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	愛媛県	2004	2003	2002	2004	2003	2002	全国		
1										7	6	11					0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
2										29	19	21					0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
3										21	15	19					0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01
4										32	16	24	1				0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01
5										29	13	26					0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01
6										18	18	15					0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
7										19	16	36	1				0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
8										25	27	21					0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
9										26	10	24	1				0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
10										26	24	30					0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
11										26	27	27					0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
12										31	28	26	2				0.01	0.01	0.01	0.05	0.01	0.01
13										28	18	36					0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01
14										26	32	28					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
15										40	29	31					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
16										39	23	33	1				0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01
17										61	28	43	1				0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.01
18										46	30	17	1				0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.01
19										33	11	27					0.01	0.00	0.01		0.01	0.01
20										55	41	40					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
21										55	32	34					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
22										41	50	50	1				0.01	0.02	0.01	0.03	0.01	0.02
23										54	38	30					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
24										52	43	30					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
25										52	38	22					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
26										69	36	31	1				0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.01
27										53	37	23					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
28										55	47	31	2				0.02	0.02	0.01	0.05	0.02	0.01
29										49	29	28					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
30										45	35	38					0.01	0.01	0.01		0.02	0.01
31										52	42	24					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
32										46	34	27	1				0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.01
33										36	20	17					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
34										42	39	39	1				0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01
35										73	55	45					0.02	0.02	0.01		0.02	0.01
36										63	46	29					0.02	0.02	0.01		0.02	0.01
37										46	39	28					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
38										44	34	27					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
39										41	43	38	1				0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01
40										43	49	36					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
41										48	34	32					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
42										39	39	34					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
43										26	28	25					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
44										26	22	19					0.01	0.01	0.01		0.01	0.01
45										39	28	21	1				0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01
46										47	19	27	1				0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.01
47										53	30	22	1				0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.01
48										51	23	19					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
49										61	30	17					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
50										47	19	31					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
51										49	32	25					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
52										56	23	24					0.02	0.01	0.01		0.02	0.01
53										35	-	-					0.01	-	-		0.01	-
合計										2,205	1,544	1,458	4	5	10		0.10	0.13	0.26	0.33	0.73	0.51

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

風しん

2004年の患者報告数は6人(定点当たり0.15人/年)で、過去10年間では2001年(6人)、2002年(5人)に次いで患者報告数の少ない年であった。県内では1995年(定点当たり41.7人/年)の大流行以降、患者報告数が減少しており、患者報告数の極めて少ない状況が続いている。地域別では新居浜地区が4人、松山地区と宇和島地区が各1人で、年齢別では1歳が3人、2歳が1人、3歳が2人であった。

一方、全国の患者報告数は2004年4,248人(定点当たり1.40人/年)で前年に比べて1.5倍に増加し、感染症法施行(1999年4月)以降では最多となった。報告の多い都道府県は群馬県551人(9.03人/年)、大分県244人(6.78人/年)、栃木県242人(5.26人/年)、鹿児島県279人(4.98人/年)などで、中四国では少数の報告であった。全数把握疾患である先天性風しん症候群(CRS)は、2000~2003年は各1例であったが、2004年は患者数の増加に伴い10例の報告があった。



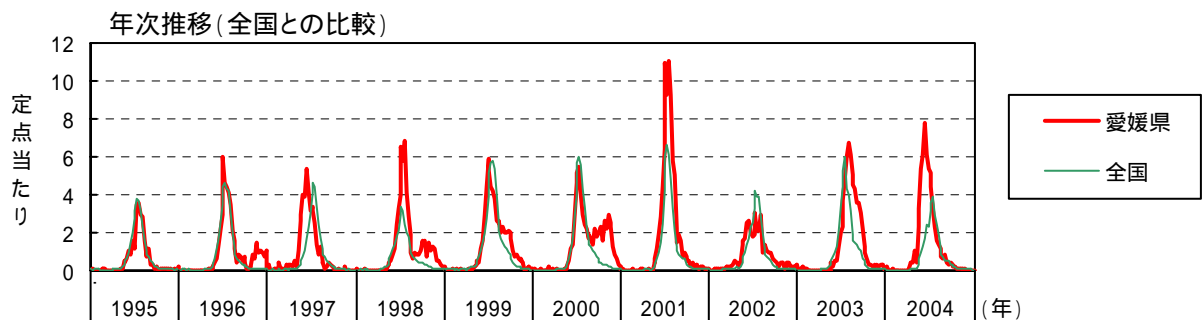
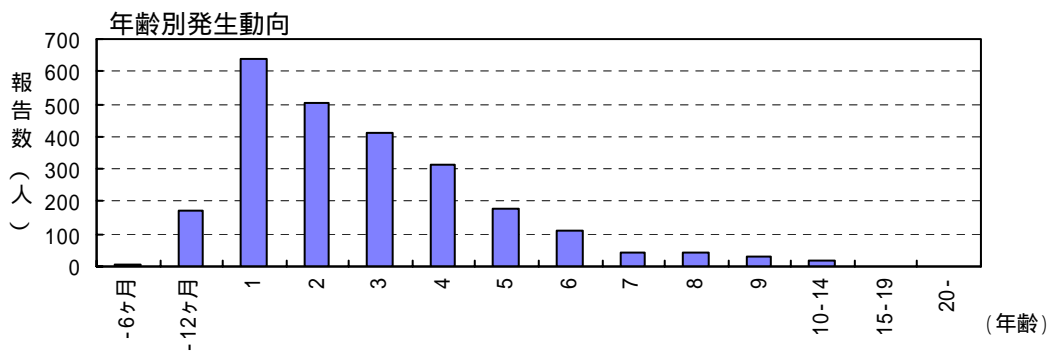
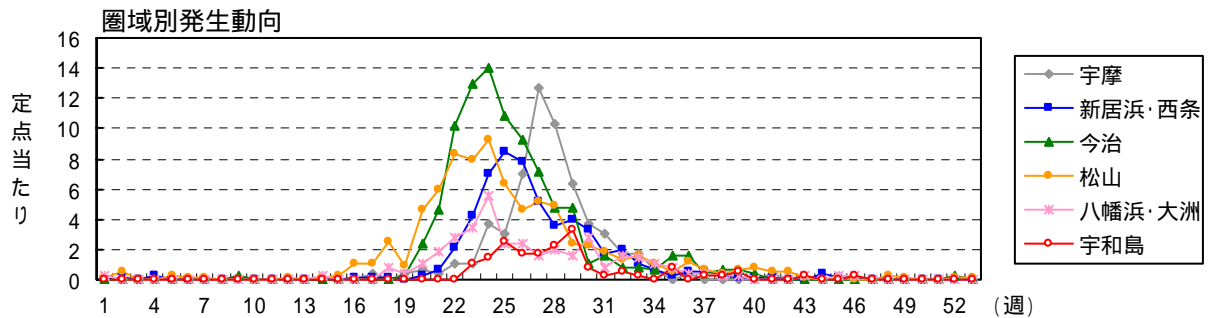
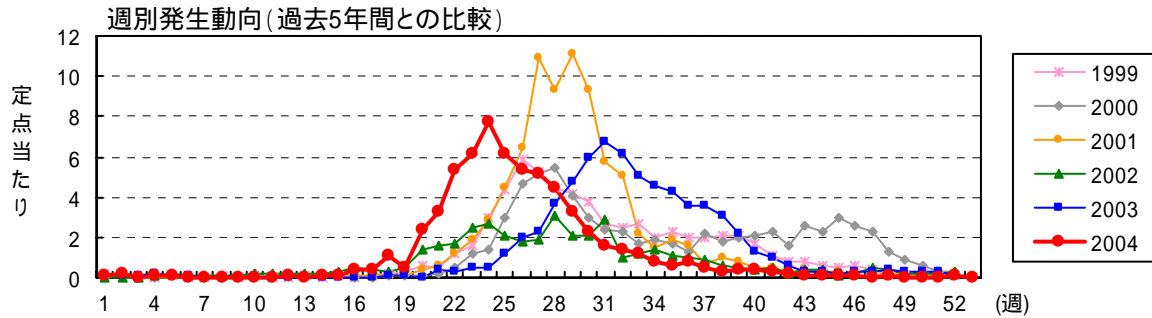
風しん

月 週	患者報告数												定点あたり報告数						
	2004年 保健所別						愛媛県						全国						
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			
31																			
32																			
33																			
34																			
35																			
36																			
37																			
38																			
39																			
40																			
41																			
42																			
43																			
44																			
45																			
46																			
47																			
48																			
49																			
50																			
51																			
52																			
53																			
合計		4				1		1	6	9	5	4,248	2,795	2,971					

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、台週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

ヘルパンギーナ

2004年の患者報告数は2,477人(定点当たり63.51人/年)で、前年(2,622人 定点当たり67.23人/年)に比べ若干減少したが、流行のピークで比較すると、過去10年間では2001年(第29週 定点当たり11.08人/週)に次いで大きな規模であった。本年の流行時期は例年に比べ1ヶ月程度早く、全国的に見ても本県に特徴的な動向であった。4月中旬から中予で増加が始まり、東予、南予へと流行地域を拡大しながら、第24週(定点当たり7.74人/週)に流行のピークを迎えた。その後も四国中央地区で増加が続いたが、第28週には県下全域で減少に転じた。地域的には松山市(定点当たり92.00人/年)今治地区(定点当たり91.60人/年)が多く、特に今治地区は第24週に定点当たり14.00人/週まで増加し、他の地区に比べ大規模な流行であった。年齢別では1歳(638人)が最も多く、1歳から4歳が全体の75%(1,865人)を占めた。



ヘルパンギーナ

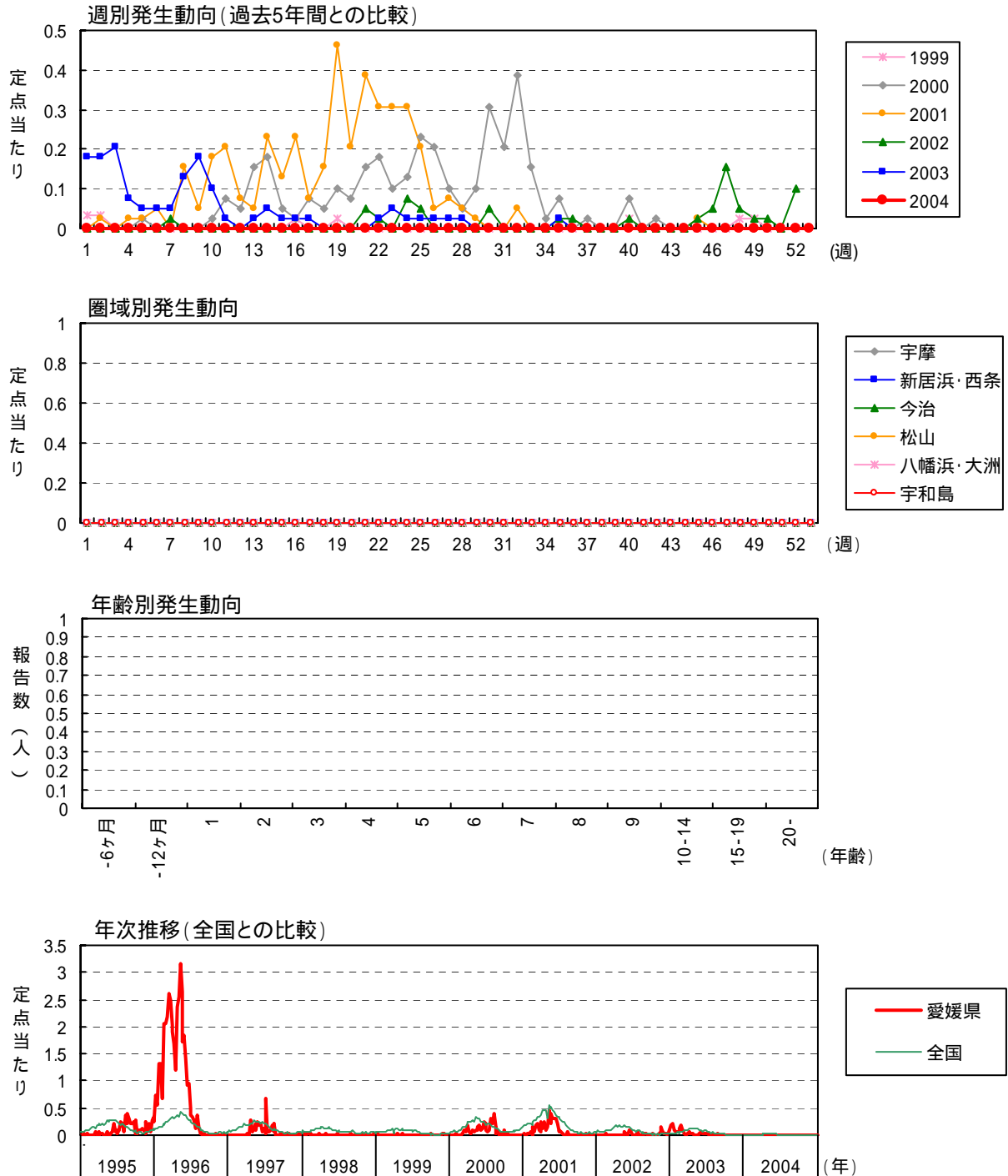
月週	患者報告数														定点あたり報告数														
	愛媛県							全国							愛媛県							全国							
	2004年	保健所別						2004年	保健所別						2004	保健所別						2004							
	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1	1			2	4		1		3	2						0.25			0.20	0.80		0.33		0.08	0.05				
2	2			4	4				9	2									0.40	0.80				0.23	0.05				
3	2								2	1						0.50			0.10					0.05	0.08	0.03			
4	2			3	1				4	3									0.30	0.20				0.10	0.08	0.15			
5	1			1					1	3									0.10					0.03	0.08	0.10			
6	1			1					1	1									0.10					0.03	0.03	0.05			
7	1			1					1	1									0.10					0.03	0.03	0.10			
8	1			1					1	1									0.03					0.03	0.03	0.08			
9	1			1					1	1									0.03					0.03	0.03	0.08			
10	1			1					6	101									0.20					0.05	0.03	0.08			
11	2			1					8	95									0.20					0.05	0.03	0.21			
12	3			2					8	104									0.20					0.05	0.03	0.21			
13	3			2					8	108									0.20					0.05	0.03	0.21			
14	3			2					9	155									0.20					0.05	0.03	0.23			
15	3			2					9	147									0.20					0.08	0.03	0.33			
16	3			2					13	147									0.20					0.08	0.03	0.33			
17	4			4					20	247									0.20					0.41	0.51	0.08			
18	4			4					17	392									0.20					0.41	0.51	0.08			
19	4			4					10	475									0.20					0.41	0.51	0.08			
20	5			5					2	398									0.20					0.46	0.05	0.23			
21	5			5					4	20									0.20					0.46	0.05	0.23			
22	5			5					3	1,039									0.20					0.46	0.05	0.23			
23	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
24	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
25	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
26	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
27	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
28	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
29	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
30	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
31	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
32	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
33	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
34	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
35	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
36	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
37	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
38	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
39	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
40	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
41	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
42	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
43	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
44	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
45	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
46	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
47	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
48	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
49	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
50	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
51	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
52	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
53	5			5					15	896									0.20					0.46	0.05	0.23			
合計	174	288	103	458	920	280	149	33	72	2,477	2,622	1,597	103,880	148,674	111,441	58.00	72.00	34.33	91.60	92.00	56.00	11.00	18.00	63.51	67.23	40.95	34.83	48.89	36.71

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

麻疹(成人麻疹を除く)

2004年の患者報告はなかった。本疾患は1996年に県下全域で流行して以来、局地的な小流行に留まっており、患者報告の少ない状況が続いていた。2002年10月から2003年7月に麻疹、成人麻疹の流行が発生したが、その後新たな患者報告はない。

全国的に見ても、この10年間春季を中心とする流行を繰り返してきたが、2004年は全国単位では流行と呼べる程の患者報告数の増加は見られなかった。



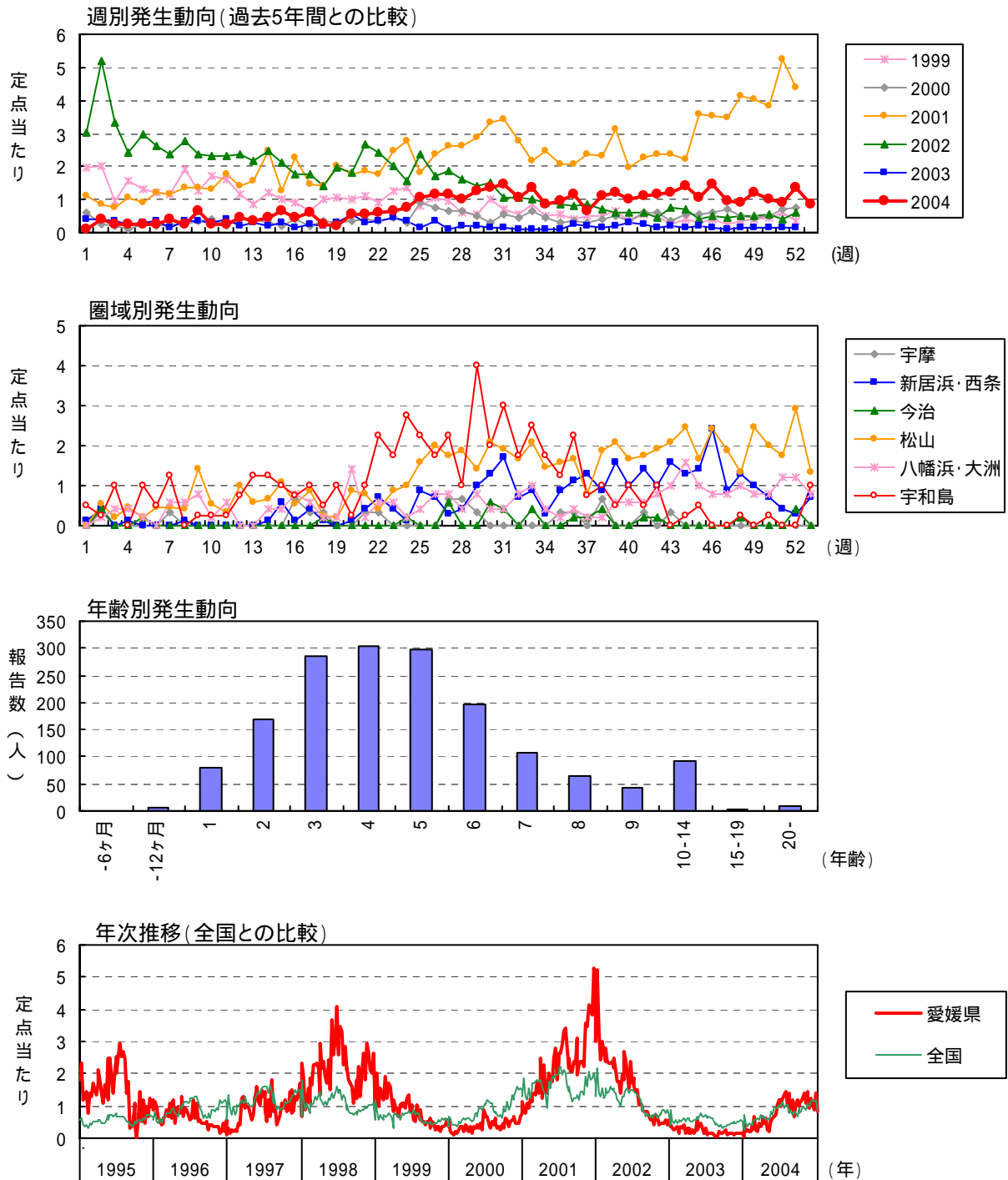
麻しん(成人麻しんを除く)

月 週	患者報告数											定点あたり報告数							
	2004年 保健所別							愛媛県				全国							
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			
31																			
32																			
33																			
34																			
35																			
36																			
37																			
38																			
39																			
40																			
41																			
42																			
43																			
44																			
45																			
46																			
47																			
48																			
49																			
50																			
51																			
52																			
53																			
合計																			

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、毎週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

流行性耳下腺炎

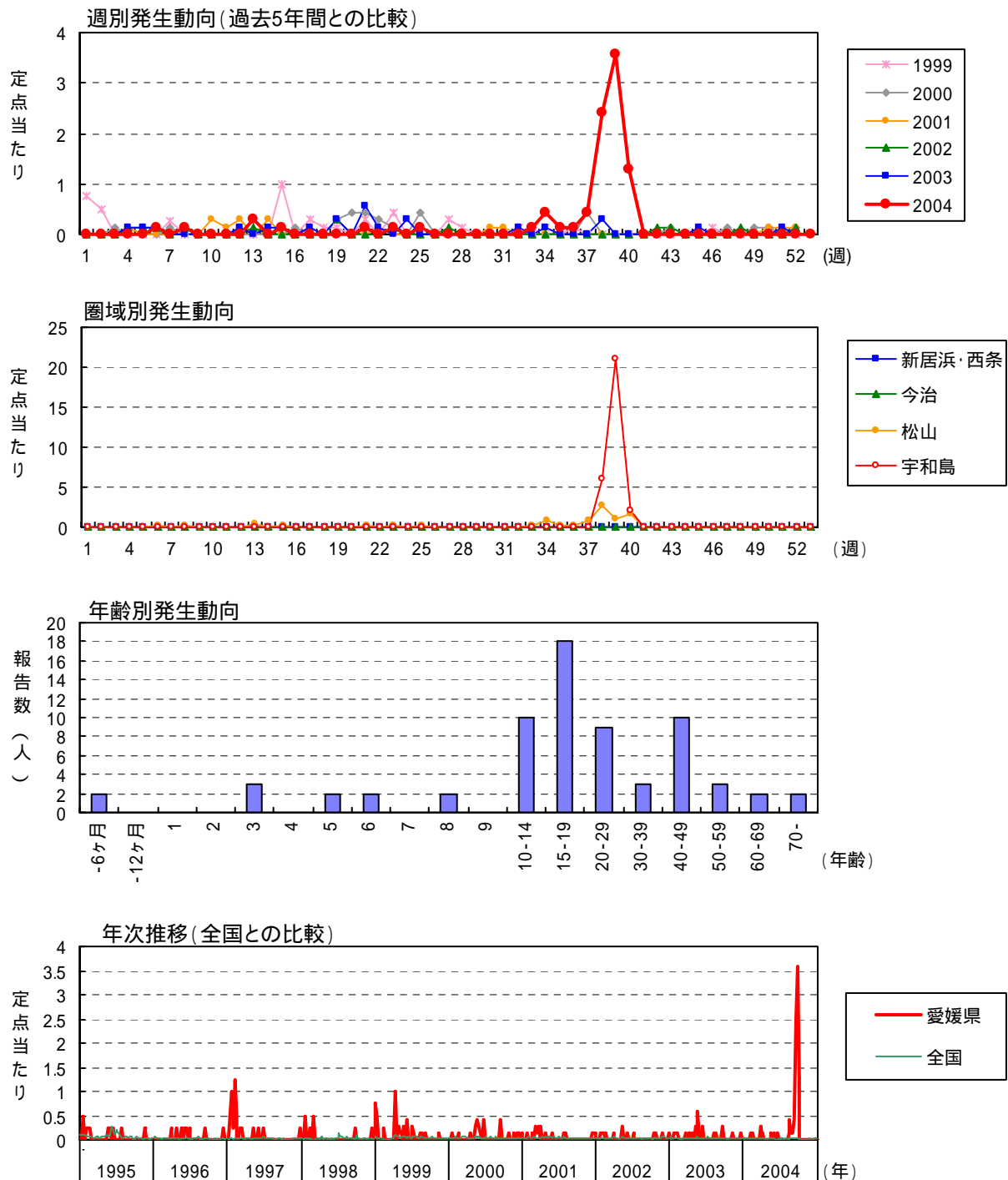
2004年の患者報告数は1,656人(定点当たり42.46人/年)で、前年(467人 定点当たり11.97人/年)より増加した。年始以降、県下各地で散発し緩やかな増加傾向が見られたが、6月下旬以降は大きな増減はなく、ほぼ一定の推移を示した。地域的には松山市(定点当たり81.20人/年) 大洲地区(定点当たり61.50人/年) 宇和島地区(定点当たり53.50人/年)が多かった。年齢別では乳幼児から成人の幅広い年齢層にわたっており、特に2歳から6歳の幼児が全体の76%(1,254人)を占めた。過去の推移を見ると、本疾患は3~4年周期で流行しており、2001年から2002年の流行期の後2年を経過していることから、今後の動向に注意が必要である。



(4)眼科定点対象疾患(週報)

急性出血性結膜炎

2004年の患者報告数は68人(定点当たり9.71人/年)で、前年(22人 定点当たり3.14人/年)より増加し、過去10年間では最も患者報告数が多かった。例年は主に中予からごく少数例の患者報告にとどまっているが、本年は9月に宇和島地区と中予で多発した。特に宇和島地区では、第38週から40週にかけて患者数の急激な増減が見られ、地域的な短期流行が確認された。年齢別では10歳代が28人(41%)と最も多く、20~40歳代の成人が22人(32%)で、10歳未満は11人(16%)にとどまった。



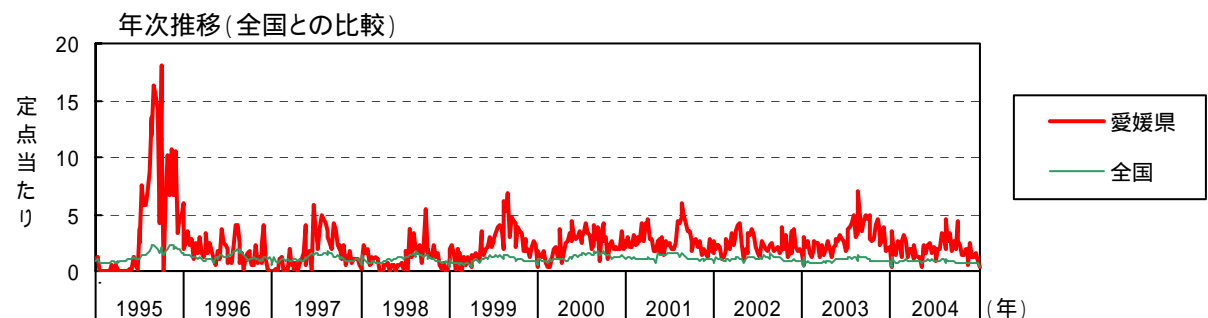
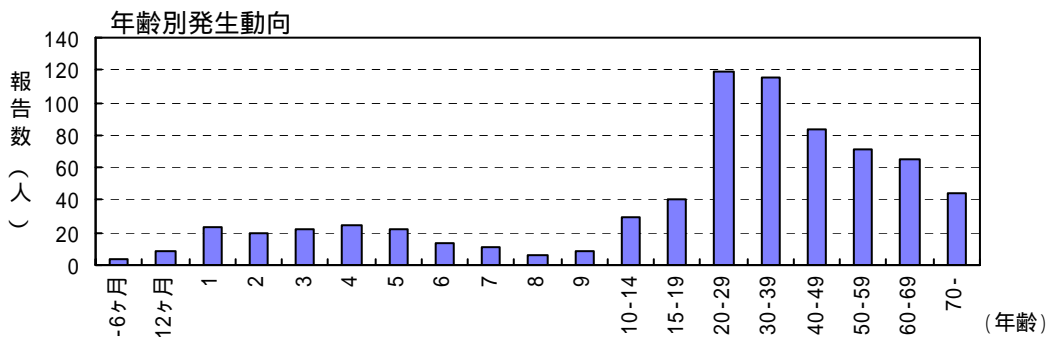
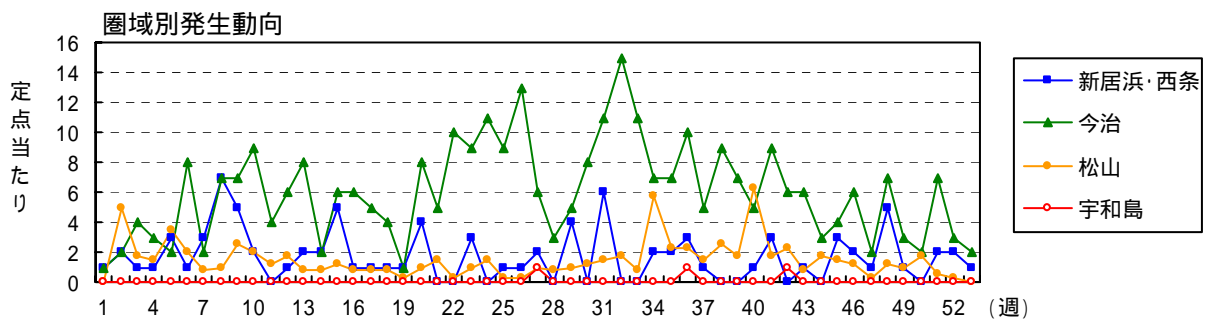
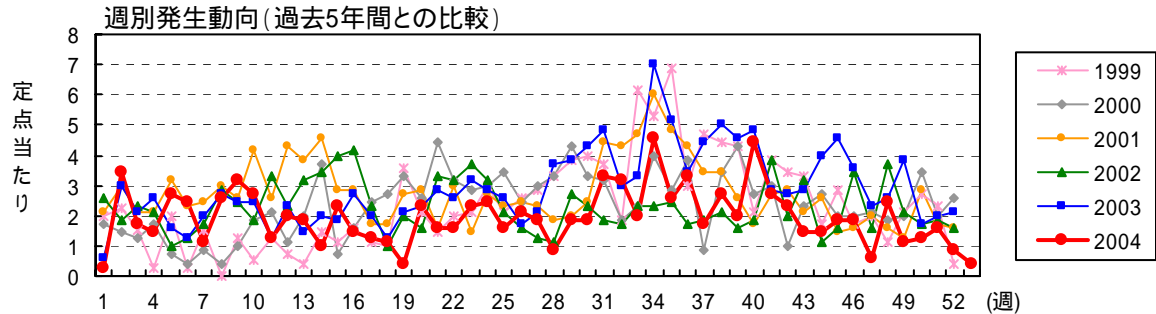
急性出血性結膜炎

月 週	患者報告数										定点あたり報告数						
	2004年					愛媛県					愛媛県						
	新居浜	今治中央	松山市	松山中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1						6	5	14							0.01	0.01	0.02
2						20	32	17							0.03	0.05	0.03
3						15	22	25							0.02	0.03	0.04
4						1	1	17							0.14	0.14	0.14
5						1	1	23							0.02	0.03	0.03
6						1	1	14							0.02	0.02	0.04
7						19	26	29							0.03	0.04	0.05
8						23	21	21							0.04	0.03	0.03
9						26	14	19							0.04	0.02	0.03
10						1	1	30							0.02	0.02	0.05
11						20	13	15							0.03	0.02	0.02
12						22	20	22							0.03	0.03	0.03
13						17	11	19							0.03	0.02	0.03
14						1	1	34							0.03	0.02	0.05
15						2	27	31							0.03	0.04	0.05
16						20	27	28							0.03	0.04	0.04
17						14	23	30							0.02	0.04	0.05
18						9	12	8							0.01	0.02	0.01
19						9	26	16							0.01	0.04	0.03
20						14	23	44							0.02	0.04	0.07
21						14	38	29							0.02	0.06	0.05
22						1	11	28							0.02	0.04	0.03
23						1	14	21							0.02	0.03	0.03
24						1	18	24							0.02	0.03	0.04
25						2	21	17							0.01	0.03	0.03
26						1	30	17							0.03	0.05	0.03
27						6	17	14							0.01	0.03	0.02
28						11	34	10							0.02	0.05	0.02
29						18	26	11							0.03	0.04	0.02
30						10	21	16							0.02	0.03	0.03
31						21	28	19							0.03	0.04	0.03
32						13	27	17							0.02	0.04	0.03
33						8	13	10							0.01	0.02	0.02
34						1	8	10							0.14	0.01	0.02
35						3	1	14							0.43	0.14	0.02
36						1	15	25							0.14	0.02	0.04
37						1	16	15							0.03	0.03	0.02
38						3	15	13							0.02	0.02	0.04
39						17	26	24							0.04	0.04	0.01
40						31	31	18							0.05	0.03	0.02
41						24	17	15							0.04	0.03	0.02
42						9	10	7							0.02	0.03	0.01
43						1	9	5							0.14	0.01	0.02
44						1	10	13							0.14	0.02	0.02
45						6	14	15							0.01	0.02	0.02
46						5	18	16							0.01	0.03	0.03
47						9	15	15							0.01	0.02	0.02
48						9	14	16							0.01	0.02	0.03
49						1	16	17							0.14	0.03	0.05
50						7	17	31							0.01	0.03	0.05
51						10	12	17							0.02	0.02	0.03
52						1	12	17							0.14	0.03	0.03
53						1	18	17							0.03	0.03	0.05
合計						68	759	1,019							12.33	2.00	29.00
						29	2	9							9.71	3.14	1.86
						29	2	9							1.19	1.61	1.60

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の遷元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

流行性角結膜炎

2004年の患者報告数は729人(定点当たり104.14人/年)で、前年(1,053人 定点当たり150.43人/年)よりも減少した。8月を中心に患者数の増加が見られたが、例年に比べ低位で推移した。地域別では今治地区(定点当たり321.00人/年)が他の地区と比べ顕著に多かった。年齢別では乳児から高齢者まで幅広い年齢層にわたっているが、小児に比べ成人が多く、20歳以上の患者が全体の68%(497人)を占めた。



流行性角結膜炎

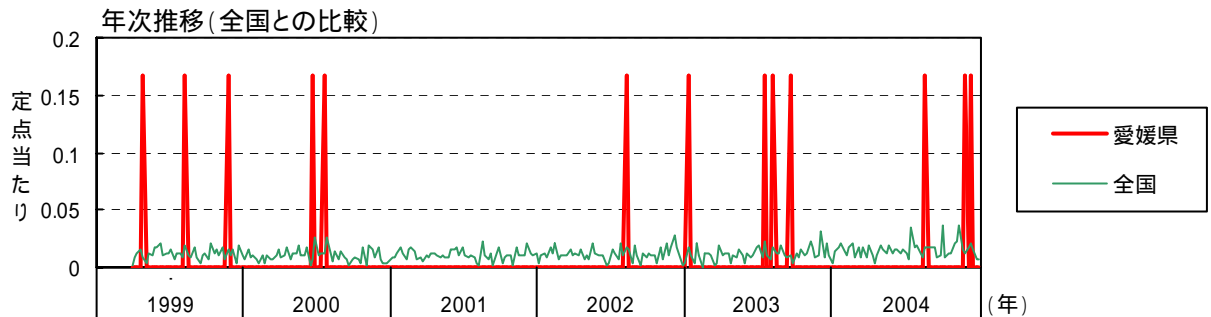
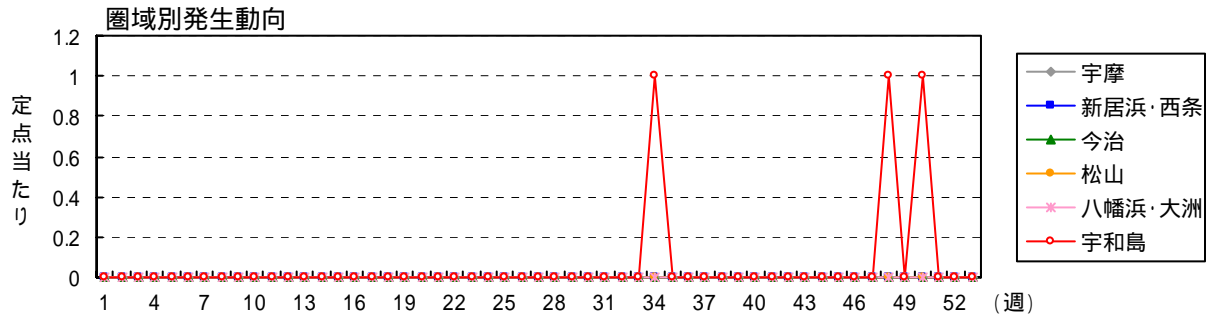
月 週	患者報告数										定点あたり報告数								
	愛媛県					全国					愛媛県					全国			
	2004年		2003		2002	2004年		2003		2002	2004年		2003		2002	2004		2003	2002
	新居浜		今治中央		松山市	松山市		宇和島中央		松山市		宇和島中央		松山市		宇和島中央		松山市	宇和島中央
1	1	1	2	4	18	173	208	429	1.00	1.00	5.67	3.00	0.29	0.57	2.57	0.28	0.34	0.68	
2	2	2	24	21	13	762	746	780	2.00	2.00	5.67	3.00	3.43	3.00	1.86	1.21	1.18	1.23	
3	1	4	12	15	16	510	499	661	4.00	4.00	2.33		1.71	2.14	2.29	0.80	0.79	1.04	
4	1	3	5	10	18	491	656	656	1.00	3.00	1.67	1.00	1.43	2.57	2.14	0.77	0.89	1.03	
5	3	2	13	11	7	491	502	618	3.00	2.00	4.33	1.00	2.71	1.57	1.00	0.77	0.79	0.97	
6	1	8	7	17	9	593	462	582	1.00	8.00	2.33	1.00	2.43	1.29	1.29	0.93	0.72	0.92	
7	3	2	426	8	14	562	426	556	3.00	2.00	1.00		1.14	2.00	1.71	0.88	0.67	0.88	
8	7	7	4	18	19	566	452	599	7.00	7.00	1.33		2.57	2.71	2.86	0.89	0.71	0.94	
9	5	7	4	22	17	564	398	589	5.00	7.00	3.00	1.00	3.14	2.43	2.43	0.89	0.63	0.93	
10	2	9	8	19	17	623	427	525	2.00	9.00	0.67		2.71	2.43	1.86	0.98	0.67	0.83	
11	4	4	5	9	23	562	428	613	4.00	4.00	1.67		1.29	1.29	3.29	0.88	0.67	0.96	
12	1	6	5	14	16	518	604	613	1.00	6.00	1.67	2.00	2.00	2.29	2.29	0.81	0.66	0.95	
13	2	8	2	13	10	591	524	693	2.00	8.00	0.67	1.00	1.86	1.43	3.14	0.93	0.83	1.09	
14	2	2	2	7	14	546	447	721	2.00	2.00	0.67	1.00	1.00	2.00	3.43	0.86	0.70	1.14	
15	5	6	4	16	13	547	555	717	5.00	6.00	1.33	1.00	2.29	1.86	4.00	0.86	0.87	1.13	
16	1	6	3	10	19	553	518	694	1.00	6.00	1.00		1.43	2.71	4.14	0.87	0.81	1.10	
17	1	5	2	9	14	554	567	654	1.00	5.00	0.67	1.00	1.29	2.00	2.29	0.87	0.89	1.03	
18	1	4	3	8	9	573	503	441	1.00	4.00	1.00		1.14	1.29	1.00	0.91	0.79	0.70	
19	1	1	1	3	15	462	581	738	1.00	1.00	1.00	1.00	0.43	2.14	2.00	0.73	0.92	1.16	
20	4	8	2	16	16	612	650	740	4.00	8.00	0.67	2.00	2.29	2.29	1.57	0.96	1.02	1.17	
21	5	5	5	11	20	545	670	740	5.00	5.00	1.67	1.00	1.57	2.86	3.29	0.86	1.06	1.17	
22	10	10	1	11	18	579	661	719	10.00	10.00	1.00	1.00	1.57	2.57	3.14	0.91	1.04	1.13	
23	3	9	4	16	22	628	686	794	3.00	9.00	1.33	2.00	2.29	3.14	3.71	0.99	1.08	1.25	
24	11	4	4	17	20	576	685	790	11.00	11.00	1.33	2.00	2.43	2.86	3.14	0.91	1.08	1.24	
25	1	9	1	11	18	627	656	692	1.00	9.00	0.33		1.57	2.57	2.14	0.99	1.03	1.09	
26	1	13	1	15	12	582	696	687	1.00	13.00	0.33		2.14	1.71	1.57	0.92	1.10	1.08	
27	2	6	2	13	15	572	648	689	2.00	6.00	0.67	2.00	1.86	2.14	1.29	0.90	1.02	1.09	
28	3	3	3	6	26	611	763	713	3.00	3.00	1.00		0.86	3.71	1.14	0.96	1.20	1.12	
29	4	5	4	13	27	566	784	624	4.00	5.00	1.33		1.86	3.86	2.71	0.89	1.23	0.98	
30	8	5	5	13	30	611	706	815	8.00	8.00	1.67		1.86	4.29	2.29	0.96	1.11	1.28	
31	6	11	6	23	34	643	795	806	6.00	11.00	2.00		3.29	4.86	1.86	1.01	1.25	1.27	
32	15	5	5	22	21	635	780	806	15.00	15.00	1.67	2.00	3.14	3.00	1.71	1.00	1.24	1.28	
33	11	1	2	14	23	465	540	626	11.00	11.00	0.33	2.00	2.00	3.29	2.29	0.75	0.87	1.00	
34	2	7	21	32	49	623	857	934	2.00	7.00	7.00	2.00	4.57	7.00	2.29	0.98	1.35	1.47	
35	2	7	9	18	36	573	750	890	2.00	7.00	3.00		2.57	5.14	2.43	0.90	1.18	1.40	
36	3	10	7	23	24	547	748	780	3.00	10.00	2.33	2.00	3.29	3.43	1.71	0.86	1.18	1.22	
37	1	5	6	12	31	553	753	820	1.00	5.00	2.00		1.71	4.43	1.86	0.87	1.19	1.29	
38	5	8	8	19	35	502	771	750	5.00	9.00	2.67	2.00	2.71	5.00	2.14	0.79	1.21	1.18	
39	7	4	4	14	32	460	697	719	7.00	7.00	1.33	3.00	2.00	4.57	1.57	0.72	1.10	1.13	
40	1	5	6	31	34	474	674	663	1.00	5.00	2.00	19.00	4.43	4.86	1.86	0.75	1.06	1.04	
41	3	9	4	19	20	467	574	668	3.00	9.00	1.33	3.00	2.71	2.86	3.86	0.74	0.90	1.05	
42	6	6	5	16	19	477	524	552	6.00	6.00	1.67	4.00	2.29	2.71	2.00	0.75	0.82	0.87	
43	1	6	2	10	20	471	592	1.00	1.00	6.00	0.67	1.00	1.43	2.86	3.14	0.74	0.88	0.93	
44	3	3	7	10	28	413	535	564	3.00	3.00	2.33		1.43	4.00	1.14	0.65	0.84	0.89	
45	3	4	5	13	32	406	544	507	3.00	4.00	1.67	1.00	1.86	4.57	1.57	0.64	0.86	0.80	
46	2	6	4	13	25	431	577	595	2.00	6.00	1.33	1.00	1.86	3.57	3.43	0.68	0.91	0.94	
47	1	2	1	4	16	413	534	544	1.00	2.00	0.33		0.57	2.29	1.57	0.65	0.84	0.86	
48	5	7	4	17	18	407	510	612	5.00	7.00	1.33	1.00	2.43	2.57	3.71	0.64	0.80	0.96	
49	1	3	4	8	27	396	593	581	1.00	3.00	1.33		1.14	3.86	2.14	0.62	0.93	0.91	
50	2	7	7	9	12	426	517	576	2.00	2.00	2.33		1.29	1.71	1.71	0.67	0.81	0.90	
51	2	7	2	11	14	448	524	577	2.00	7.00	0.67		1.57	2.00	1.86	0.70	0.82	0.91	
52	2	3	1	6	15	454	577	534	2.00	3.00	0.33		0.86	2.14	1.57	0.71	0.90	0.84	
53	1	2		3	-	258	-	-	1.00	2.00			0.43	-	-	0.41	-	-	
合計	91	321	249	65	833	27,692	30,758	34,569	91.00	321.00	83.00	65.00	104.14	150.43	119.00	43.58	48.51	54.53	

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

(5) 基幹定点対象疾患(週報)

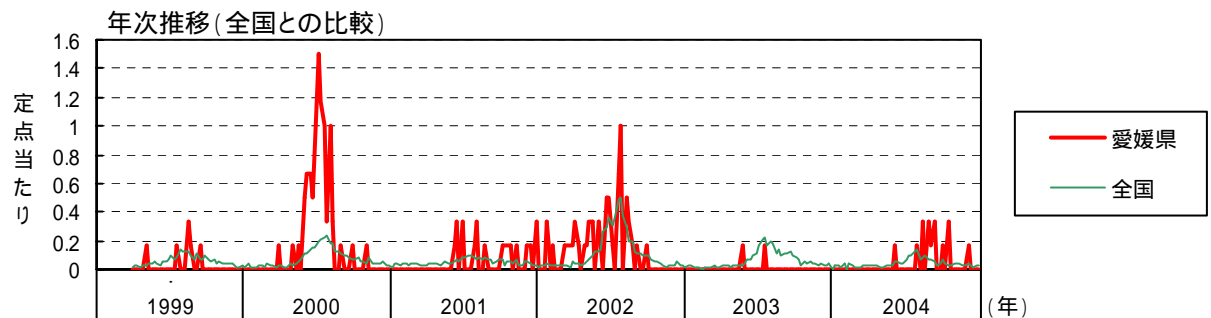
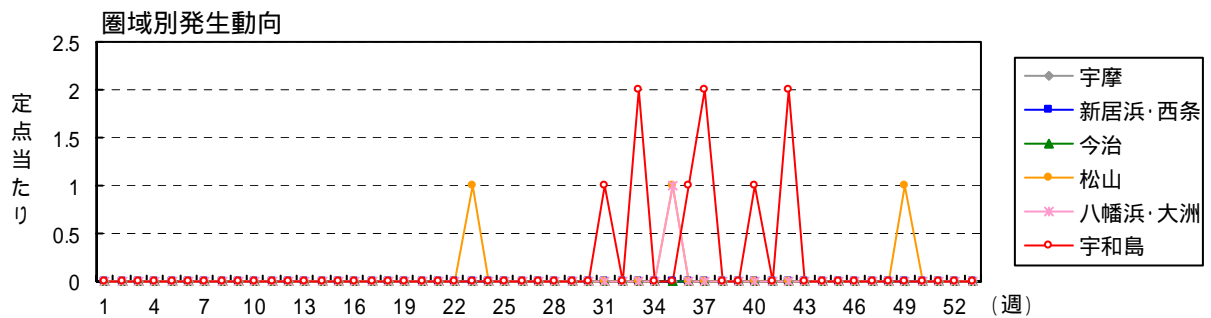
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)

2004年は3人の患者報告があった。すべて0歳児で、宇和島地区からの報告であった。



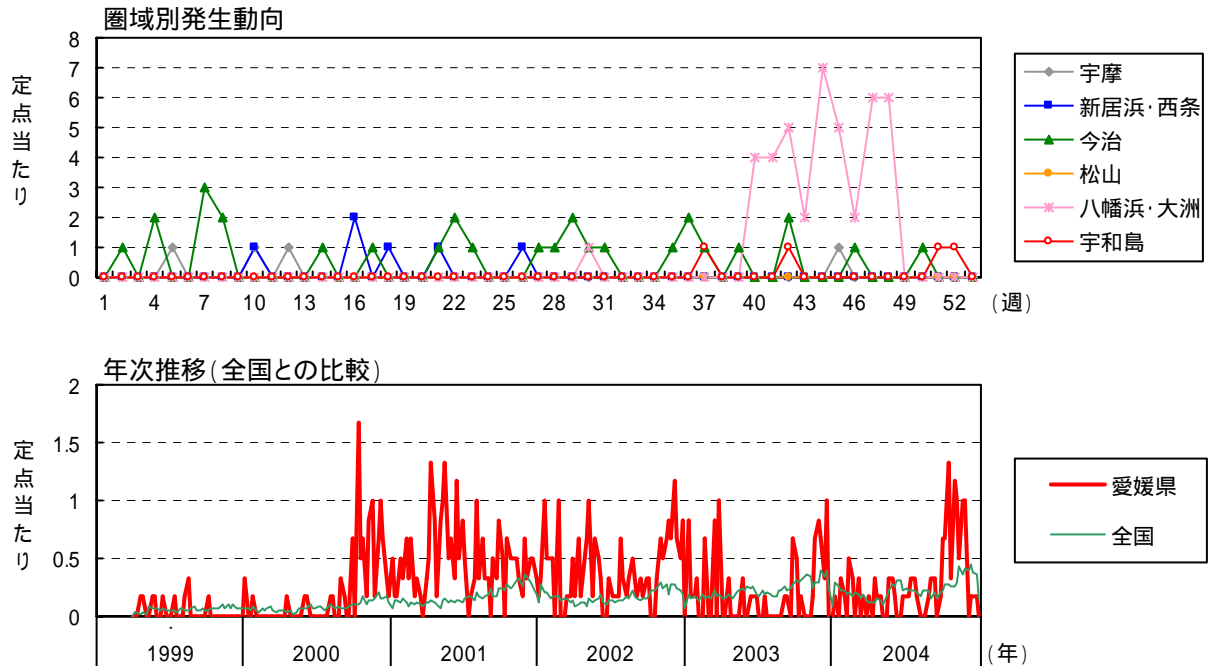
無菌性髄膜炎

2004年は13人の患者報告があった。第31週から第42週(7月下旬から10月中旬)に11人の報告があった。宇和島地区が9人、松山地区が3人、八幡浜地区が1人で東予からの報告は無かった。年齢別では0歳児が6人と多く、1歳から9歳が3人、10歳代が2人、20歳代と30歳代が各1人であった。



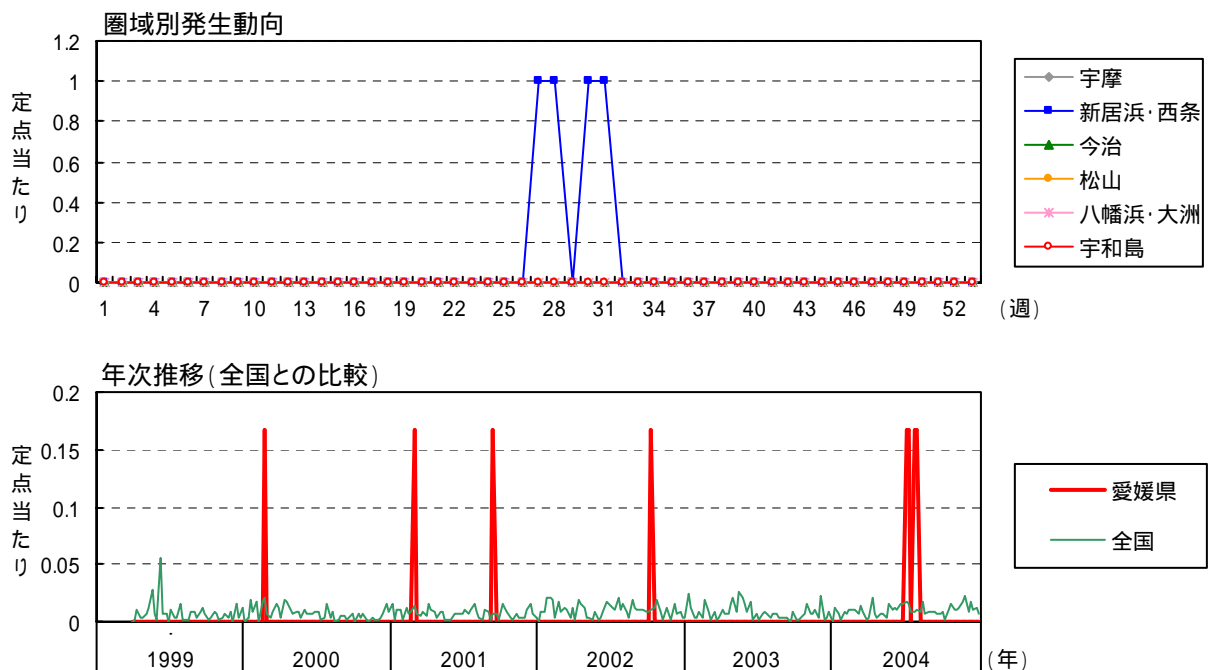
マイコプラズマ肺炎

2004 年は 85 人の患者報告があり、前年(65 人)に次いで少なかった。地域的には八幡浜地区が 42 人と最も多く、そのうち 41 人が第 40 週から第 48 週に報告されており、地域的な流行が確認された。罹患年齢は 1 歳から 4 歳が 31 人、5 歳から 9 歳が 33 人で、9 歳以下が全体の 79% を占めた。



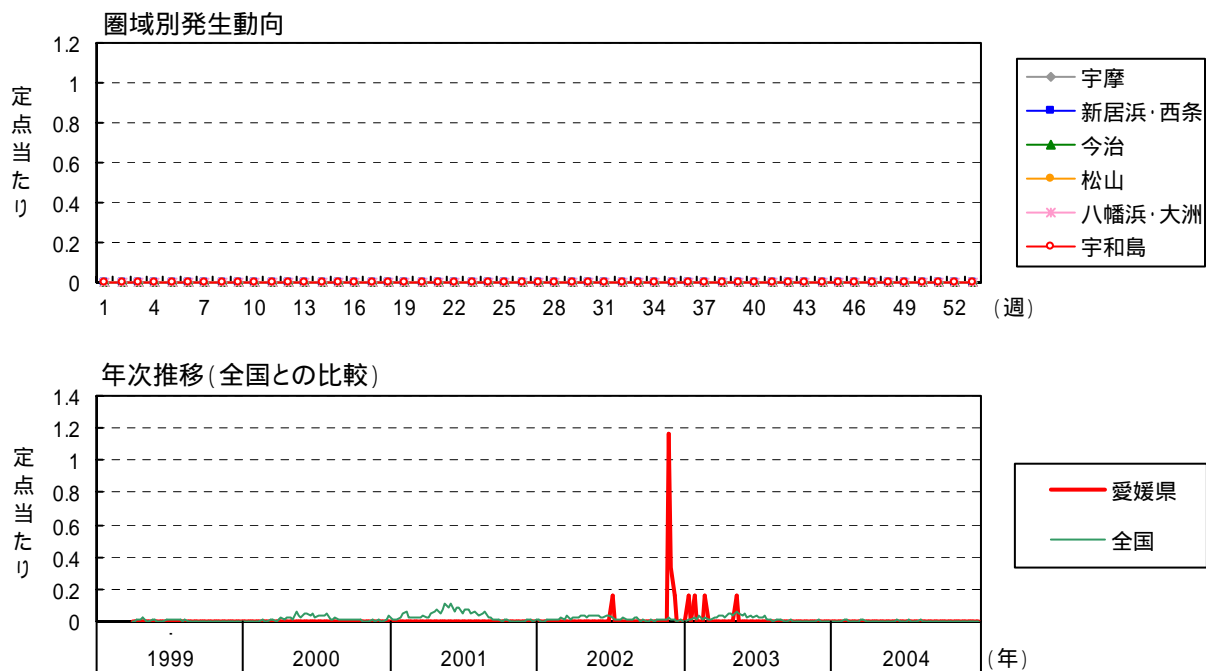
クラミジア肺炎(オウム病を除く)

2004 年は 7 月に 4 人の患者報告があった。すべて 70 歳以上の患者で、新居浜地区からの報告であった。



成人麻疹

2004年の患者報告はなかった。2002年10月から2003年7月にかけて県内で成人麻疹が流行したが、終息後は患者の報告はない。



成人麻しん

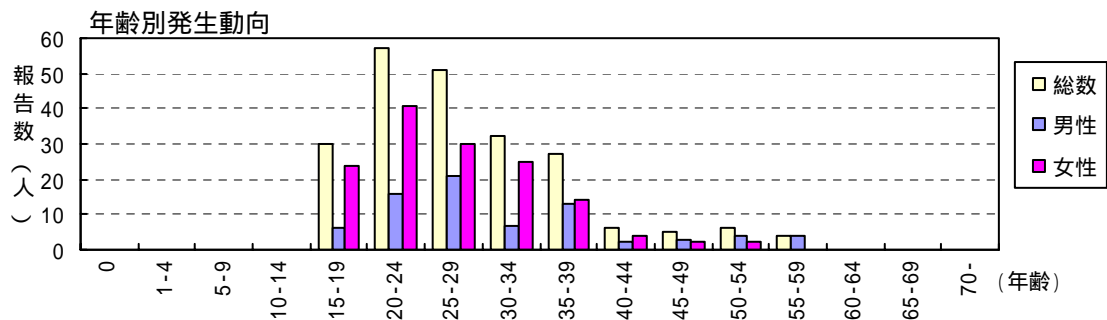
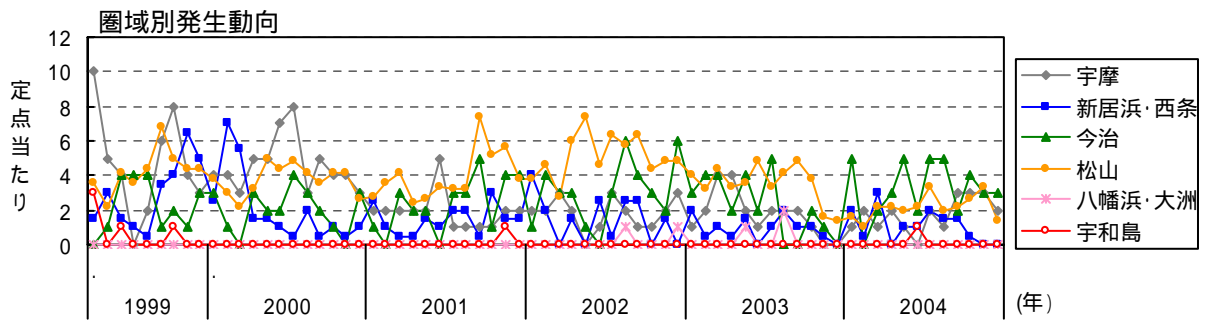
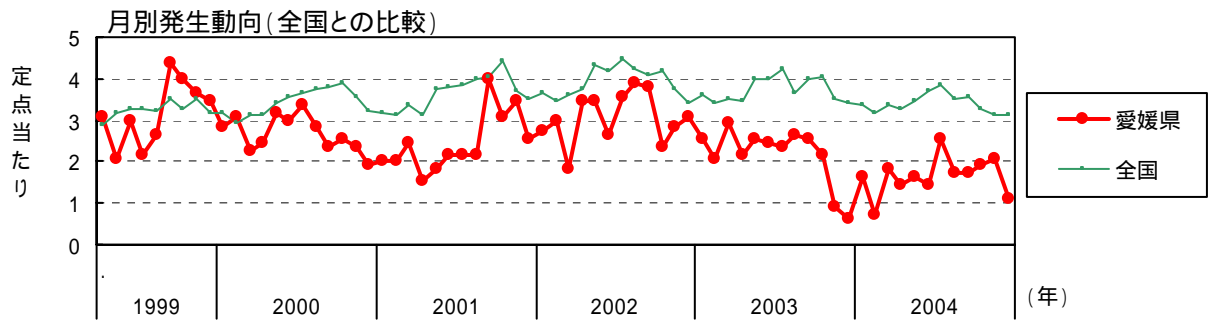
月週	患者報告数										定点あたり報告数				
	2003年保健所別					愛媛県					全国				
	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1															0.01
2															0.00
3															0.01
4															0.01
5															0.04
6															0.01
7															0.01
8															0.01
9															0.02
10															0.03
11															0.01
12															0.03
13															0.04
14															0.05
15															0.04
16															0.04
17															0.04
18															0.04
19															0.04
20															0.04
21															0.04
22															0.04
23															0.04
24															0.04
25															0.04
26															0.04
27															0.04
28															0.04
29															0.04
30															0.04
31															0.04
32															0.04
33															0.04
34															0.04
35															0.04
36															0.04
37															0.04
38															0.04
39															0.04
40															0.04
41															0.04
42															0.04
43															0.04
44															0.04
45															0.04
46															0.04
47															0.04
48															0.04
49															0.04
50															0.04
51															0.04
52															0.04
53															0.04
合計															0.04

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の還元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

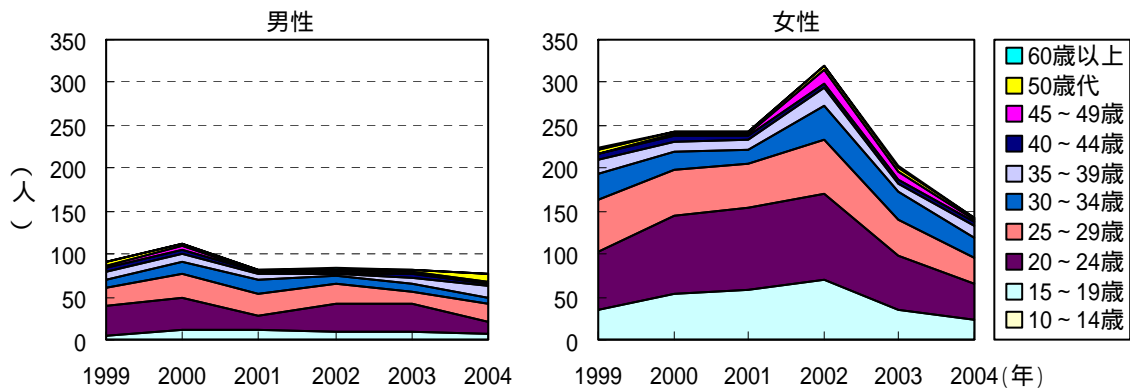
(6)STD 定点対象疾患(月報)

性器クラミジア感染症

2004年の患者報告数は218人(定点当たり19.82人/年)であった。県内の報告数は2002年の403人をピークに、2003年286人、2004年218人と減少傾向にある。性別は男性76人、女性142人で女性が65.1%を占め、男女とも15~39歳の年齢層を中心に報告がみられる。男女別・年齢別の動向をみると、男性の報告数に大きな変動は見られないが、女性においては特に15~29歳の年齢層で2002年233人、2003年140人、2004年95人と報告数の減少が目立っている。

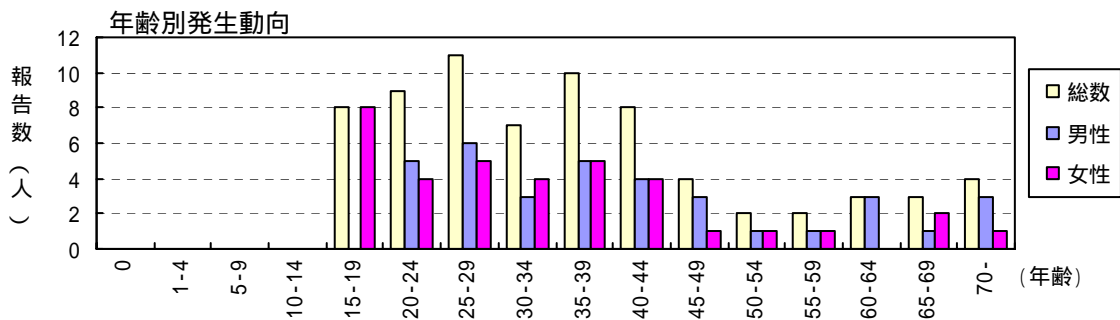
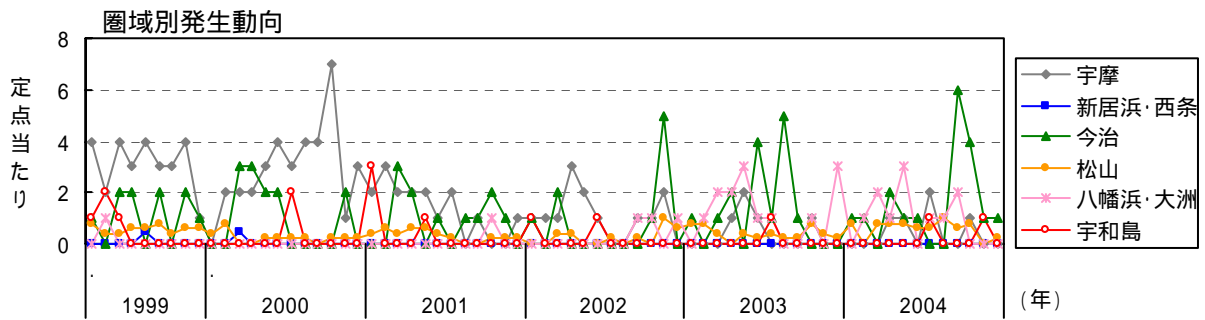
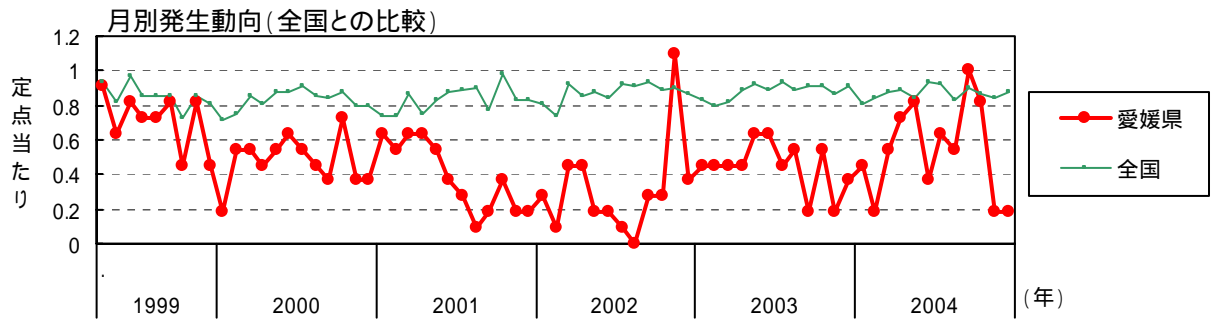


男女別・年齢階級別発生動向

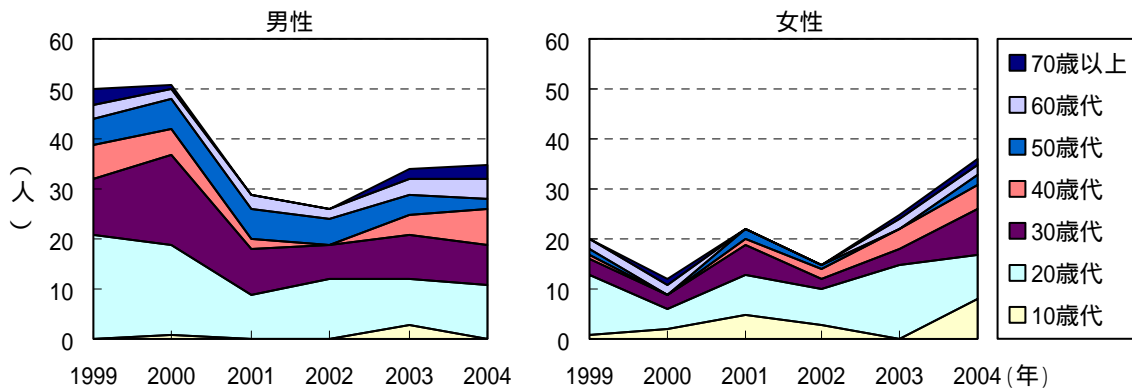


性器ヘルペスウイルス感染症

2004年の報告数は71人(定点当たり6.45人/年)であった。県内報告数は1999年70人、2000年63人、2001年51人、2002年41人と減少傾向にあったが、その後2003年59人、2004年71人と増加に転じている。性別は男性35人、女性36人であり、県内ではじめて女性が男性の報告数を上回った。男性は20歳以上、女性は15歳以上の各年齢層に幅広くみられたが、特に15~19歳の女性に8人の報告があった点が注目される。男女別・年齢別の動向をみると、男性においては2002年までは減少しその後やや増加しているが、女性は年々増加する傾向にあり、特に2003年以降は15~39歳の年齢層で報告数の増加が著しい。

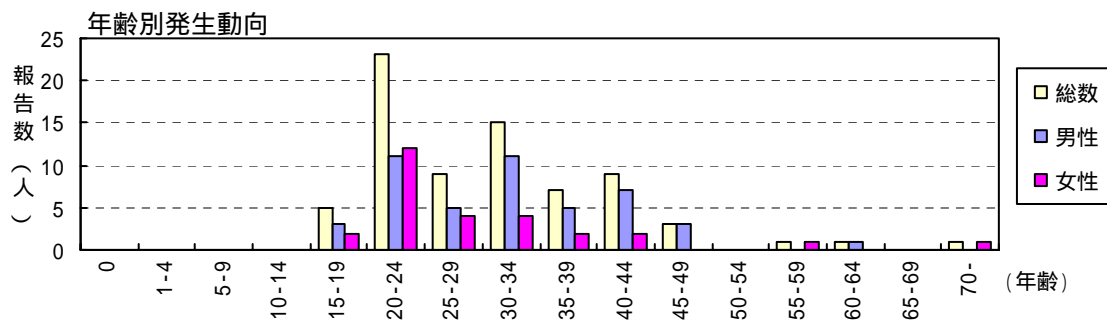
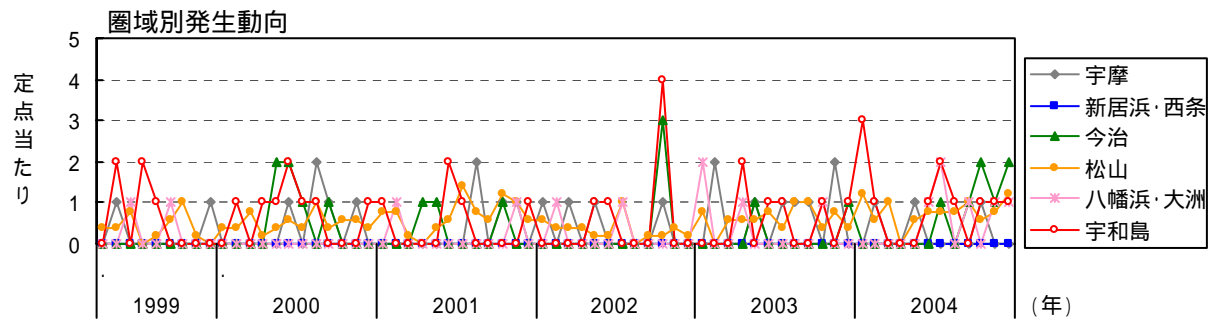
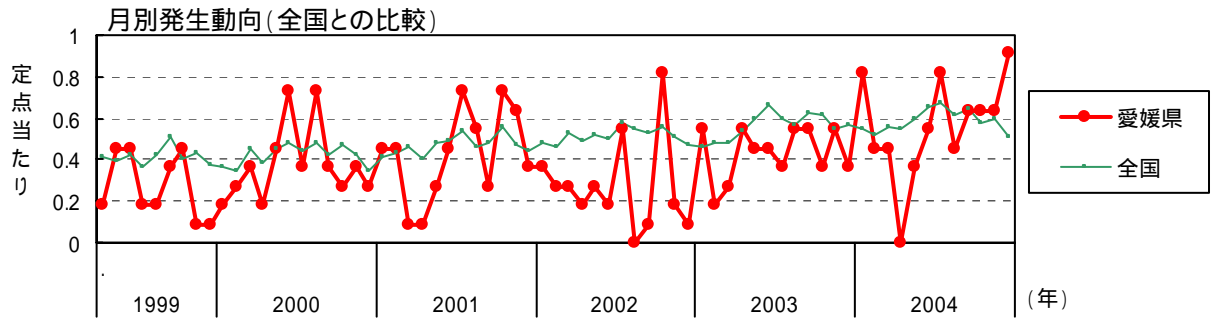


男女別・年齢階級別発生動向

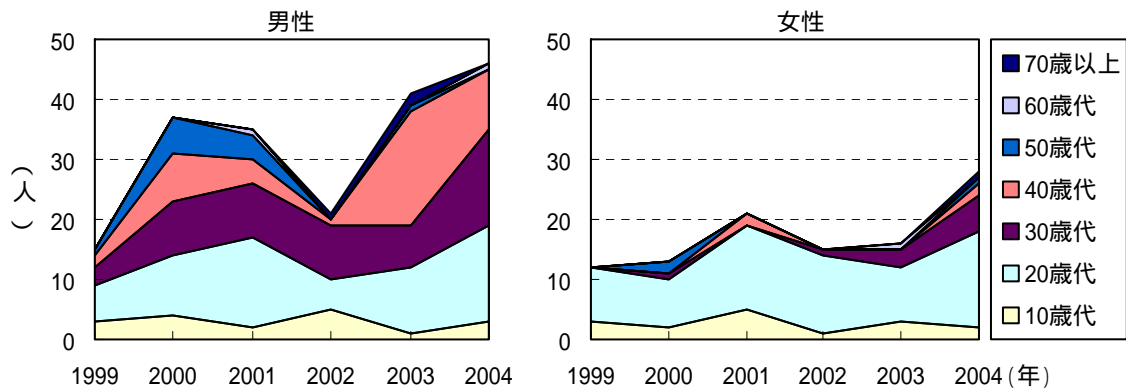


尖圭コンジローマ

2004年の報告数は74人(定点当たり6.73人/年)であった。県内報告数は2002年を除き年間50~60人程度で徐々に増加していたが、本年は1999年の調査開始以降最も多い報告数となり、全国値(定点当たり7.05人/年)とほぼ同レベルとなった。性別は男性46人、女性28人で男性が62%を占めた。年齢層は男女とも15歳から40歳代に多くみられるが、女性では特に20~24歳の若い年齢層からの報告が多かった。男女別・年齢別の動向をみると、男性では20~40歳代、女性では20~30歳代を中心に増加する傾向にある。

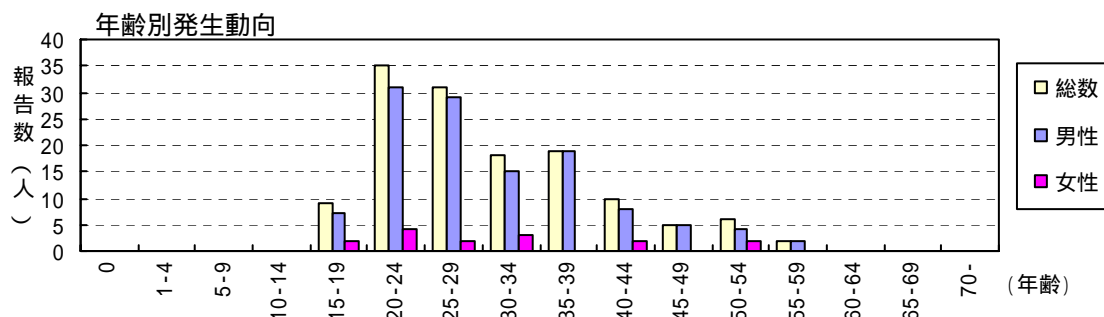
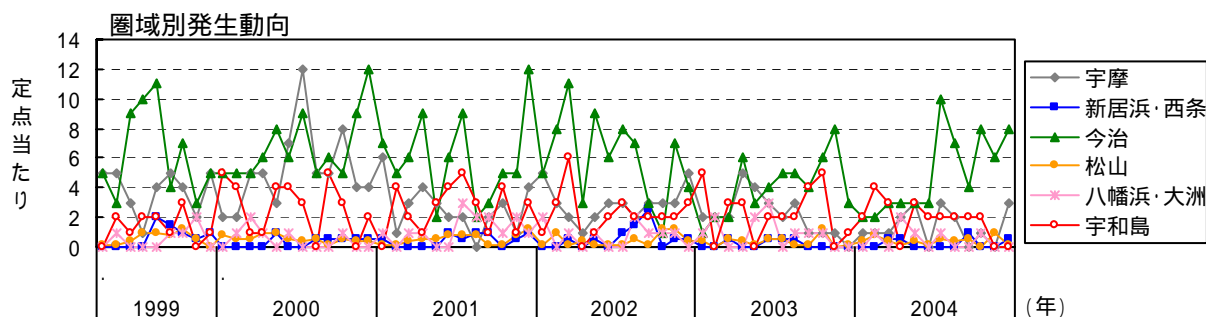
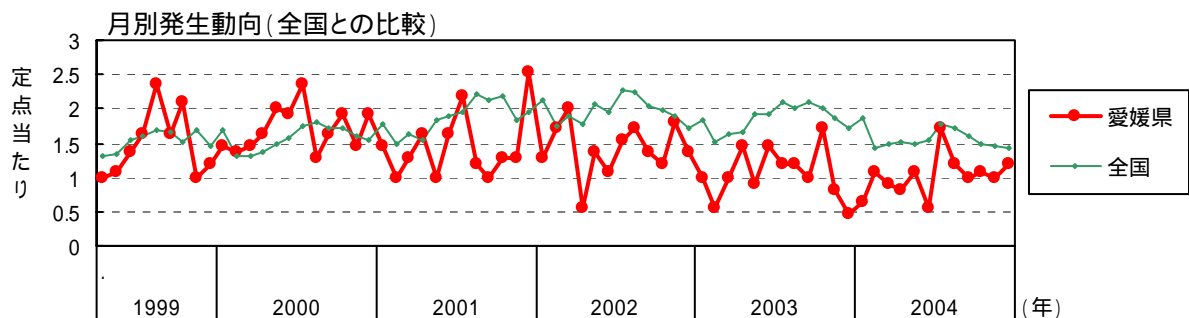


男女別・年齢階級別発生動向

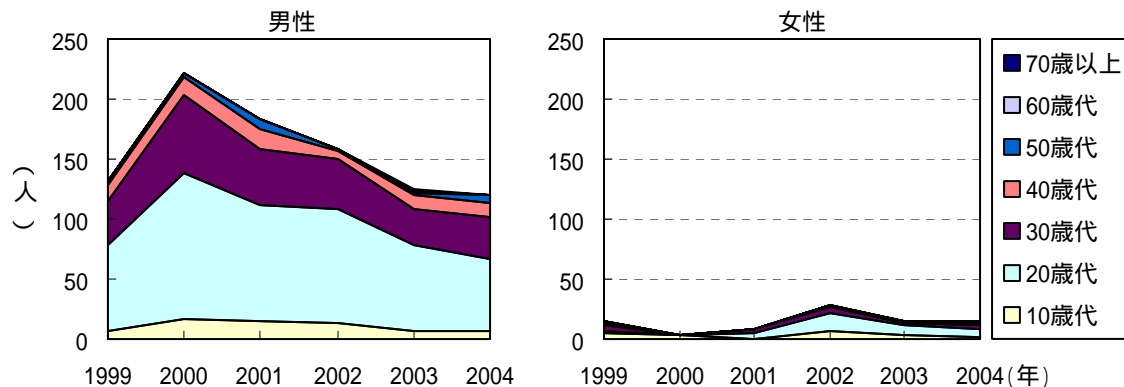


淋菌感染症

2004年の報告数は135人(定点当たり12.27人/年)であった。2000年以降224人、2001年192人、2002年187人、2003年140人と徐々に減少しており、2004年は調査開始以後最も少ない報告数であったが、減少幅はやや鈍化し前年比3.6%の減少率にとどまった。性別は男性120人、女性15人で男性が圧倒的に多く、年齢分布は20歳代、30歳代が全体の76%を占め、例年と同様の発生動向であった。



男女別・年齢階級別発生動向



性器クラミジア感染症

月	患者報告数												定点あたり報告数																																				
	2004年 保健所別						愛媛県						全国						2004年 保健所別						愛媛県						全国																		
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002				
1	1	1	4	5	6	2		18	28	30	3,092	3,374	3,435	1.00	4.00	5.00	1.50	2.00								1.64	2.55	2.73	3.37	3.66	3.75	1.00	4.00	5.00	1.50	2.00							1.64	2.55	2.73	3.37	3.66	3.75	
2	2	2	1	4	1			8	23	33	2,897	3,181	3,221	2.00	1.00		1.00	1.00								0.73	2.09	3.00	3.16	3.45	3.51	2.00	1.00		1.00	1.00								0.73	2.09	3.00	3.16	3.45	3.51
3	1	6	6	2	11			20	32	20	3,088	3,297	3,295	1.00	6.00	2.00	2.75									1.82	2.91	1.82	3.34	3.58	3.59	1.00	6.00	2.00	2.75								1.82	2.91	1.82	3.34	3.58	3.59	
4	2	3	10	1				16	24	38	3,019	3,280	3,410	2.00		3.00	2.50	1.00								1.45	2.18	3.45	3.27	3.58	3.74	2.00		3.00	2.50	1.00							1.45	2.18	3.45	3.27	3.58	3.74	
5	1	2	2	5	10			18	28	38	3,177	3,731	3,957	1.00	2.00	5.00	2.50									1.64	2.55	3.45	3.44	4.06	4.32	1.00	2.00	5.00	2.50							1.64	2.55	3.45	3.44	4.06	4.32		
6	2	2	2	2	11		1	16	27	29	3,404	3,816	3,894		2.00	2.00	2.75								1.00	2.45	2.64	3.68	4.17	4.26		2.00	2.00	2.75							1.00	2.45	2.64	3.68	4.17	4.26			
7	2	4	4	5	15	2		28	26	39	3,560	3,898	4,135	2.00	4.00	5.00	3.75	2.00								2.55	2.36	3.55	3.87	4.24	4.52	2.00	4.00	5.00	3.75	2.00						2.55	2.36	3.55	3.87	4.24	4.52		
8	1	3	3	5	9	1		19	29	43	3,255	3,481	3,916	1.00	3.00	5.00	2.25	1.00								1.73	2.64	3.91	3.53	3.78	4.28	1.00	3.00	5.00	2.25	1.00						1.73	2.64	3.91	3.53	3.78	4.28		
9	3	3	3	2	9	2		19	28	42	3,262	3,683	3,903	3.00	3.00	2.00	2.25	2.00								1.73	2.55	3.82	3.53	4.02	4.26	3.00	3.00	2.00	2.25	2.00						1.73	2.55	3.82	3.53	4.02	4.26		
10	3	1	4	12	1			21	24	26	3,013	3,769	3,972	3.00	1.00	4.00	3.00	1.00								1.91	2.18	2.36	3.27	4.08	4.31	3.00	1.00	4.00	3.00	1.00						1.91	2.18	2.36	3.27	4.08	4.31		
11	3	3	3	17				23	10	31	2,909	3,262	3,476	3.00		3.00	4.25									2.09	0.91	2.82	3.14	3.53	3.77	3.00		3.00	4.25						2.09	0.91	2.82	3.14	3.53	3.77			
12	2			3	7			12	7	34	2,889	3,173	3,152	2.00		3.00	1.75									1.09	0.64	3.09	3.14	3.42		2.00		3.00	1.75						1.09	0.64	3.09	3.14	3.42				
合計	21	26	39	121	10	10	1	218	286	403	37,565	41,945	43,766	21.00	26.00	39.00	30.25	10.00							1.00	19.82	26.00	36.64	40.75	47.73	21.00	26.00	39.00	30.25	10.00					1.00	19.82	26.00	36.64	40.75	47.73				

性器ヘルペスウイルス感染症

月	患者報告数												定点あたり報告数																																	
	2004年 保健所別						愛媛県						全国						2004年 保健所別						愛媛県						全国															
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	
1				1	4			5	5	3	745	779	761													0.45	0.45	0.27	0.81	0.85	0.83										0.45	0.45	0.27	0.81	0.85	0.83
2				1				2	5	1	775	740	688													0.18	0.45	0.09	0.84	0.80	0.75									0.18	0.45	0.09	0.84	0.80	0.75	
3				4				6	5	5	811	759	845													0.55	0.45	0.45	0.88	0.83	0.92								0.55	0.45	0.45	0.88	0.83	0.92		
4	1	2	4	4				8	5	5	824	819	777	1.00												0.73	0.45	0.45	0.89	0.89	0.85								0.73	0.45	0.45	0.89	0.89	0.85		
5	1	1	4	4				9	7	2	779	850	805	1.00												0.82	0.64	0.18	0.84	0.92	0.88								0.82	0.64	0.18	0.84	0.92	0.88		
6	2			3				4	7	2	865	859	783	2.00												0.36	0.64	0.18	0.94	0.94	0.86							0.36	0.64	0.18	0.94	0.94	0.86			
7					3			7	5	1	851	854	859													0.64	0.45	0.09	0.92	0.93	0.94							0.64	0.45	0.09	0.92	0.93	0.94			
8					5			6	6	6	766	827	836													0.55	0.55		0.83	0.90	0.91							0.55	0.55		0.83	0.90	0.91			
9				6	3			11	2	3	827	847	867													1.00	0.18	0.27	0.90	0.92	0.95							1.00	0.18	0.27	0.90	0.92	0.95			
10	1			4	4			9	6	3	803	851	822	1.00												0.82	0.55	0.27	0.87	0.92	0.89							0.82	0.55	0.27	0.87	0.92	0.89			
11				1				2	2	12	778	803	823													0.18	0.18	1.09	0.84	0.87	0.89							0.18	0.18	1.09	0.84	0.87	0.89			
12				1	1			2	4	4	805	844	800													0.18	0.36	0.36	0.88	0.91	0.87							0.18	0.36	0.36	0.88	0.91	0.87			
合計	5			18	35		2	71	59	41	9,629	9,832	9,666	5.00											5.00	6.45	5.36	10.44	10.69	10.54							6.45	5.36	3.73	10.44	10.69	10.54				

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

尖圭コンジローマ

患者報告数													定点あたり報告数											
2004年 保健所別													愛媛県				全国							
月	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	愛媛県			全国			2002	2003	2004	2002	2003	2004	2002	2003	2004	
									2004	2003	2002	2004	2003	2002										2004
1					6			3	9	6	4	446	437	505	4	446	437	505	4	3.00	0.82	0.55	0.36	0.49
2	1				3		1	5	5	2	3	433	445	481	3	433	445	481	3	1.00	0.45	0.18	0.27	0.47
3					5			5	5	3	3	482	450	517	3	482	450	517		0.45	0.27	0.27	0.56	0.53
4										6	2	446	501	507	2	446	501	507				0.55	0.55	0.49
5	1				2	1			4	5	3	477	548	551	3	477	548	551			0.36	0.45	0.27	0.52
6					3	1	1	1	6	5	2	460	624	606	2	460	624	606			0.55	0.45	0.18	0.50
7				1	3	1	2	2	9	4	6	531	554	620	4	531	554	620			0.82	0.36	0.55	0.58
8					4		1	5	6	6	6	505	519	566	6	505	519	566			0.45	0.55	0.61	0.55
9				1	5	1	1	7	7	6	1	495	573	597	6	495	573	597			0.64	0.55	0.09	0.62
10	1			2	3		1	7	4	9	9	513	570	532	9	513	570	532			0.64	0.36	0.82	0.56
11				1	4		1	7	6	2	2	470	508	549	2	470	508	549			0.64	0.55	0.18	0.51
12				2	6		1	10	4	4	1	443	524	468	4	443	524	468			0.91	0.36	0.09	0.48
合計	3			7	44	3	6	11	74	57	36	5,701	6,253	6,499	36	5,701	6,253	6,499			6.73	5.18	3.27	6.80

淋菌感染症

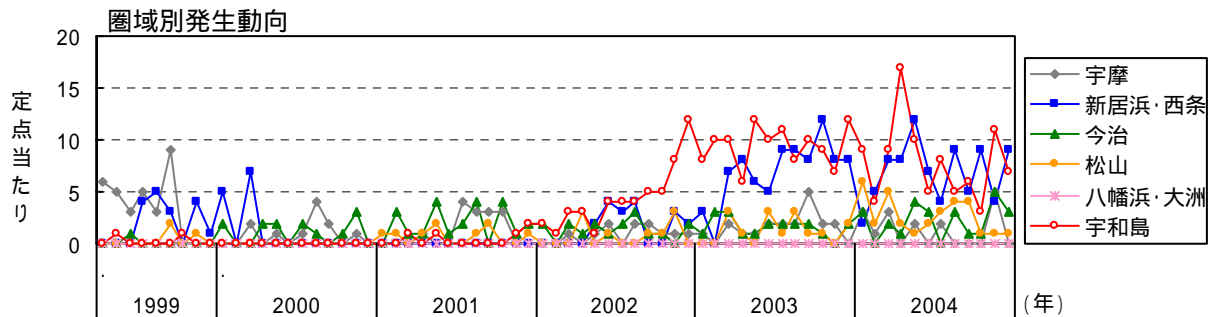
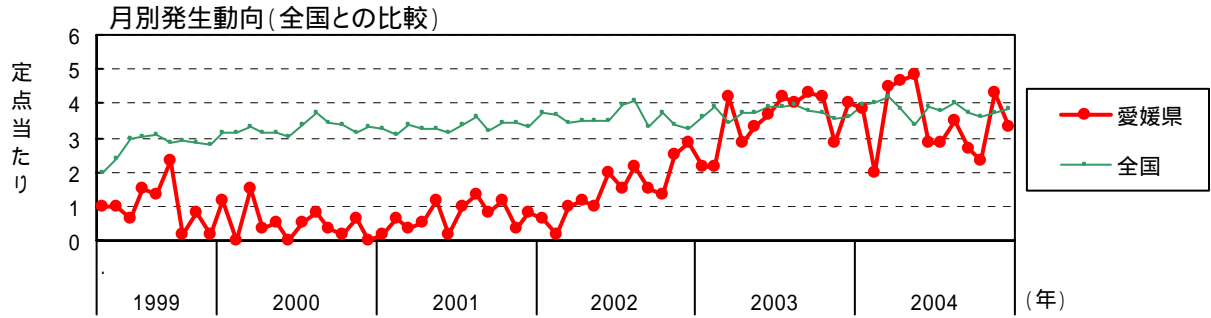
患者報告数													定点あたり報告数											
2004年 保健所別													愛媛県				全国							
月	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	愛媛県			全国			2002	2003	2004	2002	2003	2004	2002	2003	2004	
									2004	2003	2002	2004	2003	2002										2004
1	1			2	2			2	7	11	14	1,963	1,725	1,706	14	1,963	1,725	1,706			2.00	1.00	1.27	2.14
2	1			2	2	2	1	4	12	6	19	1,619	1,402	1,305	19	1,619	1,402	1,305			4.00	0.55	1.73	1.77
3	1	1		3	1	1		3	10	11	22	1,748	1,531	1,377	22	1,748	1,531	1,377			3.00	1.00	2.00	1.66
4	2	1		3	1		2	9	9	16	6	1,604	1,542	1,399	6	1,604	1,542	1,399			0.82	1.45	0.55	1.68
5	3			3	1	1	1	3	12	10	15	1,902	1,757	1,427	15	1,902	1,757	1,427			3.00	1.09	1.36	1.76
6				3	1			2	6	16	12	1,833	1,797	1,471	12	1,833	1,797	1,471			2.00	0.55	1.09	2.07
7	3			10	3		1	2	19	13	17	2,092	1,944	1,639	17	2,092	1,944	1,639			2.00	1.73	1.55	2.00
8	2			7	2			2	13	13	19	2,077	1,844	1,582	19	2,077	1,844	1,582			2.00	1.18	1.73	2.29
9				2	4		3	2	11	11	15	1,895	1,934	1,477	15	1,895	1,934	1,477			2.00	1.00	1.36	2.27
10	1			8			1	2	12	19	13	1,836	1,884	1,380	13	1,836	1,884	1,380			2.00	1.09	1.73	2.07
11				6	5				11	9	20	1,757	1,739	1,346	20	1,757	1,739	1,346			1.00	0.82	1.82	1.99
12	3	1		8	1				13	5	15	1,595	1,598	1,311	15	1,595	1,598	1,311			1.18	0.45	1.36	1.91
合計	17	3	2	59	19	7	6	22	135	140	187	21,921	20,697	17,320	187	21,921	20,697	17,320			12.27	12.73	17.00	23.91

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

(7) 基幹定点対象疾患(月報)

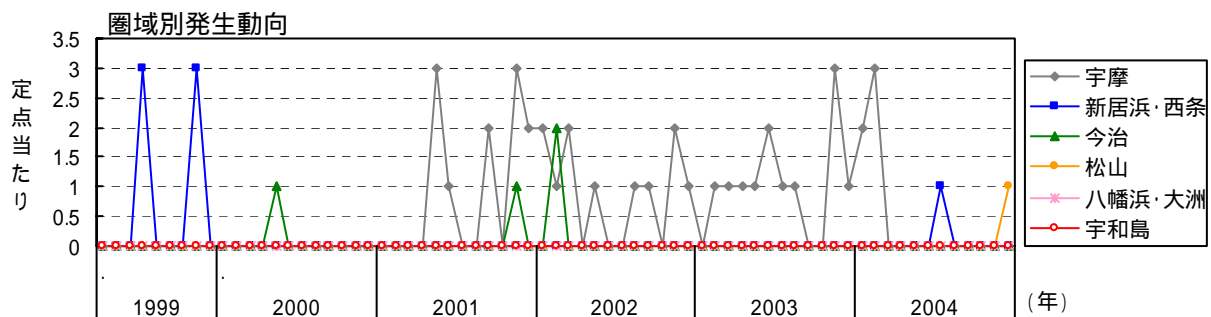
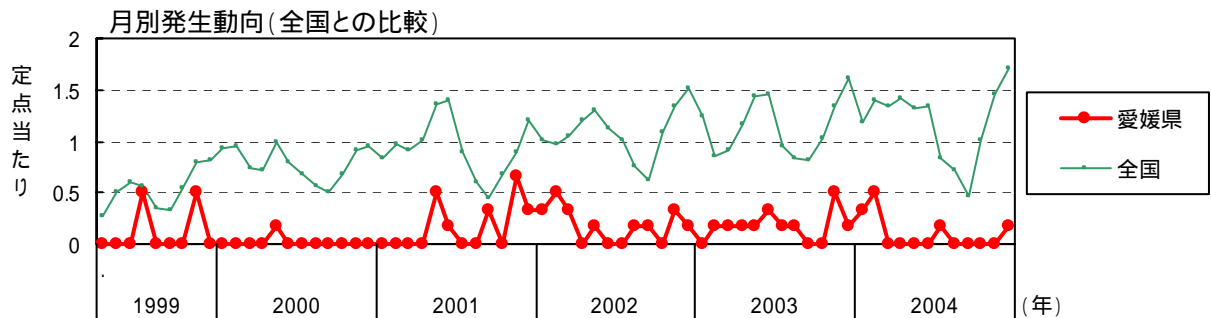
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2004年の報告数は250人(定点当たり41.67人/年)であった。2001年までは年間50人前後で推移していたが、2002年107人(定点当たり17.83人/年)、2003年251人(定点当たり41.83人/年)と増加し、2003年以降は全国の報告数(定点当たり43~46人/年)とほぼ同レベルで推移している。性別は男性164人、女性86人と2:1の割合で男性患者が多く、年齢分布は70歳以上が報告数の56%(141人)を占めた。男女比、年齢分布ともに過去5年間と同様の傾向を示した。



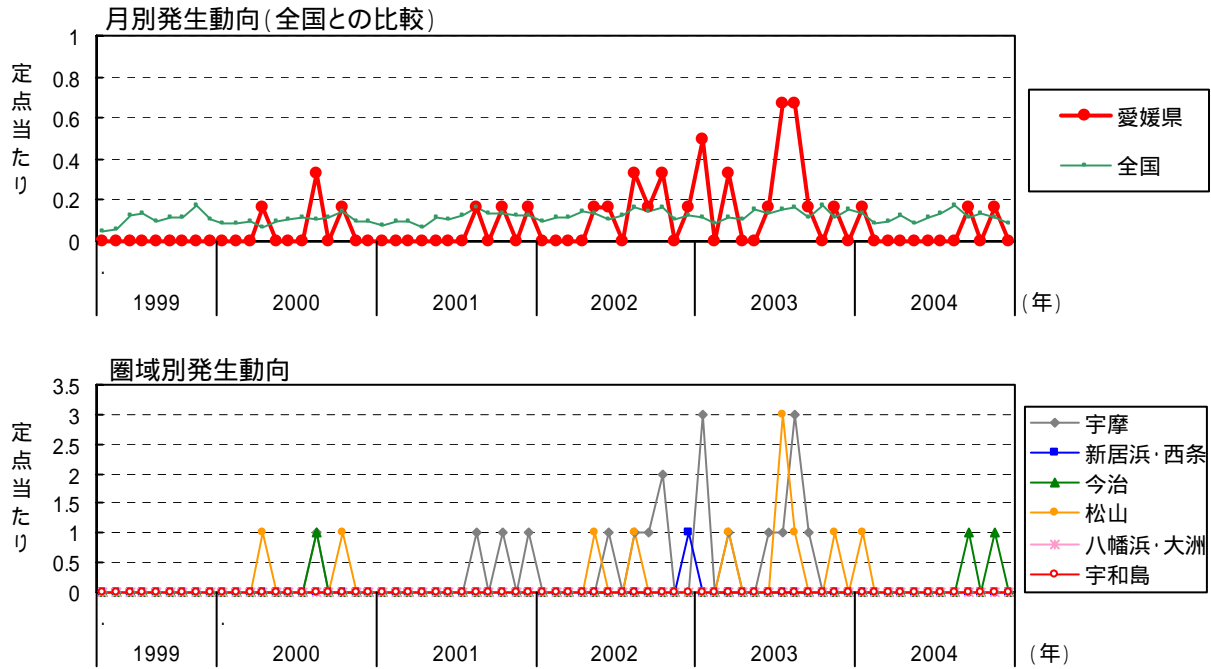
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2004年の患者報告数は7人(定点当たり1.17人/年)であり、性別は男性4人、女性3人であった。2001~2003年は12~13人(定点当たり2~2.1人/年)の報告数があったが、2004年は7人と減少した。全国の定点当たり報告数は2002年以降13~14人/年で微増傾向にあるが、県内の報告数は全国と比較してかなり少ないと言える。年齢分布は1~4歳が5人で報告数の71%を占め、2001年以降と同様の傾向であった。



薬剤耐性緑膿菌感染症

2004年の患者報告数は3人(定点当たり0.50人/年)であり、年齢及び性別は5歳未満男性1人、30歳代女性1人、50歳代女性1人であった。2002年、2003年はそれぞれ8人、16人と増加する傾向にあったが、2004年は再び減少し2001年以前と同レベル(年間3人)の報告数となった。



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

月	患者報告数											定点あたり報告数												
	2004年 保健所別						愛媛県			全国			2004年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1	3	2	3	6		9	23	13	4	1,846	1,701	1,768	3.00	2.00	3.00	6.00		9.00	3.83	2.17	0.67	3.95	3.65	3.80
2	1	5		2		4	12	13	1	1,861	1,814	1,704	1.00	5.00		2.00		4.00	2.00	2.17	0.17	3.99	3.90	3.67
3	3	8	2	5		9	27	25	6	1,965	1,659	1,626	3.00	8.00	2.00	5.00		9.00	4.50	4.17	1.00	4.18	3.57	3.49
4		8	1	2		17	28	17	7	1,817	1,780	1,609		8.00	1.00	2.00		17.00	4.67	2.83	1.17	3.85	3.81	3.48
5	2	12	4	1		10	29	20	6	1,587	1,755	1,641	2.00	12.00	4.00	1.00		10.00	4.83	3.33	1.00	3.36	3.75	3.53
6		7	3	2		5	17	22	12	1,840	1,860	1,650		7.00	3.00	2.00		5.00	2.83	3.67	2.00	3.92	3.98	3.57
7	2	4		3		8	17	25	9	1,764	1,852	1,849	2.00	4.00		3.00		8.00	2.83	4.17	1.50	3.76	3.95	3.98
8		9	3	4		5	21	24	13	1,886	1,865	1,918		9.00	3.00	4.00		5.00	3.50	4.00	2.17	4.01	3.96	4.12
9		5	1	4		6	16	26	9	1,758	1,797	1,548		5.00	1.00	4.00		6.00	2.67	4.33	1.50	3.74	3.82	3.36
10		9	1	1		3	14	25	8	1,708	1,781	1,740		9.00	1.00	1.00		3.00	2.33	4.17	1.33	3.62	3.79	3.72
11	5	4	5	1		11	26	17	15	1,763	1,692	1,607	5.00	4.00	5.00	1.00		11.00	4.33	2.83	2.50	3.74	3.60	3.43
12		9	3	1		7	20	24	17	1,819	1,746	1,554		9.00	3.00	1.00		7.00	3.33	4.00	2.83	3.86	3.73	3.31
合計	16	82	26	32		94	250	251	107	21,614	21,302	20,214	16.00	82.00	26.00	32.00		94.00	41.67	41.83	17.83	46.00	45.52	43.47

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

月	患者報告数											定点あたり報告数												
	2004年 保健所別						愛媛県			全国			2004年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1	2						2		2	556	580	391	2.00						0.33		0.33	1.19	1.24	1.06
2	3						3	1	3	649	410	442	3.00						0.50	0.17	0.50	1.39	0.88	1.01
3								1	2	627	421	418								0.17	0.33	1.33	0.91	1.05
4								1		669	556	466								0.17		1.42	1.19	1.18
5								1	1	621	692	643								0.17	0.17	1.32	1.48	1.31
6								2		626	674	634								0.33		1.33	1.44	1.17
7		1					1	1		395	450	437		1.00					0.17	0.17		0.84	0.96	1.00
8								1	1	339	395	294								0.17	0.17	0.72	0.84	0.75
9									1	222	382	215									0.17	0.47	0.81	0.61
10										480	489	329										1.02	1.04	1.12
11								3	2	683	634	422								0.50	0.33	1.45	1.35	1.34
12				1			1	1	1	808	764	563				1.00			0.17	0.17	0.17	1.72	1.63	1.58
合計	5	1		1			7	12	13	6,675	6,447	5,254	5.00	1.00		1.00			1.17	2.00	2.17	14.20	13.78	13.19

薬剤耐性緑膿菌感染症

月	患者報告数											定点あたり報告数												
	2004年 保健所別						愛媛県			全国			2004年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1				1			1	3		64	53	45				1.00			0.17	0.50		0.14	0.11	0.10
2										39	40	56										0.08	0.09	0.12
3								2		47	54	56								0.33		0.10	0.12	0.12
4										59	53	65										0.13	0.11	0.14
5									1	41	73	65									0.17	0.09	0.16	0.14
6								1	1	56	58	43								0.17	0.17	0.12	0.12	0.09
7								4		65	74	59								0.67		0.14	0.16	0.13
8								4	2	80	79	76								0.67	0.33	0.17	0.17	0.16
9			1				1	1	1	56	60	67			1.00				0.17	0.17	0.17	0.12	0.13	0.15
10									2	62	82	76									0.33	0.13	0.17	0.16
11			1				1	1		53	58	49			1.00				0.17	0.17		0.11	0.12	0.10
12									1	43	75	59									0.17	0.09	0.16	0.13
合計			2	1			3	16	8	665	759	716			2.00	1.00			0.50	2.67	1.33	1.42	1.62	1.54

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の還元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

2004 年（平成 16 年）感染症発生動向調査結果
- 病原体検査結果 -

2004年(平成16年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -

1 細菌検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

(1) 全数把握対象感染症

細菌性赤痢

赤痢菌の血清型別試験、細胞侵入性遺伝子(*ipaH*)のPCR検査、薬剤感受性試験を実施した。薬剤感受性試験はNCCLSの方法に準じ、アンピシリン(ABPC)、セフトキシム(CTX)、カナマイシン(KM)、ゲンタマイシン(GM)、ストレプトマイシン(SM)、テトラサイクリン(TC)、クロラムフェニコール(CP)、シプロフロキサシン(CPFX)、トリメトプリム(TMP)、ナリジクス酸(NA)、ホスホマイシン(FOM)、スルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤(ST)の12薬剤に対する耐性の有無を判定した。

県内で分離された赤痢菌3株は全てフレキシネルで典型的な赤痢菌の性状を示すとともに、*ipaH*遺伝子の保有が確認された。薬剤感受性試験の結果、全て4剤以上の薬剤に耐性が認められた。

表1 愛媛県内の赤痢菌分離株

届出月日	保健所名	推定感染地	菌型(血清型)	<i>ipaH</i>	耐性薬剤
5月6日	松山	国内	<i>Shigella flexneri</i> (2a)	+	TC・SM・ TMP・ABPC
8月6日	西条	インドネシア	<i>Shigella flexneri</i> (1a)	+	TC・CP・SM・ ST・TMP・ ABPC
8月22日	松山市	中国	<i>Shigella flexneri</i> (4a)	+	TC・CP・SM・ ST・TMP・ ABPC・NA

腸管出血性大腸菌

当所においては、保健所から送付された腸管出血性大腸菌(EHEC)分離株の確認検査を実施するとともに、随時国立感染症研究所(感染研)へ菌株を送付している。感染研ではパルスフィールドゲル電気泳動法(PFGE)による型別を実施し、全国規模の同時多発的な集団発生“diffuse outbreak”を監視している。当所においては、分離株の生化学的性状、O抗原及びH抗原の血清型別、ベロ毒素(VT)の型別に加えて、PFGE法による遺伝子検査を実施した。また、薬剤感受性試験は赤痢菌と同様に12薬剤を用いて実施した。

2004年愛媛県におけるEHEC感染症の患者数は計98名で、過去5年間で最も多い患者発生となった。6月と9月にはそれぞれ幼稚園と保育所でO26による集団感染が発生した。

2つの集団発生事例の概要は以下のとおりである。

<事例3 松山市 A 幼稚園>

5月27日、感染症発生動向調査病原体定点の小児科から当所へ感染性胃腸炎患者の便が搬入され、分離培養の結果、EHEC O26 (VT1 陽性) が検出された。患者は松山市内の A 幼稚園 (園児 318 名、職員 27 名) の園児で 22 日に発症 (発熱 37.9、下痢) し、24 日に受診した。松山市保健所による健康調査では胃腸炎症状の園児はいなかったが、患者の母親から同菌が分離された。

表 2 愛媛県内の腸管出血性大腸菌感染症分離株

事例番号	届出月日	保健所名	疫学情報	患者感染者		血清型			耐性薬剤
				総数	(無症状者再掲)	O	H	VT 型別	
1	4月5日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
2	4月16日～20日	今治	家族内	2	(0)	157	7	1,2	ABPC・SM
3	5月27日～6月29日	松山市	集団発生 (A幼稚園)	38	(26)	26	11	1	TC
4	5月31日	新居浜	散発	1	(0)	157	7	1,2	SM・TC
5	6月9日	松山	散発	1	(0)	26	11	1	ABPC・SM
6	6月12日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
7	6月21日	今治	散発	1	(0)	157	7	2	SM
8	6月24日～29日	松山	家族内	3	(3)	157	7	1,2	SM・TC
9	7月1日	大洲	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
10	7月12日～15日	松山市	家族内	3	(1)	26	11	1	SM
11	7月20日	今治	散発	1	(0)	157	7	2	SM
12	8月11日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
13	8月11日～9月3日	八幡浜	集団発生 (B保育園)	15	(9)	26	11	1	SM
14	8月13日	松山市	散発	1	(0)	157	UT	2	SM
15	8月18日	松山市	散発	1	(0)	63	6	2	SM
16	8月23日	新居浜	散発	1	(0)	157	-	1,2	-
17	8月27日	今治	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
18	9月10日	松山市	散発	1	(0)	157	NT	2	NT
19	10月2日～5日	松山市	家族内	2	(1)	26	11	1	-
20	10月9日	大洲	散発	1	(0)	157	7	2	-
21	10月16日～20日	松山市	家族内	3	(1)	157	7	2	ABPC・SM・ TMP・ST
22	10月22日～11月26日	今治 松山 松山市	散発性 集団発生	16	(3)	157	7	1,2	-
23	11月30日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	ABPC
24	12月28日	今治	散発	1	(0)	111	-	1	ABPC・KM・ SM・TC
				98	(44)				

NT：検査せず UT：型別不能

その後、6月12日に別の小児科から EHEC O26 (VT1 陽性) の届出があった。この患者(6月7日から発熱、血便、下痢症状)も同園の園児であったことから、PFGE を実施したところ、分離株の PFGE 型は一致した。このことから、A 幼稚園における集団感染が疑われ、園児、教職員、家族等接触者 458 名の検便が実施された。その結果 36 名から O26 が分離され、計 38 名の集団発生となった。内訳は園児 29 名、教職員 1 名、患者家族 8 名(母親 1 名、兄弟姉妹 7 名)であった。感染した園児にクラスの違いはなかったが、園内の患者発生状況からみてヒトからヒトへの感染と考えられた。

<事例 13 西予市 B 保育所>

8月11日、西予市内の小児科から八幡浜中央保健所に O26 (VT1) 患者の届出があった。3日から腹痛、水様性下痢、血便を呈し、翌日受診したものであった。患者の通う B 保育所(園児 129 名、職員 27 名)で、他に受診している園児が数名いたことから、園児・職員全員の検便を実施した。延べ 416 名分の検査を実施した結果、初発患者を含め 15 名の感染が確認された。感染者は同クラス 7 名とその家族 7 名、別クラス 1 名であった。PFGE の結果、分離株 15 株の遺伝子パターンは全て一致した。感染源は特定できなかったが、園では園児が自宅から持参したタオルを 4cm 間隔のフックにかけて使用していたことから、このタオルが同クラスの園児間で共用に近い状態で使用され、主な感染要因となった可能性が考えられた。

保健所の勧奨により、感染者 15 名に対して服薬終了後数回の検便が実施された。その結果、12 名は菌陰性となったが、3 名は菌陰性の後再び排菌が確認された。この 3 名に対して再度服薬を指導し、最終的に全員が菌陰性となったことから終息に至った。

表 3 同一 PFGE 型の腸管出血性大腸菌(O157)患者発生状況

事例	住所	患者	年齢	性別	発病月日	届出月日	牛レバー 喫食歴*	備考
22-1	今治市		20代	男	10.19	10.22	無	
22-2	越智郡		50代	男	11.9	11.11	無	子
			70代	女	11.14	11.17	無	母
22-3	松山市		20代	男	11.6	11.13	有	食中毒
			20代	男	11.7	11.16	有	食中毒
22-4	東温市		40代	女	11.11	11.15	有	妻
			50代	男	無症状	11.17	有	夫
22-5	伊予市		50代	女	11.9	11.15	無	
22-6	今治市		幼児	女	11.12	11.16	無	
22-7	松山市		30代	女	11.8	11.16	有	
22-8	松山市		30代	男	(11.7)	11.18	有	職場の検便
22-9	東温市		20代	男	無症状	11.22	無	職場の検便
			幼児	女	11.17	11.22	無	妹
22-10	松山市		幼児	男	(11.9)	11.26	無	兄
			小学生	男	無症状	11.26	無	従兄弟
			幼児	女	11.23	11.26	無	従姉妹

* 発病前1週間以内の非生食用牛レバー生食の有無
()聴き取り調査結果

このように O26 が集団で発生したのに比べ、O157 は夏場の流行期においても散発・家族内発生に留まっていたが、10 月から 11 月に集中して O157 患者が続発した。そのなかには飲食店で発生した食中毒（表 3 中の事例 22-3）も含まれていた。11 月 2 日に松山市内の飲食店を利用した 1 グループ 8 名のうち 3 名が下痢腹痛等の症状を呈し、そのうち 2 名から O157 が検出された事例であった。喫食状況等の聴き取り調査の結果、飲食店の会食を原因とする食中毒と断定され、非生食用牛レバーの生食が原因と考えられた。原因菌の血清型は O157:H7(VT1・VT2) で、12 薬剤に対して全て感受性であった。この食中毒事例と前後して 14 名の O157 患者が発生し（表 3）、PFGE の結果、16 名の患者由来株のパターンがほぼ一致した。このことから共通の感染源または二次感染等が考えられたが、疫学調査の結果、その原因は特定できなかった。

その他、本年の散発事例由来株は感染研における PFGE 解析の結果、他の地域の分離株と同一パターンの株であった。事例 9 の分離株は東京都（3 月）、岡山県・三重県（4 月）、大阪府（5 月）、岡山県（6 月）、岡山県・石川県・千葉市（7 月）、栃木県（9 月）の散発事例由来株のパターンと一致していた。また、事例 11 は 4 月に香川県、岡山県、石川県、福井県の分離株と一致していた。さらに事例 14 の分離株は大阪府（7 月）、千葉市・広島県・岐阜県（8 月）の散発事例由来株の示すパターンと一致していた。いずれも感染原因は不明である。

薬剤感受性試験の結果は、アンピシリン、ストレプトマイシン、テトラサイクリン等の単剤あるいは多剤耐性菌が半数以上みられたが、ホスホマイシン、ニューキノロン系等の第一選択薬剤に対する耐性は認められず、昨年と同様の傾向であった。

(2) 定点把握対象感染症

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭ぬぐい液から SEB 培地で増菌後、羊血液寒天培地で分離を行なった。溶血を認めた集落について、溶血性レンサ球菌（溶レン菌）の同定検査及び群別試験を実施した。A 群と同定された菌株については、市販免疫血清により 19 種の T 型を決定した。

2004 年には県下 4 地域の病原体定点等で採取された 85 検体の咽頭ぬぐい液を培養した。その結果、A 群溶レン菌は 27 件分離され、T 型別では、12 型が 15 株と最も多く約半数を占めた。次いで 4 型 5 株、1 型 3 株であった（表 4）。また、A 群以外に G 群が 2 株分離された。松山地区においては特に患者数が増加したことから小児科定点の協力を得て、分離培養を実施したが、8 型、12 型各々 1 株ずつの分離に留まった。

月別分離状況を表 5 に示した。5 月から 7 月の分離数が多く、血清型別では 12 型の占める割合が高かったことから、同時期の患者数増加の主原因は 12 型によるものと推察された。

表 4 地区別溶血レンサ球菌分離状況

血清型別	今治	松山市	松山	八幡浜	計
A群					
1型	1	2			3
4型		5			5
8型			1		1
11型		2			2
12型	6	8	1		15
28型				1	1
G群		2			2
計	7	19	2	1	29
検査数	7	57	20	1	85

表 5 月別溶血レンサ球菌分離状況

血清型別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計 (%)
A群													
1型				2		1							3 (10.3)
4型					1		2				1	1	5 (17.2)
8型							1						1 (3.4)
11型												2	2 (6.9)
12型	1			1	3	4	3	1		1	1		15 (51.7)
28型									1				1 (3.4)
G群	1						1						2 (6.9)
計	2	0	0	3	4	5	7	1	1	1	2	3	29
検査数	5	1	1	8	11	9	32	1	4	4	3	6	85

感染性胃腸炎

検査対象病原体は主として赤痢菌、病原大腸菌、サルモネラ、病原性ビブリオ及びカンピロバクターとし、通常4種類の選択分離培地上に発育した典型的な集落を釣菌し、生化学的性状試験及び血清学的試験により同定した。本年よりEHECの迅速かつ確実な検出を目的として、大腸菌のVTスクリーニング試験を開始した。また、大腸菌は市販免疫血清で血清型別を実施した後、各種の病原因子に関する遺伝子増幅検査(PCR法)により腸管侵入性大腸菌(EIEC)及び病原血清型大腸菌(EPEC)に分類した。

2004年の病原細菌検出状況を表4に示した。小児を中心に520検体の糞便について病原菌検索を試み、また糞便由来のサルモネラ分離株4件については血清型別により同定を行なった。その結果、病原大腸菌が15件、カンピロバクターが16件分離され、サルモネラ菌は小児科定点からの分離株を含め5株全てS.Virchowであった。病原菌は年間を通じて分離されたが、6月から8月の分離数が多く、夏季の感染性胃腸炎の主原因であったことが示唆された。

5月に分離されたO26は、6月から7月にかけて松山市内の幼稚園で発生した集団感染事例の初発患者で、定点把握感染症の病原体検索においてEHECが分離された初めての事例であった。O112ac及びO型別不能株の2株はともに腸管侵入性遺伝子(*invE*)が陽性であったことから、EIECと同定された。また4種類の腸管付着性に関するPCRの結果、複数陽性株を含めて、*eaeA*が6株、*astA*が6株、*aggR*が2株から検出され、EPECと同定された。

また、カンピロバクターは、生化学的性状試験により16株全て *Campylobacter jejuni* と同定され、小児の感染性胃腸炎において主要な病原菌であったことが推察された。

その他、赤痢菌、病原ビブリオ等は分離されなかった。

表6 感染性胃腸炎からの病原細菌月別検出状況

病原細菌	血清型別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
病原大腸菌	腸管出血性大腸菌					1								1	
	腸管侵入性大腸菌	O112ac						1							1
		O UT						1							1
	病原血清型大腸菌	O 1						1						1	1
		O 8										1		1	2
		O 15	1												1
		O 18	1												1
		O 26						1							1
		O 44										1			1
		O 78	1												1
		O111		1											1
		O119								1					1
		O126								1					1
		O166											1		1
		小計		3	1	0	0	1	4	2	0	0	3	0	1
<i>Campylobacter jejuni</i>		1	2	0	0	2	1	6	0	1	1	2	0	16	
<i>Salmonella</i> Virchow		0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5	
計		4	3	0	0	3	5	9	4	1	4	2	1	36	
検査検体数		39	32	59	48	42	56	48	45	42	25	38	50	524	

2 ウイルス検査状況

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた指定届出機関のうち、病原体定点はインフルエンザ定点 12 (内科 4、小児科 8)、小児科定点 8、基幹定点 6、眼科定点 2 の医療機関が設定されている。病原体検査対象疾患のうち、ウイルス性疾患はインフルエンザ定点のインフルエンザ、小児科定点では咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、麻疹、流行性耳下腺炎、眼科定点では流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、基幹定点では無菌性髄膜炎、成人麻疹である。これらの医療機関から、病原体検査要領に基づいて採取された検体について、ウイルス学的検査を実施した。

検査材料：2004 年 1 月から 12 月の間に採取された臨床材料について、ウイルス培養用には輸送培地として 0.2% ウシ血清アルブミン加 VIB 培地を必要に応じて用い、検体は検査に供するまでは - 80 で保存した。感染性胃腸炎患者便は、密閉容器に採取され搬入されたものを検体とし、検査に供するまでは - 30 で保存した。

検査方法：ウイルス培養には FL、RD-18 s、Vero 細胞を常用し、インフルエンザ流行期には MDCK 細胞を併用した。また、夏季の急性気道疾患患者検体の一部は、哺乳マウスによるウイルス分離を行った。感染性胃腸炎起因ウイルス検索には、電子顕微鏡法 (EM) および RT-PCR 法を実施した。EM で検出されたロタウイルスは、イムノクロマト法 (第一化学) および SDS-PAGE 法で群別し、アストロウイルスは ELISA 法による血清型別を行った。ノロウイルス (NV) 遺伝子の検出には、COGF/R プライマーと RINGTaqMan プロブを用いた、影山らのリアルタイム PCR 法を実施した。サポウイルス (SV) 遺伝子の検出は、岡田らの SV 系プライマー (1st SV-F1/R1、nested SV-F21/R2) を用いた nested PCR を行った。

(1) 病原体定点種類別検体数

2004 年に、病原体定点から受け付けた検体数は 1,334 件で、病原体定点種類別診断名別の受け付け状況を表 1 に示した。

インフルエンザ定点からの検体数は 58 件で、内科定点から 15 件、小児科定点から 43 件と約 74% が小児科定点からの検体であった。小児科定点対象疾患では感染性胃腸炎が最も多く 546、手足口病 23、ヘルパンギーナ 14、流行性耳下腺炎 11、咽頭結膜熱 12 件であった。眼科定点対象疾患では流行性角結膜炎 10 であった。基幹定点対象疾患では無菌性髄膜炎 12 であった。年間を通して検体採取のなかった医療機関はインフルエンザ定点 3、小児科定点 3、基幹定点 1、眼科定点 1 施設であった。これら以外に、SARS 疑い例 2 例の発生があり、行政対応として血液 4 件、咽頭ぬぐい液、便 (腸内容物) 喀痰の各 3 件について、LAMP 法による病原体検査を実施した (いずれも陰性)。

2004 年に流行のみられた疾患であるインフルエンザ、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナなどにおいて、それぞれの主要原因と推測されるウイルスを検出して特定することが可能であった。またその他の疾患でも、それぞれの検体からウイルスを検出して、患者情報の裏付けをすることができた。サーベイランスの対象疾患に該当しない診断名である下気道炎、上気道炎、熱性疾患 (不明熱) 不明発疹症などの検体数がかなりの比重を占めているが、これらの検体からもその年に流行しているウイルスが高率に検出されており、各種疾患の発生

動向をみる上で、貴重な病原体情報を得ることができた。採取検体数は概ね、一年間に流行する疾患の動向を捉えるのに必要なだけの採取協力が得られていると考えられたが、医療機関ごとに見ると検体数に差がみられており、県内の全地区から検体が採取されれば、対象とする疾患の地域的な流行が、より確実に把握できると期待される。

表1 定点医療機関からの臨床診断名別検体受付状況(2004年)

保健所名	種別	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	気管支喘息	急性脳炎	不明熱	不明発疹症	突発性発疹	その他	不明・記載なし	合計
四国中央	小児科					1	2													3
	基幹				1					3										4
新居浜	小児科	16	6	4	24	4	6	3			6	77				8	1	1		156
	基幹									2										2
西条中央	インフルエンザ	11	4																	15
今治中央	小児科	10		7	12	4	2	7				2								44
	眼科								10											10
	基幹																			0
松山中央	インフルエンザ																			0
	小児科																			0
	基幹																	1		1
大洲	インフルエンザ																			0
八幡浜中央	小児科			1		1														2
	基幹									4										4
宇和島中央	小児科																			0
	基幹									3				1				2		6
松山市	インフルエンザ																			0
	小児科	3	8		509	13	4	1			124	73	2		300	27	1	4	18	1087
	小児科																			0
	眼科																			0
合計		40	18	12	546	23	14	11	10	12	130	152	2	1	300	35	2	8	18	1334

(2) 気道感染症等由来検体からの検出

細胞培養による月別ウイルス検出状況を表2に、臨床診断名別ウイルス検出状況を表3に示した。951検体（定点外医療機関の検体154件も含む）の分離培養によって、360株のウイルスが検出された（検出率37.9%）。

インフルエンザウイルス：1月～3月および11・12月に検出され、A香港型（AH3）が1～3月に72株、11・12月にB型が4株分離された。本年の流行シーズン（2003/2004シーズン）はAH3のみによる小規模流行であった。AH3の検出は、インフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む）検体からが51株と大多数を占めたが、下気道炎、上気道炎、熱性疾患からも21株が検出された。分離株AH3の抗原性は、そのほとんどでHI抗体価が2003/2004シーズンのワクチン株（A/パナマ/2007/99）から3～4管差以上の抗原変異を示していた。年末に分離したB型4株は、2004/2005シーズンのワクチン株（B/上海/361/2002）の類似株であった。

RSウイルス：例年は、インフルエンザシーズンに相前後して分離されてきたが、冬季の1～4月に15株、9～12月に27株検出され、特に12月には15株が集中して分離された。夏季における検出は、昨年に続いて本年も6・7月にそれぞれ1株ずつみられた。抗原性の差により、

表2 細胞培養による月別ウイルス検出状況（2004年）

ウイルス型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
コクサッキーA群	2型		1				3		2	3				9
	4型				4	12	15	5						36
	9型							2						2
	16型							2	1	1	1			5
コクサッキーB群	1型					1	2	7	7		3	1		21
	2型		1	1			1							3
	5型						3	6	3	1				13
エコー	3型							2	4	6	2		1	15
	6型	2		1	1	2	1	3	7		1			18
	7型							5		2	4	1	1	13
ポリオ	1型					1						1	1	3
	3型					1				2				3
インフルエンザ	AH3	38	24	10										72
	B											3	1	4
パラインフルエンザ	2型									1				1
RS		5	5	1	4		1	1		1	3	8	15	44
ムンプス		1			1		2	2	2	1	2		5	16
ライノ	36型				1									1
	A群	2	3		1			2						8
ライノ様ウイルス					2	2	1	1	1					7
アデノ	1型	1	1		1	3	3	1				1	2	13
	2型	1		3	1	2	3		1					11
	3型	1		2	2	1		5	2					13
	5型	1	1	1		1	1			2				7
	37型								1					1
	NT	1												1
単純ヘルペス	1型	2		2			1	1	1		1	1	1	10
未同定							2		2		3	2	1	10
合計		55	36	21	16	26	40	45	34	21	20	18	28	360
検査数		96	83	86	68	72	95	95	74	69	68	69	76	951

A・B 2つのグループにタイピングしたところ、Aグループ 32 株、Bグループ 8 株(1月 3 株、2月 4 株、4月 1 株)、NT 4 株であった。

ムンプスウイルス：流行性耳下腺炎は、3～4 年の周期で流行が繰り返されており、本年は患者数の増加傾向がみられたため、原因ウイルスが昨年より多い 16 株分離された。これらのうち髄液からの検出は 4 例(無菌性髄膜炎(AM)の併発 2 例、急性脳症 1 例、不明熱 1 例)であった。

ライノ、パラインフルエンザ：1～9 月の間に、ライノウイルス 36 型 1 株、A 群 8 株、ライノ様ウイルス 7 株が、上・下気道炎、発疹症、不明熱等から検出された。パラインフルエンザウイルス 2 型が 9 月にクループ症候群から 1 株分離された。

表 3 臨床診断名別ウイルス検出状況 (2004 年)

ウイルス型		インフル エンザ	インフル エンザ 様 疾患	咽 頭 結 膜 熱	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	腸 重 積 症	下 気 道 炎	上 気 道 炎	不 明 熱	不 明 発 疹 症	急 性 脳 症	そ の 他	合 計
コクサッキーA群	2型					2					1	2	3	1			9
	4型		2			6					1	10	13	1		3	36
	9型													1		1	2
	16型				4									1			5
コクサッキーB群	1型					1			4			2	12			2	21
	2型												2			1	3
	5型				1	1			2	1		4	2	1		1	13
エコー	3型			1						2		5	7				15
	6型	1							1		1	3	10			2	18
	7型					1	1		6		1	3		1			13
ポリオ	1型				1						1			1			3
	3型													2		1	3
インフルエンザ	AH3	44	7								2	9	10				72
	B	1										3					4
パラインフルエンザ	2型															1	1
RS			1								18	8	17				44
ムンプス							5		2				7		1	1	16
ライノ	36型													1			1
	A群										1	2	3			2	8
ライノ様ウイルス												3	2	2			7
アデノ	1型									2	3	2	5			1	13
	2型			1						1		3	6				11
	3型			6			1		1	1	2	1			1		13
	5型										1		6				7
	37型							1									1
	NT										1						1
単純ヘルペス	1型					1		1		1		4	1		2	10	
未同定				2	1				1	1	2		2		1		10
合計		46	8	10	8	13	6	3	15	8	34	63	114	11	1	20	360

エンテロウイルス：エンテロウイルスは、毎年夏季を中心として流行が見られ、小児における急性気道疾患の重要な原因ウイルスとなっている。

ヘルパンギーナからは、コクサッキーウイルス A4 型 (CA4) が、6~7月の間に 6 株、CA2 が 8 月に 2 株分離され、本年のヘルパンギーナは CA4 を主流として、CA2 との混合流行であったと考えられた。ヘルパンギーナ以外の熱性疾患、上気道炎等からも 4~7 月にかけて CA4 が 30 株、2~9 月に CA2 が 9 株、CA9 が 7 月に 2 株分離されており、この時期に CA4 を主流とした CA 群の流行が認められた。

手足口病の起因ウイルスである CA16 型は、7~10 月の間に 5 株 (手足口病から 4 株、不明発疹症から 1 株) 分離された。このうち手足口病の 1 株は、水疱内容物からの検出であったことから、CA16 が本年の流行の主原因ウイルスであったと推測された。本年の手足口病の流行は小規模に止まったため、ウイルス分離株数も少数であった。

その他のエンテロウイルスは、主として夏季における気道感染症、熱性疾患から CB1 型 21 株、CB2 型 3 株、CB5 型 13 株が、エコーウイルス (E) は 42 株 (3 型 15、6 型 18、7 型 13 株) 検出された。これらのうち AM から検出されたのは、CB1 型 4 株、CB5 型 2 株、E6 型 1 株、E7 型 6 株で、本年の AM 流行は多種類のウイルスが原因であったことがうかがえた。流行性耳下腺炎から E7 が検出された 1 症例は、ムンプスウイルスとの重感染例であった。ポリオウイルスは、ポリオ生ワクチン接種時期の 5 月と 9 月にそれぞれ 2 株 (1 型 1 株、3 型 3 株) 分離されたが、いずれもワクチン接種者検体からの検出であった。また、ワクチン接種者との接触者からの検出 (11・12 月) が 2 例みられた。

アデノウイルス (Ad) : Ad で多く検出されたのは 1 型 13 株、2 型 11 株、3 型 13 株で年間を通して分離されたが、咽頭結膜熱患者数の増加時期に相応して、第 29~35 週の間は Ad3 型のみが検出されており、この疾患の流行の主要因と考えられた。Ad は、概して気道感染症や熱性疾患からの検出が多く、血清型も様々であったが、特徴的な診断名別の検出として、咽頭結膜熱から Ad3 型 6 株、流行性角結膜炎から Ad37 型 1 株、腸重積から Ad1 型 2 株、2 型 1 株、3 型 1 株が分離された。

ヒト単純ヘルペス - 1 型 (HSV-1) : 年間を通して、主に熱性疾患から 10 株が検出された。

検体種類別ウイルス検出数: 臨床検体 951 件の検体種類別のウイルス検出数を表 4 に示した。呼吸器からの検体が最も多く、咽頭ぬぐい液 767 件、鼻汁 67 件、鼻腔ぬぐい液 (対象をインフルエンザのみとした) 9 件、気管吸引液等 1 件であった。これらの検体から検出されたウイルスはそれぞれ、280 株 (検出率 36.5%)、38 株 (56.7%)、9 株 (100%) で、気管吸引液等からは分離されなかった。インフルエンザ、RS ウイルスは、鼻汁から高率に検出されており、これらのウイルスを検出するためには、鼻汁がより適していると考えられた。

髄液を採取された症例は、AM27、脳炎 4、脳症 2、痙攣重積 4、不明熱 5、その他 2 例、計 45 例で、検出されたウイルスはムンプス 4 株、CB1 型 2 株、CB5 型 2 株、E6 型 1 株、E7 型 2 株であったが、髄液からのウイルス分離率は、他の検体に比較して低率であった。AM 患者からの検体採取にあたっては、髄液のみでなく他の検体も同時に採取し、検査する必要があると考えられた。ムンプスウイルスを検出した 4 症例は 4 歳が 2 例、7 歳、8 歳各 1 例であった。

皮膚病巣（水疱内容物）は、手足口病患者から採取された1検体のみであったが、起因ウイルスCA16型が検出された。病巣からのウイルス検出率は高く、直接診断に結びつく点でも非常に有用な検体である。

眼科検体では、結膜擦過物10検体中Adが2株、HSV-1が1株検出されたが、眼脂1検体からは分離されなかった。尿7例からも、ウイルスは分離されなかった。

表4 臨床材料別ウイルス検出数（2004年）

臨床材料別	咽頭ぬぐい液 (うがい液)	咽頭ぬぐい液 (鼻汁)	鼻腔ぬぐい液	気管吸引液 喀痰	髄液	便 (直腸ぬぐい液)	皮膚病巣 (水疱内容物)	結膜ぬぐい液 (結膜擦過物)	結膜ぬぐい液 (眼脂)	尿	合計
検体数	767	67	9	1	45	43	1	10	1	7	951
検出数	280	38	9	0	11	17	1	3	1	0	360
検出率(%)	36.5	56.7	100.0	0.0	24.4	39.5	100.0	33.3	100.0	0.0	37.9
コクサッキーA	2型	9									9
	4型	35							1		36
	9型	2									2
	16型	4					1				5
コクサッキーB	1型	16			2	3					21
	2型	2	1								3
	5型	9			2	2					13
エコー	3型	13				2					15
	6型	16			1	1					18
	7型	9			2	2					13
ポリオ	1型	2	1								3
	3型	3									3
インフルエンザ	AH3	33	30	9							72
	B	3	1								4
バラインフルエンザ	2型	1									1
R S		39	5								44
ムンプス		12			4						16
ライノ	36型	1									1
	A群	8									8
ライノ様ウイルス		7									7
アデノ	1型	11				2					13
	2型	10				1					11
	3型	10				2		1			13
	5型	7									7
	37型							1			1
	NT	1									1
単純ヘルペス	1型	9					1				10
未同定		8				2					10

週別ウイルス検出数：2004年に、流行の見られた疾患からの、週別ウイルス検出数を図1と図2に示した。図1には、2003/2004シーズンのインフルエンザ患者数と、ウイルス検出数の推移を週別に示した。患者数の増減とウイルス検出数はよく連動して推移しており、本シーズンはA香港型のみでの流行であった。ウイルスは、患者数が増加傾向を示した第3週から、ほぼ流行の終息した14週までに72株が検出された。

図2は手足口病、ヘルパンギーナ、AM等の起因ウイルスとなった各種エンテロウイルス、および咽頭結膜熱を含む気道疾患等から検出されたウイルスの、週別検出数を示した。それぞれの患者数の増加に伴って、対応するウイルスが検出された。ヘルパンギーナ流行における、大きい患者ピークの形成の主原因はCA4であったが、流行の終わり頃(第34~40週)の患者数の微増には、CA2が関与したことが推測できた。手足口病は、冬季に入っても患者発生が遷延してみられたが、それに伴ってCA16も42週まで検出された。

CB群およびEは、夏季~秋季にかけて多くの気道疾患、熱性疾患の病因ウイルスとして検出されたが、AM患者数の増加した時期(第31~42週)には、AMの起因ウイルスとして髄液からCB1、CB5、E6、E7が検出された。

ムンプスは、例年より多い16株が年間を通して検出されたが、患者数が6月下旬以降ほぼ一定で推移し、その報告数が昨年の約4倍に昇ったことが背景となっている。冬季に流行するRSウイルスは、インフルエンザウイルスと競合する年始時期の検出数は少なく、45週以降には多数検出された。RSウイルスの2つの抗原グループA・Bのうち、1・2月はBが主流、11・12月はAが主流株であった。

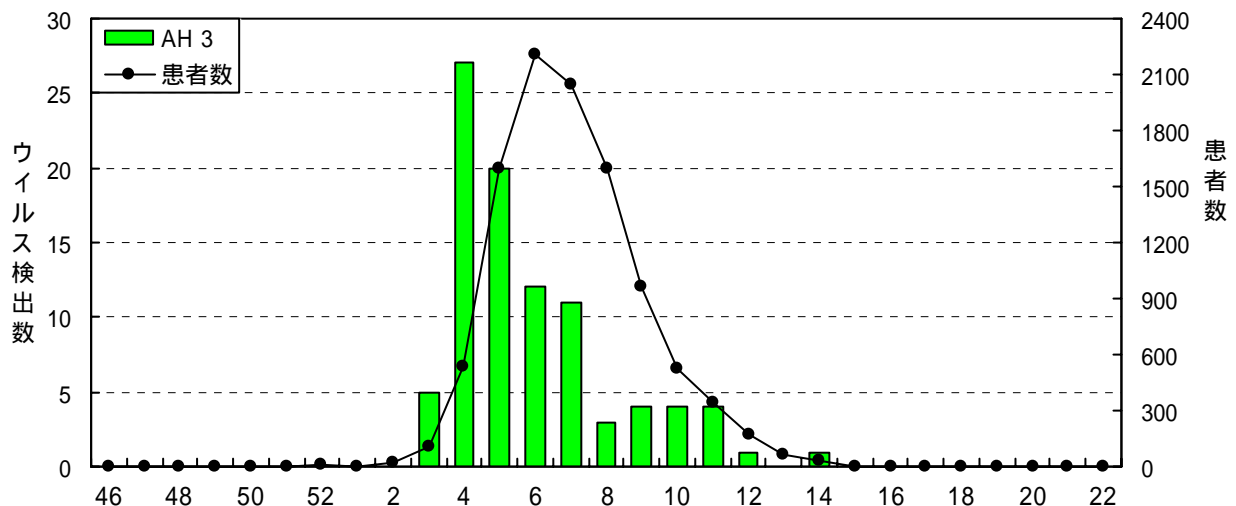


図1 週別の患者発生数とインフルエンザウイルス検出数の推移 (2003/2004シーズン)

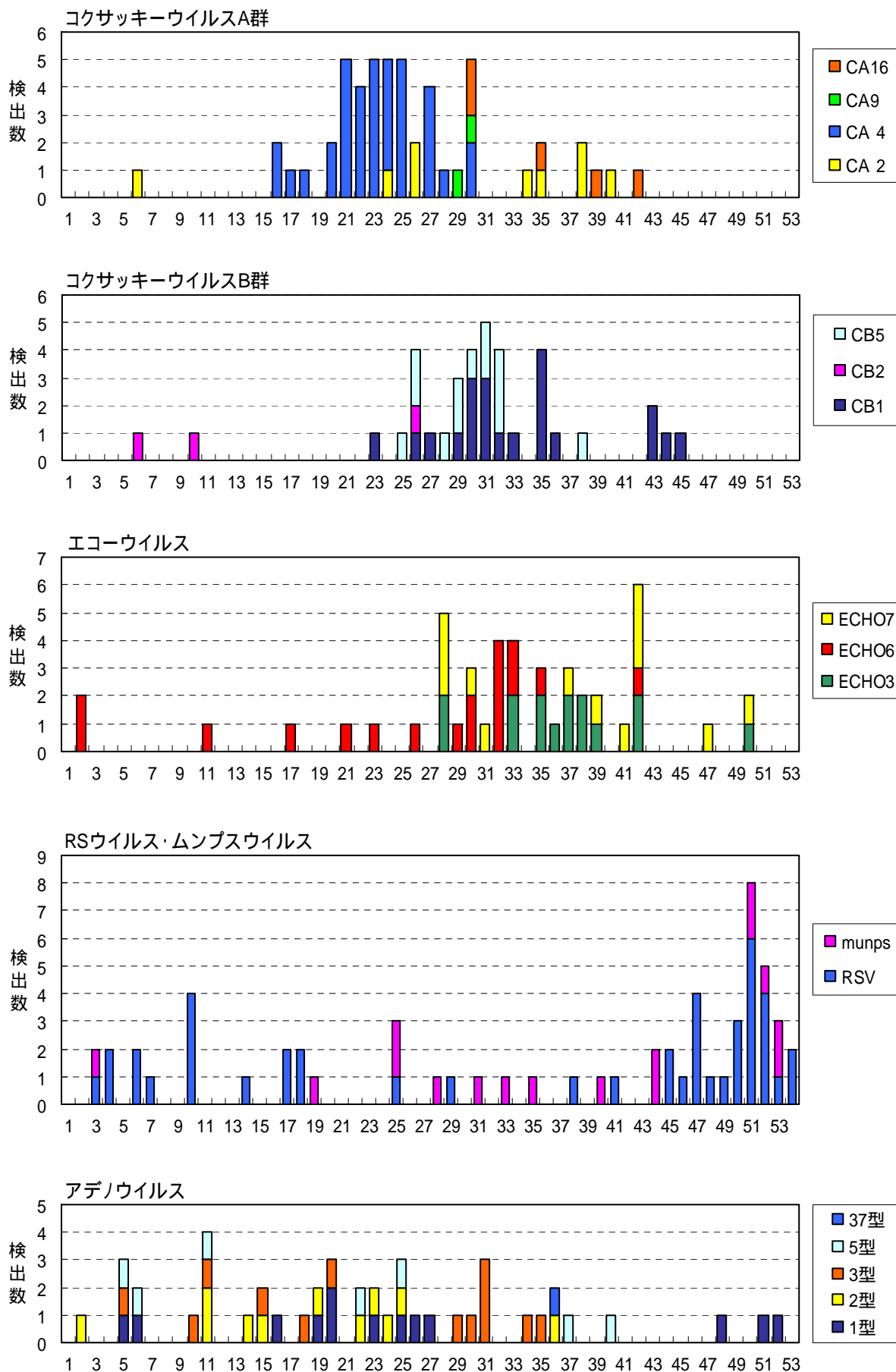


図2 週別ウイルス検出数

年齢別ウイルス検出数：インフルエンザウイルスの年齢別検出数を表5に示した。AH3の検出72株のうち、4歳以下の乳幼児が最も多く36.1%を占め、次いで10～14歳22.2%、5～9歳19.4%の順であった。20歳以上の検出数は、15.3%であった。

表6にはエンテロウイルス(CA、CB、E)およびRSウイルスの年齢別検出数を示した。ヘルパンギーナの主要原因であったCA4の検出は、1～4歳で約83%を占めたものの、乳児から9歳の学童期までの比較的広い年齢層で見られ、CA2は4歳以下、CA9は5～9歳にみられた。CBおよびEの検出は2歳以下が大半であったが、3～9歳にもみられた。これらのウイルスによる、AM発症8例のうちCB1の3例、CB5の2例、E7の2例は、全て1歳未満児であり、E6の1例のみが6歳児であった。手足口病の起因ウイルスCA16の5株は、4歳以下で検出された。RSウイルス44株では、1歳未満が27%、1～2歳が57%と2歳以下が約84%を占めていた。乳児および若年幼児層における、気道感染症の要因としてインフルエンザを含め、エンテロウイルス、RSウイルスの重要性が示された。

表5 インフルエンザウイルスの年齢別検出数(2004年)

年齢区分	A香港型				B型			
	検出数	インフルエンザ	下気道炎	上気道炎	熱性疾患	検出数	インフルエンザ	上気道炎
0～4	26	13	2	3	8	2		2
5～9	14	12		2		2	1	1
10～14	16	11		3	2			
15～19	5	5						
20～29	1	1						
30～39	2	1		1				
40	8	8						
合計	72	51	2	9	10	4	1	3

表6 エンテロウイルス等の年齢別検出数(2004年)

年齢区分	コクサッキーウイルス						エコーウイルス			RSウイルス	
	CA2	CA4	CA9	CA16	CB1	CB2	CB5	ECHO3	ECHO6		ECHO7
<1	2	2		1	5(6)	1	4	3	3	5(9)	12
1～2	3	23		3	8	1	6	6	6	3	25
3～4	4	7		1	4			4	3	1	5
5～6		2	1		2	1		2	4		1
7～9		2	1		1		3		1		
10～19											1
20									1		
合計	9	36	2	5	20(21)	3	13	15	18	9(13)	44

()は検出株数

(3) 感染性胃腸炎からの検出

表7と図3に、感染性胃腸炎患者552例から、EMおよびPCRで検出したウイルス253例(検出率45.8%)の月別検出数を、図4には検出された各ウイルスの月別検出率を、図5には検出ウイルスの年齢分布を、それぞれに示した。

感染性胃腸炎からのウイルス検出状況：本年の検出ウイルス数は、NVが144例(G1-11、G2-133)と検出割合が最も多く(56.9%)、ついで、ロタの56例(A群55、NT1)(22.1%)、SVの27例(17.1%)、アデノ15例(5.9%)、アストロ11例(4.4%)であった。本年は、NVの検出数が昨年より大幅に増加したが、ロタ、SV、アデノ、アストロは前年なみの検出であった。図3・図4の胃腸炎からの月別ウイルス検出数・検出率の増減は、感染性胃腸炎患者数の増減とよく一致しており、検出されたこれらのウイルスが、冬季を中心とする感染性胃腸炎患者多発の要因となったことが明らかであった。

NVは、1～7月および11・12月に多く検出されており、8月を除いた夏季も含めて長期に渡って感染性胃腸炎の主要原因ウイルスであった。ロタは1～5月に検出され、特に2～4月が多かった。SVは、2～6月および冬季の11・12月に検出された。アストロは1月、7月に各1例、5月には9例が集中して検出された。アストロの血清型別は1型7、5型2、NT2例であった。アデノは4・5・7月に多かったものの、ほぼ年間を通して検出された。図4にみられるように、検出ウイルスはそれぞれの消長パターンを示しながら流行しており、それらが重なったために多種類のウイルスが同時に流行した結果、患者数増大に繋がった。また、5月中旬から7月中旬にかけて患者数の減少が停滞し、微増傾向をみせた要因は、NVの長期間に渡る流行とSV、アストロの流行が重なったことによると考えられた。各月の胃腸炎起因ウイルス検出率は、1月65.0、2月78.9、3月73.8、4月56.6、5月86.0、12月73.7%と非常に高率を示した。

表7 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出状況 (2004)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
NV G1	1	4		1					1		1	3	11
NV G2	21	13	15	5	16	17	6			1	5	34	133
SV		4	5	4	8	3					1	2	27
ロタ A	3	8	27	16	1								55
ロタ NT					1								1
アデノ		1	1	4	2		3				1	3	15
アストロ	1				9		1						11
検出数	26	30	48	30	37	20	10		1	1	8	42	253
検査数	40	38	65	53	43	53	51	46	37	27	42	57	552
検出率(%)	65.0	78.9	73.8	56.6	86.0	37.7	19.6		2.7	3.7	19.0	73.7	45.8

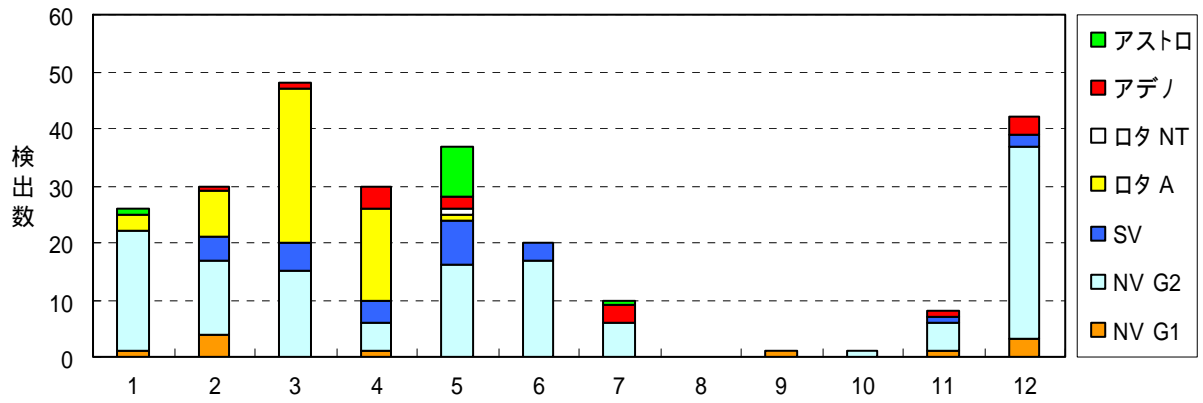


図3 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出数

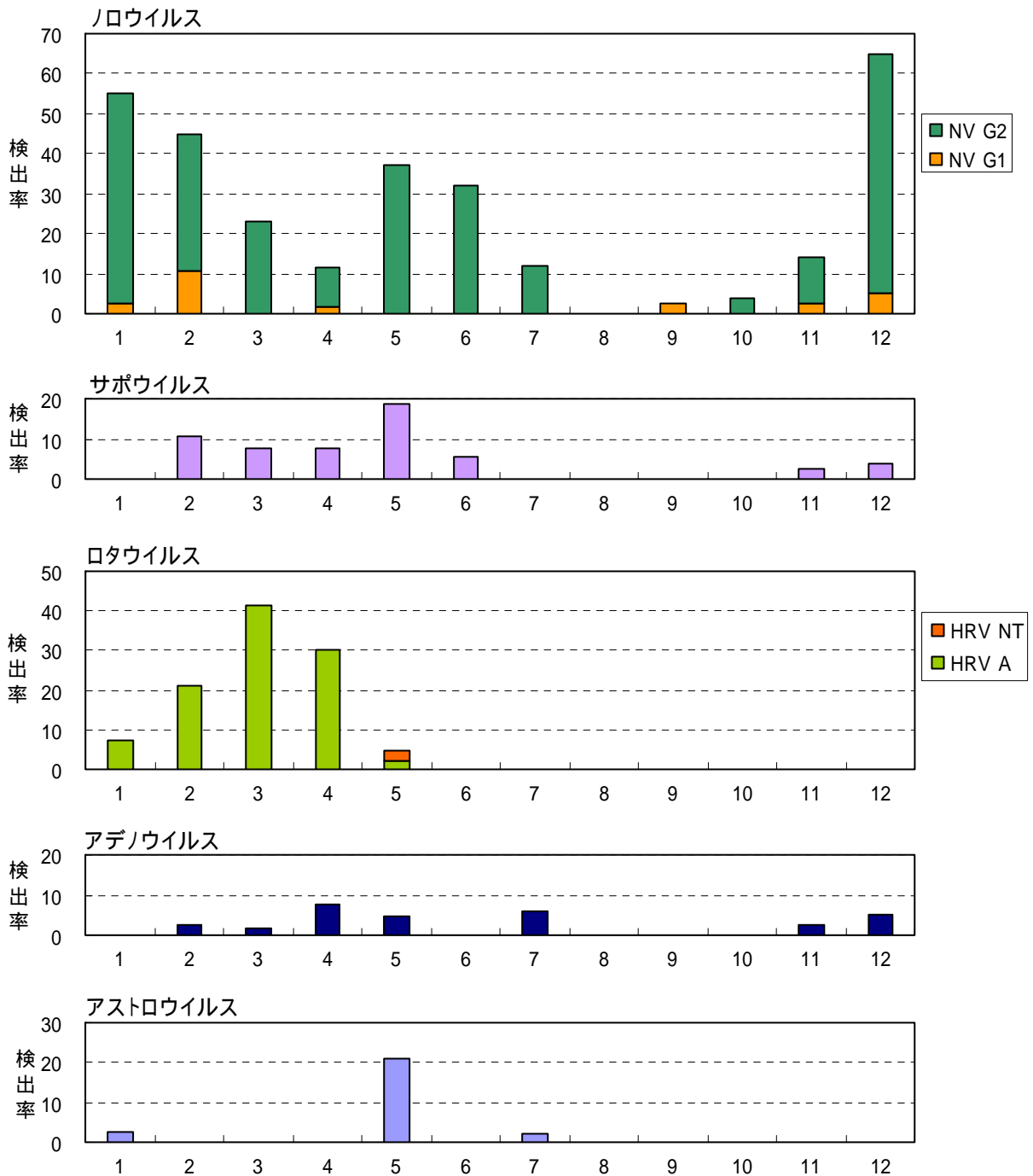


図4 感染性胃腸炎起因ウイルスの月別検出率 (2004)

胃腸炎起因ウイルス年齢別分布：図 5 に検出ウイルスの年齢別検出割合を示した。NV は、乳児を含む低年齢幼児から 10 歳以上の学童期児童までの、幅広い年齢層に満遍なく感染していることがうかがえた。SV は乳児での感染割合が最も多く、5 歳以上の高年齢幼児や学童期児童の占める割合は、ロタと同様に少なかった。アストロは 7 歳以上の学童期児童の割合が最も大きかった。SV、アデノ、アストロでは約 6 割が 2 歳以下の乳幼児で占められ、特にロタ A は 2 歳以下の乳幼児の感染が約 70% を占めていた。これらのウイルスは、いずれも乳幼児から学童期児童にいたる広汎な年齢層の、主要な胃腸炎起因ウイルスであった。

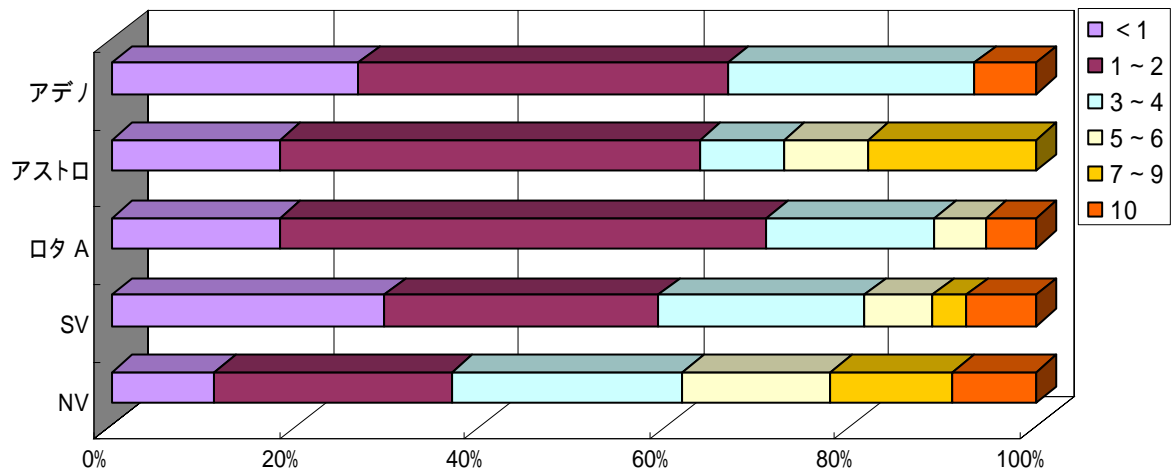


図 5 感染性胃腸炎起因ウイルス年齢別検出割合

2004 年（平成 16 年）結核発生動向調査結果
- 速報値 -

2004年(平成16年)結核発生動向調査結果(速報値)

1 概況

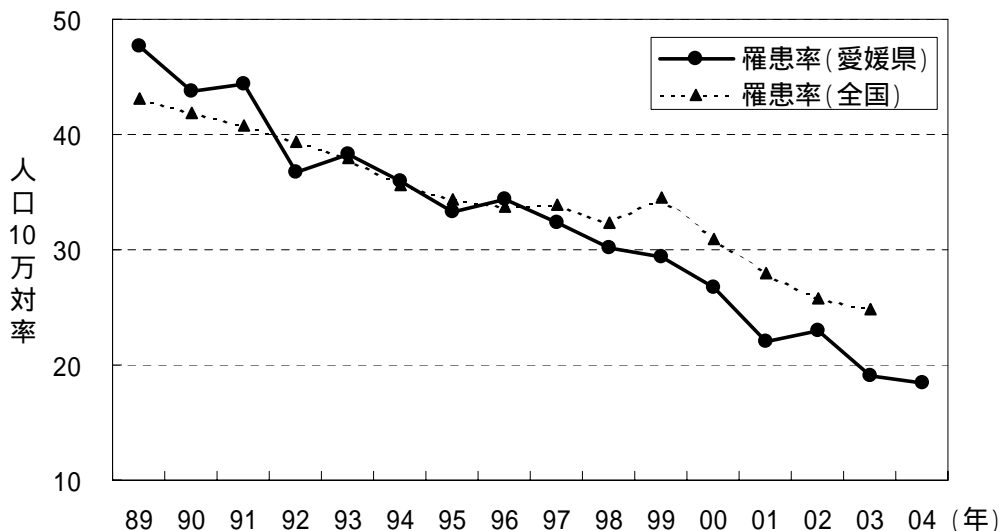
2004年の結核新登録患者及び罹患率(人口10万対率)は前年に比べて減少した。愛媛県内の結核患者は全国と比べて高齢者の占める割合が高く、感染の危険が高い塗抹陽性患者も70歳以上の高齢者の占める割合が6割を超えている。保健所別では、中予地区及び八幡浜・大洲地区での罹患率が高かった。

2 新登録患者の状況

新登録患者数及び罹患率の動向

2004年に新たに結核患者として登録された患者数(新登録患者数)は271人で、前年より12人の減少となった。2004年の結核罹患率(人口10万人あたりの新登録患者数)は18.4で、2003年の19.1から3.7%減少したが、2003年の減少率(17.0%)と比較すると小幅の減少に留まった。全国では「結核緊急事態宣言」が出された1999年以後罹患率は順調に減少していたが、近年その減少傾向に鈍化が見られており、愛媛県においても今後の動向が注目される。

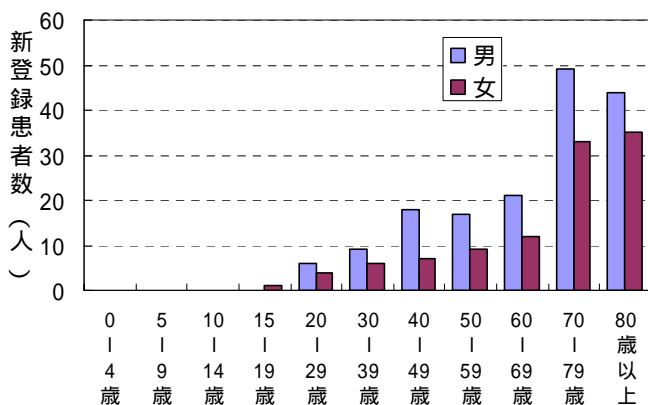
結核罹患率の推移



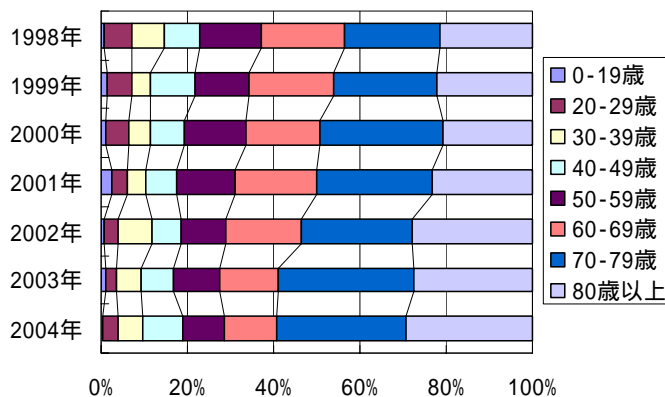
性・年齢階級別

2004年の新登録患者数を性・年齢階級別に見ると、全年齢では男性(164人)が女性(107人)よりも1.5倍多く、40歳代で最大2.6倍であった。新登録患者の年齢構成の推移をみると、70歳以上の高齢者が占める割合が年々増加しており、2004年は70歳以上が新登録患者全体の59.4%(161人)を占めた。

新登録患者 性・年齢階級別



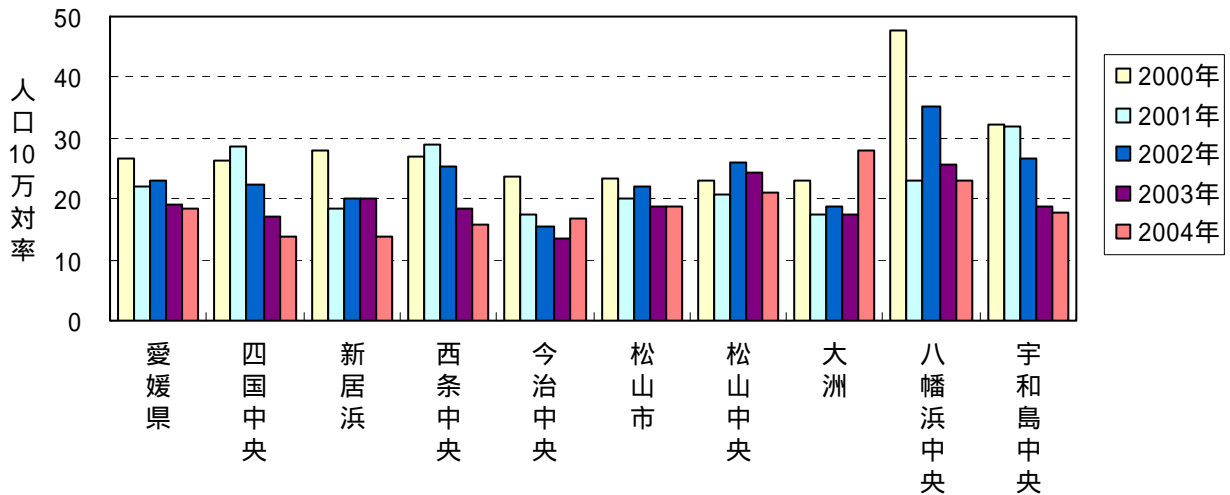
新登録患者 年齢構成の推移



保健所別

保健所別の罹患率を比較すると、2004年の県全体の罹患率(18.4)を上回ったのは、大洲保健所(27.9)八幡浜中央保健所(23.0)松山中央保健所(21.0)松山市保健所(18.6)の4保健所であり、中予地区及び八幡浜・大洲地区で高かった。2003年と比較して罹患率の増加が見られたのは大洲保健所(+59.4%)及び今治中央保健所(+25.4%)横ばいが松山市保健所であり、その他の保健所ではいずれも減少していた。減少率の大きな保健所は、新居浜保健所(-31.5%)、四国中央保健所(-18.7%)であった。

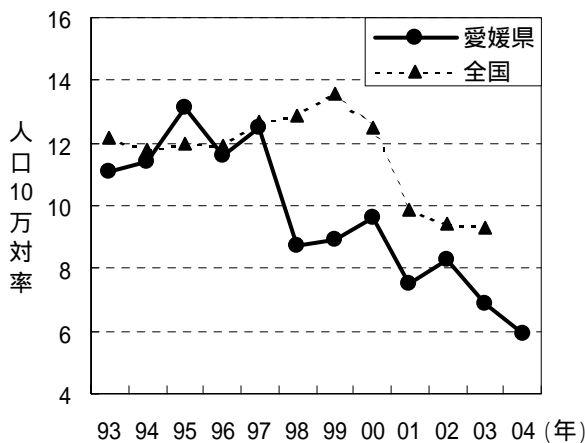
新登録患者 保健所別罹患率の推移



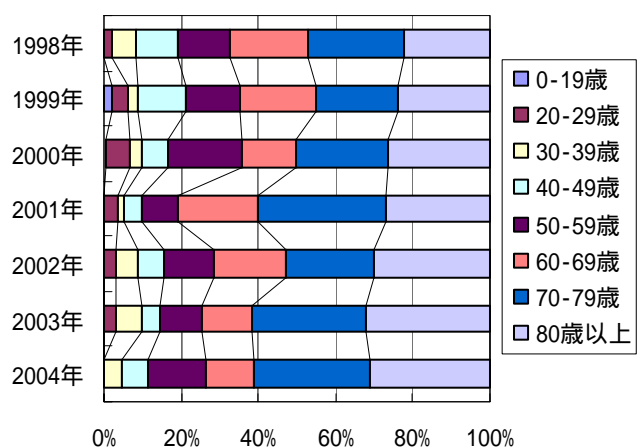
喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向

新登録患者のうち、排菌により感染の危険の高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数(罹患率)は2004年87人(5.9)で、前年の102人(6.9)から14.5%の低下であった。新登録塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移をみると、増減を繰り返しながら概ね減少傾向にある。しかし、新登録塗抹陽性肺結核患者の年齢構成は高齢者の割合が増加する傾向にあり、2004年における70歳以上の占める割合は60.9%に上っている。高齢者の排菌患者は、診断の遅れや治療の困難等の課題が多く、院内感染や他の年齢層への感染源としても重要である。

喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の推移



新登録塗抹陽性肺結核患者 年齢構成の推移



3 年末現在結核登録者の状況

2004 年末の愛媛県における結核登録患者数は 582 人で、前年より 108 人の減少であった。結核登録率（人口 10 万人あたりの年末現在結核登録者）は 39.4 で、2003 年の 46.6 から 15.5%減少した。

また、年末現在の活動性結核患者数（年末時点で結核の治療を受けている、あるいは治療の必要がある患者数）は 246 人で、前年より 18 人の減少であった。有病率（人口 10 万人あたりの年末現在活動性結核患者数）は 16.7 となり、2003 年の 17.8 から 6.2%減少した。

登録率及び有病率の推移をみると、1997 年以前は県内の人口 10 万対率が全国を上回っていたが、いずれも全国より減少率が大きく、1998 年に全国並みの数値となった。その後は県内の減少率に鈍化が見られ、全国と同様の推移を示している。

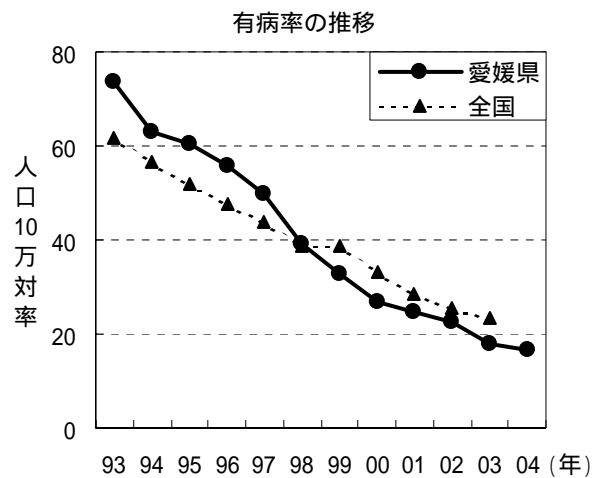
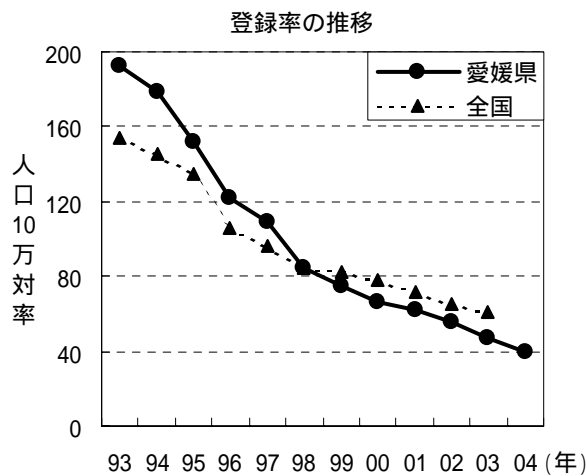


表 4-1 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、保健所別 (速報値)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初*	(別掲) 非定型 抗酸菌 陽性
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他		治療中	治療中
			総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
四国中央	13	9	3	3		1	5	4		10
新居浜	17	11	5	4	1	1	5	6		1
西条中央	18	15	6	5	1	3	6	3		7
今治中央	31	22	6	5	1	9	7	9	2	6
松山市	89	59	30	27	3	16	13	30	2	12
松山中央	37	28	16	16		2	10	9	6	6
大洲	19	13	5	5		5	3	6		
八幡浜中央	23	13	6	6		3	4	10		2
宇和島中央	24	19	10	10		7	2	5	8	8

* マル初: 結核の感染が強く疑われ、発病予防のための治療(予防内服)を受けているもの。

表 4-2 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、性、年齢階級別 (速報値)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初	(別掲) 非定型 抗酸菌 陽性
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他		治療中	治療中
			総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
男	164	114	60	56	4	28	26	50	7	16
女	107	75	27	25	2	19	29	32	11	36
0-4歳									7	
男									3	
女									4	
5-9歳									3	
男									2	
女									1	
10-14歳									1	
男									1	
女										
15-19歳	1	1					1		4	
男									1	
女	1	1					1		3	
20-29歳	10	7				1	6	3	3	1
男	6	3					3	3		1
女	4	4				1	3		3	
30-39歳	15	12	4	3	1	4	4	3	-	3
男	9	8	4	3	1	2	2	1		2
女	6	4				2	2	2		1
40-49歳	25	16	6	6		4	6	9	-	3
男	18	11	5	5		3	3	7		
女	7	5	1	1		1	3	2		3
50-59歳	26	22	13	12	1	5	4	4	-	2
男	17	15	11	11		2	2	2		
女	9	7	2	1	1	3	2	2		2
60-69歳	33	21	11	9	2	6	4	12	-	15
男	21	15	9	7	2	3	3	6		4
女	12	6	2	2		3	1	6		11
70-79歳	82	58	26	25	1	15	17	24	-	18
男	49	34	16	15	1	9	9	15		6
女	33	24	10	10		6	8	9		12
80歳以上	79	52	27	26	1	12	13	27	-	10
男	44	28	15	15		9	4	16		3
女	35	24	12	11	1	3	9	11		7

表 4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	271	18.4	283	19.1	341	23.0	329	22.1	399	26.7	439	29.3
四国中央	13	13.9	16	17.1	21	22.3	27	28.7	25	26.4	22	23.1
新居浜	17	13.7	25	20.0	25	20.0	23	18.3	35	27.9	38	30.1
西条中央	18	15.8	21	18.4	29	25.4	33	28.8	31	27.1	37	32.2
今治中央	31	16.8	25	13.4	29	15.5	33	17.5	45	23.8	37	19.4
松山市	89	18.6	89	18.6	105	22.0	95	20.0	110	23.2	133	28.3
松山中央	37	21.0	43	24.3	46	25.9	37	20.8	41	23.0	56	31.4
大洲	19	27.9	12	17.5	13	18.8	12	17.3	16	22.9	26	37.1
八幡浜中央	23	23.0	26	25.7	36	35.1	24	23.1	50	47.6	33	31.0
宇和島中央	24	17.6	26	18.8	37	26.5	45	31.8	46	32.2	57	39.3

表 4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4			2	0.7			4	1.2			1	0.2
5-9												
10-14							2	0.6	1	0.3		
15-19	1	0.4	1	0.4	2	0.6	2	0.6	3	0.8	5	1.1
20-29	10	3.7	7	2.5	12	3.5	12	3.6	21	5.3	26	5.9
30-39	15	5.5	16	5.7	26	7.6	14	4.3	20	5.0	18	4.1
40-49	25	9.2	21	7.4	23	6.7	24	7.3	32	8.0	46	10.5
50-59	26	9.6	31	11.0	36	10.6	44	13.4	57	14.3	55	12.5
60-69	33	12.2	38	13.4	59	17.3	63	19.1	68	17.0	86	19.6
70-79	82	30.3	89	31.4	88	25.8	88	26.7	114	28.6	105	23.9
80-	79	29.2	78	27.6	95	27.9	76	23.1	83	20.8	97	22.1

表 4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	87	5.9	102	6.9	123	8.3	111	7.5	143	9.6	133	8.9
四国中央	3	3.2	6	6.4	4	4.2	7	7.4	7	7.4	5	5.3
新居浜	5	4.0	6	4.8	13	10.4	5	4.0	14	11.1	12	9.6
西条中央	6	5.3	9	7.9	10	8.7	5	4.4	7	6.1	4	3.5
今治中央	6	3.2	13	7.0	12	6.4	10	5.3	14	7.4	10	5.3
松山市	30	6.3	29	6.1	33	6.9	35	7.4	42	8.9	41	8.7
松山中央	16	9.1	12	6.8	19	10.7	15	8.4	12	6.7	18	10.1
大洲	5	7.3	5	7.3	5	7.2	6	8.6	9	12.8	8	11.5
八幡浜中央	6	6.0	10	9.9	12	11.7	7	6.7	18	16.9	12	11.4
宇和島中央	10	7.3	12	8.7	15	10.7	21	14.8	20	13.8	23	16.1

表 4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4												
5-9												
10-14												
15-19									1	0.7	3	2.3
20-29			3	2.9	4	3.3	4	3.6	9	6.3	5	3.8
30-39	4	4.6	7	6.9	7	5.7	2	1.8	4	2.8	4	3.0
40-49	6	6.9	5	4.9	8	6.5	5	4.5	10	7.0	16	12.0
50-59	13	14.9	11	10.8	16	13.0	10	9.0	27	18.9	19	14.3
60-69	11	12.6	13	12.7	23	18.7	23	20.7	20	14.0	26	19.5
70-79	26	29.9	30	29.4	28	22.8	37	33.3	34	23.8	28	21.1
80-	27	31.0	33	32.4	37	30.1	30	27.0	38	26.6	32	24.1

表 4-7 2004年 新登録患者数 - 登録時結核病類、性、年齢階級別

	新登録患者数	肺結核	肺外結核										
			結核性胸膜炎	肺門リンパ節結核	結核性髄膜炎	腸結核	脊椎結核	椎核	他の骨・関節結核	尿路結核	生殖器結核	他のリンパ節結核	その他の臓器の結核
愛媛県 総数	271	192	59	1	4	2	4	1	1	1	14	3	4
男	164	116	45	1	2	1	2		1		4	2	2
女	107	76	14		2	1	2	1		1	10	1	2
0-4歳													
男													
女													
5-9歳													
男													
女													
10-14歳													
男													
女													
15-19歳	1	1											
男	1	1											
女													
20-29歳	10	7		1							1		1
男	6	3		1							1		1
女	4	4											
30-39歳	15	13	1		1								
男	9	8	1										
女	6	5			1								
40-49歳	25	16	9								2		
男	18	11	7								2		
女	7	5	2										
50-59歳	26	22	2		1		2				1		
男	17	15	1		1		1						
女	9	7	1				1				1		
60-69歳	33	21	6			1	1				5		
男	21	15	4			1	1				1		
女	12	6	2								4		
70-79歳	82	60	19					1		1	4	1	2
男	49	36	17										1
女	33	24	2					1		1	4	1	1
80歳以上	79	52	22		2	1	1		1		1	2	1
男	44	28	15		1					1		2	
女	35	24	7		1	1	1				1		1

注：結核病類は重複あり

表 4-8 2004年 新登録肺結核患者数 - 登録時職業、菌情報、保健所別

	総数		接客業等		保健関係		教員・医師		小中学生		高大学生		他職業		不明	
	喀痰塗抹陽性	その他	喀痰塗抹陽性	その他	喀痰塗抹陽性	その他	喀痰塗抹陽性	その他	喀痰塗抹陽性	その他	喀痰塗抹陽性	その他	喀痰塗抹陽性	その他	喀痰塗抹陽性	その他
愛媛県 総数	87	102	1	2	1	2		1				2	85	95		
四国中央	3	6		1									3	5		
新居浜	5	6											5	6		
西条中央	6	9											6	9		
今治中央	6	16				1						1	6	14		
松山市	30	29		1	1	1		1				1	29	25		
松山中央	16	12	1										15	12		
大洲	5	8											5	8		
八幡浜中央	6	7											6	7		
宇和島中央	10	9											10	9		

表 4-9 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見方法別

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初 治療中	(別掲) 非 定 型 抗 酸 菌 陽 性 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
			総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
健康診断	23	23	6	6		6	11		16	5
個別検診	5	5	2	2		1	2			
集団検診(定期)	18	18	4	4		5	9		2	5
学校検診	2	2					2			
住民検診	3	3					3		2	3
職場検診	11	11	3	3		4	4			2
施設検診	2	2	1	1		1				
集団検診(定期外)									13	
業態者検診									1	
家族検診									7	
その他									5	
集団検診(その他)									1	
医療機関受診 その他 不明	248	166	81	75	6	41	44	82	2	47

表 4-10 2004年 新登録有症状肺結核患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見の遅れの期間別

	肺 結 核 活 動 性					
	総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他
		総 数	初 回 治 療	再 治 療		
発病～初診の期間						
総数	99	60	56	4	16	23
1月未満	69	42	40	2	11	16
1月以上2月未満	12	7	7		1	4
2月以上3月未満	7	5	4	1	1	1
3月以上6月未満	6	4	3	1	2	
6月以上	2	2	2			
不明・該当せず	3				1	2
初診～登録の期間						
総数	99	60	56	4	16	23
1月未満	74	49	45	4	9	16
1月以上2月未満	16	7	7		4	5
2月以上3月未満	4	2	2		2	
3月以上6月未満	4	2	2		1	1
6月以上	1					1
不明・該当せず						
発病～登録の期間						
総数	99	60	56	4	16	23
1月未満	42	27	25	2	4	11
1月以上2月未満	23	13	13		5	5
2月以上3月未満	13	9	9		2	2
3月以上6月未満	15	9	7	2	4	2
6月以上	3	2	2			1
不明・該当せず	3				1	2

表 4-11 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、化療内容、保健所別(その1)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初 治療中	(別掲) 非定型 抗酸菌 陽性 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性								
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他	肺 外 核 活 動 性		
			総 数	初 回 治 療	再 治 療					
総数										
総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	97	74	43	39	4	19	12	23		8
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	139	96	37	35	2	25	34	43		11
INH,RFPの2剤併用	9	2					2	7		
その他の2剤併用										11
その他の3剤以上併用	1	1				1				13
INH単独									18	
不明・化療なし	25	16	7	7		2	7	9		9
松山市										
総数	89	59	30	27	3	16	13	30	2	12
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	44	32	20	19	1	8	4	12		2
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	39	24	10	8	2	7	7	15		4
INH,RFPの2剤併用	2	1					1	1		
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用	1	1				1				4
INH単独									2	
不明・化療なし	3	1					1	2		
四国中央										
総数	13	9	3	3		1	5	4		10
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用										1
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	1	1					1			
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし	12	8	3	3		1	4	4		9
新居浜										
総数	17	11	5	4	1	1	5	6		1
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	4	3	2	1	1	1		1		
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	10	6	1	1			5	4		
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										1
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし	3	2	2	2				1		
西条中央										
総数	18	15	6	5	1	3	6	3		7
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	8	7	3	2	1	2	2	1		3
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	10	8	3	3		1	4	2		
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用										2
INH単独										
不明・化療なし										
今治中央										
総数	31	22	6	5	1	9	7	9	2	6
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	12	10	2	1	1	4	4	2		1
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	13	10	4	4		4	2	3		3
INH,RFPの2剤併用	2							2		
その他の2剤併用										1
その他の3剤以上併用										1
INH単独									2	
不明・化療なし	4	2				1	1	2		

INH:イソニアジド、RFP:リファンピシン、PZA:ピラジナミド、EB:エタンブトール、SM:ストレプトマイシン

表 4-11 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、化療内容、保健所別(その2)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初 治療中	(別掲) 非定型 抗酸菌 陽性 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他				
			総 数	初 回 治 療			再 治 療			
松山中央										
総数	37	28	16	16		2	10	9	6	6
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	9	6	5	5		1		3		
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	25	20	10	10		1	9	5		3
INH,RFPの2剤併用	1							1		
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用										1
INH単独									6	
不明・化療なし	2	2	1	1			1			
大洲										
総数	19	13	5	5		5	3	6		
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	6	4	2	2		1	1	2		
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	9	7	2	2		4	1	2		
INH,RFPの2剤併用	3	1					1	2		
その他の2剤併用										
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし	1	1	1	1						
八幡浜中央										
総数	23	13	6	6		3	4	10		2
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	5	5	5	5						
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	17	8	1	1		3	4	9		1
INH,RFPの2剤併用	1							1		
その他の2剤併用										1
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし										
宇和島中央										
総数	24	19	10	10		7	2	5	8	8
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	9	7	4	4		2	1	2		1
上記以外のINH,RFPを含む3剤以上	15	12	6	6		5	1	3		
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用										5
INH単独									8	
不明・化療なし										

INH:イソニアジド、RFP:リファンピシン、PZA:ピラジナミド、EB:エタンブロール、SM:ストレプトマイシン

表 4-12 2004年 年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、保健所別

	活動性結核											(別掲)マル初		(別掲)非定型抗酸性	
	総数	肺結核活動性								肺外核活動性	不活動性結核				
		総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他	初回治療	再治療						
			総数	初回治療	再治療							治療中	観察中	治療中	観察中
愛媛県 総数	582	246	181	93	81	12	42	46	65	307	29	11	9	93	26
四国中央	43	15	11	5	5		1	5	4	22	6			13	2
新居浜	67	32	21	8	7	1	5	8	11	29	6			9	4
西条中央	37	16	14	5	4	1	2	7	2	20	1			12	7
今治中央	57	26	19	11	7	4	6	2	7	29	2	2		9	2
松山市	144	65	49	27	23	4	14	8	16	78	1		6	19	
松山中央	97	42	32	19	18	1	3	10	10	46	9	3	2	15	3
大洲	35	13	11	4	4		4	3	2	21	1				
八幡浜中央	40	16	9	5	5		2	2	7	24			1	8	2
宇和島中央	62	21	15	9	8	1	5	1	6	38	3	6		8	6

表 4-13 2004年 年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、性、年齢階級別

	活動性結核											(別掲)マル初		(別掲)非定型抗酸性	
	総数	肺結核活動性								肺外核活動性	不活動性結核				
		総数	喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他	初回治療	再治療						
			総数	初回治療	再治療							治療中	観察中	治療中	観察中
愛媛県 総数	582	246	181	93	81	12	42	46	65	307	29	11	9	93	26
男	368	159	117	66	57	9	27	24	42	192	17	6	2	26	8
女	214	87	64	27	24	3	15	22	23	115	12	5	7	67	18
0-4歳	1										1	4			
男												2			
女	1										1	2			
5-9歳	1										1	3			
男												2			
女	1										1	1			
10-14歳	1										1	1	2		
男												1	1		
女	1										1		1		
15-19歳	2	1	1					1		1		1	2		
男												1			
女	2	1	1					1		1			2		
20-29歳	14	4	2				1	1	2	8	2	2	5	2	
男	8	3	1					1	2	4	1		1	2	
女	6	1	1				1		4	4	1	2	4		
30-39歳	39	14	13	6	5	1	4	3	1	21	4	-	-	3	
男	19	10	9	5	4	1	2	2	1	7	2			2	
女	20	4	4	1	1		2	1		14	2			1	
40-49歳	50	23	15	8	8		3	4	8	22	5	-	-	3	1
男	40	18	11	7	7		2	2	7	18	4				
女	10	5	4	1	1		1	2	1	4	1			3	1
50-59歳	75	26	22	13	12	1	5	4	4	45	4	-	-	7	2
男	56	17	16	11	11		3	2	1	35	4			1	1
女	19	9	6	2	1	1	2	2	3	10				6	1
60-69歳	75	34	23	14	11	3	6	3	11	37	4	-	-	23	7
男	50	23	17	12	9	3	3	2	6	24	3			5	1
女	25	11	6	2	2		3	1	5	13	1			18	6
70-79歳	158	72	54	22	20	2	11	21	18	83	3	-	-	35	6
男	112	48	38	16	14	2	9	13	10	63	1			10	2
女	46	24	16	6	6		2	8	8	20	2			25	4
80歳以上	166	72	51	30	25	5	12	9	21	90	4	-	-	20	10
男	83	40	25	15	12	3	8	2	15	41	2			6	4
女	83	32	26	15	13	2	4	7	6	49	2			14	6

資 料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱

第一 目的

感染症の患者発生状況に関する情報（以下「患者情報」という。）及び感染症の病原体に関する情報（以下「病原体情報」という。）を迅速かつ的確に収集し、及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表する感染症発生動向調査事業（以下「事業」という。）を実施することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ確かな感染症対策の確立に資することを目的とする。

第二 対象感染症

事業の対象とする感染症は次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

- (1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱
(3) 重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る）
(4) 痘そう (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

- (8) 急性灰白髄炎 (9) コレラ (10) 細菌性赤痢 (11) ジフテリア (12) 腸チフス
(13) パラチフス

3 三類感染症

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症

4 四類感染症

- (15) E型肝炎 (16) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）
(17) A型肝炎 (18) エキノコックス症 (19) 黄熱 (20) オウム病 (21) 回帰熱
(22) Q熱 (23) 狂犬病 (24) 高病原性鳥インフルエンザ (25) コクシジオイデス症
(26) サル痘 (27) 腎症候性出血熱 (28) 炭疽 (29) つつが虫病 (30) デング熱
(31) ニパウイルス感染症 (32) 日本紅斑熱 (33) 日本脳炎
(34) ハンタウイルス肺症候群 (35) Bウイルス病 (36) ブルセラ症 (37) 発しんチフス
(38) ボツリヌス症 (39) マラリア (40) 野兔病 (41) ライム病
(42) リッサウイルス感染症 (43) レジオネラ症 (44) レプトスピラ症

5 五類感染症

- (45) アメーバ赤痢 (46) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）
(47) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く） (48) クリプトスポリジウム症
(49) クロイツフェルト・ヤコブ病 (50) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
(51) 後天性免疫不全症候群 (52) ジアルジア症 (53) 髄膜炎菌性髄膜炎
(54) 先天性風しん症候群 (55) 梅毒 (56) 破傷風
(57) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (58) バンコマイシン耐性腸球菌感染症

二 定点把握の対象（五類感染症）

- (59) RSウイルス感染症 (60) 咽頭結膜熱 (61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
(62) 感染性胃腸炎 (63) 水痘 (64) 手足口病 (65) 伝染性紅斑 (66) 突発性発しん
(67) 百日咳 (68) 風しん (69) ヘルパンギーナ (70) 麻しん（成人麻しんを除く）
(71) 流行性耳下腺炎 (72) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）
(73) 急性出血性結膜炎 (74) 流行性角結膜炎 (75) 性器クラミジア感染症
(76) 性器ヘルペスウイルス感染症 (77) 尖圭コンジローマ (78) 淋菌感染症
(79) クラミジア肺炎（オウム病を除く） (80) 細菌性髄膜炎

- (81)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (82)マイコプラズマ肺炎 (83)成人麻しん
(84)無菌性髄膜炎 (85)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(86)薬剤耐性緑膿菌感染症

三 結核

第三 実施主体

実施主体は県とし、愛媛県医師会等関係機関の協力を得て事業を実施する。

第四 実施体制の整備

一 地方感染症情報センター及び基幹地方感染症情報センター

1 地方感染症情報センター

県管轄区域内の患者情報及び病原体情報を収集・分析し、これらを全国情報等と併せて医師会等の関係機関に提供するため、地方感染症情報センターを設置する。

地方感染症情報センターは、愛媛県立衛生環境研究所(以下「衛生環境研究所」という。)内に置く。

2 基幹地方感染症情報センター

県域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集・分析し、これらを全国情報等と併せて地方感染症情報センター、医師会等の関係機関に提供するため、基幹地方感染症情報センターを設置する。

基幹地方感染症情報センターは、衛生環境研究所内に置く。

二 指定届出機関(定点)

県は、定点把握対象の五類感染症について、患者情報を把握するため患者定点を、病原体情報を収集するため病原体定点を選定する。

三 愛媛県感染症対策推進協議協議会

本事業に関する事項については、愛媛県感染症対策推進協議会において協議することとし、愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱第7条の規定に基づく解析評価担当委員(以下「解析評価委員」という。)が解析評価を行う。

第五 事業の実施

一 一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症

1 医師

(1) 医師は、第二の(1)から(7)、(9)、(10)、(12)及び(13)については疑似症患者、患者及び無症状病原体保有者を診断したとき、また、第二の(8)、(11)及び(14)から(44)については患者及び無症状病原体保有者を診断したときは、別記様式1又は別記様式3により、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

(2) 保健所から当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合にあっては、協力可能な範囲において、保健所の協力を得て別記様式2の検査票を添付して衛生環境研究所に送付する。

2 保健所

(1) 医師から届出を受けた保健所は、別記様式4に該当する項目について、直ちに本庁及び地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインシステムにより伝送する。

(2) 保健所は、当該医師に対し、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生環境研究所への提供について、別記様式2の検査票を添付して依頼する。

なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

3 衛生環境研究所

- (1) 衛生環境研究所は、別記様式 2 の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を經由して診断した医師に通知するとともに、別記様式 2 により保健所、本庁及び地方感染症情報センターに送付する。
- (2) 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- (3) 患者が一類感染症と診断されている場合、集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

4 地方感染症情報センター

- (1) 地方感染症情報センターは、患者情報について、保健所からの情報の伝送があり次第、コンピュータ・オンラインシステムにより、国立感染症研究所感染症情報センター内に設置する中央感染症情報センターに伝送する。
- (2) 別記様式 2 をもって衛生環境研究所から送付された検査情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

二 全数把握対象の五類感染症

1 医師

- (1) 医師は、第二の一の 5 に掲げる全数把握対象の五類感染症について、別に定める報告基準（平成 11 年 3 月 30 日 健医感発第 46 号 厚生省 保健医療局結核感染症課長通知。以下「報告基準」という。）により患者等を診断したときは、別記様式 5 により、7 日以内に最寄りの保健所に届出を行う。
- (2) 保健所から当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合にあっては、協力可能な範囲において、保健所の協力を得て別記様式 2 の検査票を添付して衛生環境研究所に送付する。

2 保健所

- (1) 医師から届出を受けた保健所は、別記様式 6 に該当する項目について、医師が患者を診断してから 7 日以内の可能な限り早い段階で本庁及び地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインシステムにより伝送する。
- (2) 保健所は、第二の(45)、(47)、(49)、(50)、(51)、(53)、(54)、(56)、(57)又は(58)の患者を診断した医師に対し、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生環境研究所への提供について、別記様式 2 の検査票を添付して依頼する。

なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

3 衛生環境研究所

- (1) 衛生環境研究所は、別記様式 2 の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を經由して診断した医師に通知するとともに、別記様式 2 により保健所、本庁及び地方感染症情報センターに送付する。
- (2) 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- (3) 集団発生があった場合等の緊急の場合において、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

4 地方感染症情報センター

- (1) 地方感染症情報センターは、患者情報について、保健所が診断した医師から届出を受けてから 7 日以内に、コンピュータ・オンラインシステムにより、中央感染症情報センターに伝送する。
- (2) 別記様式 2 をもって衛生環境研究所から送付された検査情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

三 定点把握対象の五類感染症

1 定点の選定

(1) 患者定点

県は、第二の二に掲げる定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、対象疾病に応じ、次に掲げる医療機関のうちから可能な限り無作為に患者定点を選定する。患者定点数は、別に定める基準（国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱。以下「算定基準」という。）を準用し算定する。

ア 第二の(59)から(71)までに掲げるもの (小児科定点)	小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）
イ 第二の(72)に掲げるインフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く) (インフルエンザ定点)	上記アで選定した小児科に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）
ウ 第二の(73)及び(74)に掲げるもの (眼科定点)	眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）
エ 第二の(75)から(78)までに掲げるもの (STD定点)	産婦人科又は産科若しくは婦人科（産婦人科系） 性病科又は泌尿器科若しくは皮膚科若しくは皮膚泌尿器科（泌尿器科・皮膚科系）を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）
オ 第二の(79)から(86)までに掲げるもの (基幹定点)	原則患者を 300 人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）

(2) 病原体定点

県は、病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点として選定された医療機関のうちから病原体定点を選定する。病原体定点数は、算定基準を準用し算定する。

2 調査単位等

(1) 患者情報の調査単位は、前記 1 の(1)のア、イ、ウ及びオ（第二の(81)、(85)及び(86)に関する患者情報を除く）により選定された患者定点にあつては 1 週間（月曜日から日曜日）とし、前記 1 の(1)のエ及びオ（第二の(81)、(85)及び(86)に関する患者情報のみ）により選定された患者定点にあつては各月とする。

(2) 病原体検査については、効果的・効率的な検体の採取、搬送がなされるよう留意する。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により患者発生状況を把握するとともに、次の様式により、管轄保健所へ報告するものとする。

前記 1 の(1)のアにより選定された小児科定点	別記様式 7
前記 1 の(1)のア及びイにより選定されたインフルエンザ定点	別記様式 8
前記 1 の(1)のウにより選定された眼科定点	別記様式 9
前記 1 の(1)のエにより選定された性感染症定点	別記様式 10
前記 1 の(1)のオにより選定された基幹定点	別記様式 11

イ 前記アの報告は、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に、郵送又は F A X その他地域の特性に応じた適切な方法により報告するものとする。

(2) 病原体定点

病原体定点として選定された医療機関は、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領により微生物学的検査のための検体を採取するとともに、別記様式 2 の検査票を

添えて、保健所との連携を図りながら速やかに衛生環境研究所へ送付する。

(3) 保健所

ア 保健所は、患者定点から得られた患者情報（別記様式7から11）の情報項目を、調査単位が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、本庁及び地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する。

イ 対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、本庁及び地方感染症情報センターへ報告する。なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

(4) 衛生環境研究所

ア 衛生環境研究所は、別記様式2の検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を病原体情報として保健所を経由して病原体定点に通知するとともに保健所、本庁及び地方感染症情報センターに送付する。

イ 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。なお、集団発生があった場合等の緊急の場合において、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

(5) 地方感染症情報センター

ア 地方感染症情報センターは、患者情報について、保健所から情報の伝送があり次第、コンピュータ・オンラインシステムにより、中央感染症情報センターに伝送する。

イ 別記様式2をもって衛生環境研究所から送付された病原体情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

四 結核

1 医師

医師は、結核の患者等を診断したときは、2日以内に、最寄りの保健所に届出を行う。

2 保健所

保健所は、結核予防法の規定による届出等に基づく結核患者等の情報のうち、次の表に掲げる項目を、新たに同法第24条第1項に規定する結核登録票（以下「登録票」という。）に登録した者（以下「新登録患者」という。）に係るものにあつては翌月の10日までにコンピュータ・オンラインシステムにより、12月31日現在において登録票に登録している者（以下「登録者」という。）及び1月1日から12月31日までの間に登録票から除外した者（以下「登録除外者」という。）に係るものにあつては翌年の1月20日までにコンピュータ・オンラインシステム又はフロッピーディスクにより、本庁及び地方感染症情報センターへ伝送又は送付する。

新登録患者	(1) 患者の生年月日、性別及び居住地の市町村名 (2) 登録までの状況 (3) 病状及び治療状況
登録者	(1) 登録者の生年月日、性別及び居住地の市町村名 (2) 登録当時の状況 (3) 現在の病状及び治療状況 (4) 病状等の経過
登録除外者	(1) 登録除外者の生年月日、性別及び居住地の市町村名 (2) 登録時以降の経過の概要 (3) 除外年月日及び除外理由

3 地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、保健所からの結核患者等の情報について、新登録患者に係るものにあつては翌月の15日までにコンピュータ・オンラインシステムにより、登録者及び登録除外者に係るものにあつては翌年の1月末日までにコンピュータ・オンラインシステム又はフロッピーディスクにより、中央感染症情報センターに伝送又は送付する。

第六 積極的疫学調査

保健所は、一類感染症、二類感染症、三類感染症又は四類感染症が発生した場合若しくは五類感染症等に係る感染症発生動向調査において通常と異なる傾向が認められた場合等には、関係者の理解と協力を得ながら、本庁、衛生環境研究所、関係医師会、市町村等関係機関と密接な連携を図り、地域における詳細な流行状況や原因不明の感染症等の迅速な把握に努める。

第七 地方感染症情報センター等の情報の収集、分析及び提供

- 一 基幹感染症情報センターは、地方感染症情報センターが収集した患者情報、病原体情報並びに全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに地方感染症情報センター、医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。
- 二 地方感染症情報センター及び保健所は、本事業により収集した情報等を、地域医師会、市町村等関係機関へ、適宜適切に提供する。
- 三 情報の提供を行うときは、個人情報の保護に十分留意する。

第八 その他

- 一 県は、効果的かつ円滑な感染症発生動向調査体制を構築するため、松山市と密接な連携を図る。
- 二 本事業に協力を得た医師、解析評価委員に対して予算の範囲内で謝金を支出する。
- 三 この要綱で定めるもののほか、感染症発生動向調査事業の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成13年1月1日から施行する。
- 2 愛媛県結核・感染症発生動向調査実施要綱(昭和62年1月1日)は、廃止する。

附 則

この実施要綱の改正は、平成14年11月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年8月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年11月5日から施行する。

別記様式一覧表

別記様式 1	一類感染症、二類感染症及び三類感染症医師届出票（患者）
別記様式 2	一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症検査票（病原体）
別記様式 3	四類感染症医師届出票（患者）
別記様式 4	一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症保健所報告項目（患者）
別記様式 5	五類感染症（全数把握対象）医師届出票（患者）
別記様式 6	五類感染症（全数把握対象）保健所報告項目（患者）
別記様式 7	五類感染症（定点把握対象）小児科患者定点報告票
別記様式 8	五類感染症（定点把握対象）インフルエンザ患者定点報告票
別記様式 9	五類感染症（定点把握対象）眼科患者定点報告票
別記様式10	五類感染症（定点把握対象）性感染症患者定点報告票
別記様式11	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票

別記様式1

愛媛県知事

殿

一類感染症、二類感染症及び三類感染症発生届出票

保健所コード 西暦 ID

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

医師の氏名
 所属する病院・診療所等施設名
 上記施設の・所在地電話番号 *
 報告年月日() 年 月 日
 印(自署または記名押印のこと)

診察時の年齢 () 歳
 患者の性別 () 性別
 患者の生年月日 () 年 月 日
 患者の住所 () 市 町 村 番 号

1 患者氏名	2 性別	3 診察時の年齢	4 患者職業
5 患者住所	男・女	生年月日	明・大・昭・平 年 月 日
7 保護者氏名	電話()	6 患者所在地	電話()
8 保護者連絡先	電話()	7、8は患者が未成年の場合のみ記入	電話()

9 病名	10 診断方法	11 症 状	12 発病年月日	
・エボラ出血熱 ・クリミア・コンゴ出血熱 ・重症急性呼吸器症候群 (病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る) ・痘そう ・ペスト ・マールブルグ病 ・ラッサ熱 ・コレラ ・細菌性赤痢 ・腸チフス ・パラチフス ・急性灰白髄炎 ・ジフテリア ・腸管出血性大腸菌感染症	・病原検査 (検体) (方法) (型) ・血清学的検査 (検体) (方法) (型) ・臨床決定 ・その他()	・有 [] ・無	平成 年 月 日 13 初診年月日 平成 年 月 日 14 診断(検索)年月日 平成 年 月 日 15 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日 16 死亡年月日 平成 年 月 日	
	17 推定される感染地域・感染原因・感染経路	・推定される感染地域 1 日本国内 2 その他() 3 不明	・推定される感染原因・感染経路 []	
	18 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために必要と認める事項			

この届出は診断後直ちに行ってください

(2、9から11、17欄は該当する番号等を 囲み3、4、12から16は年齢・年月日等を記入すること。 欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること)

別記様式 2

保健所コード

西暦

ID

衛研受付番号

病原体定ポイントコード

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症検査票（病原体）

患者性別	(男・女)
患者年齢	(歳カ月)

[主治医等記載欄] 医療機関等名及び主治医等医師名(記載者) 検体送付日 年 月 日 分離株(無、有、検査中)	
診断名	
発病日	年 月 日
検採日	年 月 日
検査材料の種類	・ふん便(腸内容物、直腸ぬぐい液)・髄液 ・穿刺液(腹水、胸水、関節液、その他) ・喀痰 ・気管吸引液 ・咽頭ぬぐい液(うがい液、鼻汁) ・皮膚病巣(水疱内容、痂皮、創瘍) ・結膜ぬぐい液(結膜擦過物、眼脂) ・陰部尿道頸管擦過物/分泌物 ・細胞診、生検、剖検材料(臓器) ・血液(全血、血清、血漿、血抗凝固剤) ・その他 []
臨床徴候等	・無症状 ・発熱(最高) ・関節痛、筋肉痛 ・口内炎、上気道炎、下気道炎(肺炎、気管支炎) ・発疹(水疱、丘疹、紅斑、バラしん)、出血傾向 ・リンパ節腫脹、腫脹(部位)、浮腫(部位) ・ショック症状(低血圧、循環不全) ・その他の症状(上記以外の症状や臨床徴候)
基礎疾患	
転帰	経過観察中、軽快、治癒、死亡(原因)
主治医等から地方衛生研究所への連絡事項	

[保健所等記載欄](主治医記載可) 発生の状況 ・散発 ・集団発生 (無、有) 有の場合(保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、宿舎・寮、病院、老人ホーム、福祉・養護施設、旅館・ホテル、飲食店、事業所、その他 [])	
最近の海外渡航歴	国名 年 月 日 ~ 年 月 日
ワクチン接種歴	ワクチン名 年 月 日 最近の接種年月日 年 月 日
[地方衛生研究所記載欄] 記載者名 抗体検出方法 (蛍光、IP、ELISA、CF、HI、PA、中和、イムノブロット、ゲル内沈降、凝集反応、その他) 結果 ()	
検出年月日	年 月 日
病原体	検出方法 (培養細胞：細胞名 [] [陽性となった方法で囲んで下さい]) ・分離培養 (人工培地、発育鶏卵、動物、その他) ・抗原検出等 (電顕、鏡検、蛍光、EIA、凝集反応、その他) ・遺伝子検出 (1.非増幅/ハイブリ、PAGE、その他) 2.増幅[PCR、その他]
検出病原体(群、型、亜型)	
[その他特記事項] 注1) 主治医記載欄については、検体送付日において記載できる範囲で記載をお願いいたします。 注2) ワクチン接種歴については、当該疾患に係るものにつき記載して下さい。 注3) 二類、三類感染症について医療機関(民間検査所を含む)で病原体を分離した場合は、可能な範囲で地方衛生研究所への分離株の送付をお願いします。	

別記様式3

保健所コード
 西 暦
 I D

四 類 感 染 症 発 生 届

愛媛県知事 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日)

医師の氏名 _____ 印
 (自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名 _____
 上記施設の住所・電話番号* _____ (電話 _____)

(*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1 患者氏名	2 性 別	3 診断時の年齢	
	男 ・ 女	生年月日 明・大・昭・平	年 月 日 歳
4 患者職業	5 患者住所		
	電話(_____)		
6 患者所在地			
電話(_____)			
7 保護者氏名	8 保護者連絡先		
	(7、8は患者が未成年の場合のみ記入) 電話(_____)		

- 9 病 名 (該当する番号等を 〇で囲むこと)
- 1 E型肝炎
 - 2 ウエストナイル熱
 - (1)ウツキ熱、2)ウツキ脳炎)
 - 3 A型肝炎
 - 4 エキノコックス症
 - (1)単包条虫、2)多包条虫)
 - 5 黄熱
 - 6 オウム病
 - 7 回帰熱
 - 8 Q熱
 - 9 狂犬病
 - 10 高病原性鳥インフルエンザ
 - 11 コクシジオイデス症
 - 12 サル痘
 - 13 腎症候性出血熱
 - 14 炭疽
 - 15 つつが虫病
 - 16 デング熱
 - (1)デング熱、2)デング出血熱)
 - 17 ニバウイルス感染症
 - 18 日本紅斑熱
 - 19 日本脳炎
 - 20 ハンタウイルス肺症候群
 - 21 Bウイルス病
 - 22 プルセラ症
 - 23 発しんチフス
 - 24 ポツリヌス症
 - (1)食餌性(食中毒)、2)乳児、
2)創傷、4)成人定着、5)不明)
 - 25 マラリア
 - (1)三日熱、2)四日熱、3)卵形、
4)熱帯熱、5)不明)
 - 26 野兔病
 - 27 ライム病
 - 28 リッサウイルス感染症
 - 29 レジオネラ症
 - 30 レプトスピラ症

10	診 断 方 法	1) 病原検査(検体 _____) (方法 _____) (型 _____) 2) 血清学的検査(検体 _____) (方法 _____) (型 _____) 3) 臨床決定 4) その他(_____) (該当するもの全てに記載すること)
11	診 断 時 の 症 状	1) 有 _____ 2) 無 _____
12	発 病 年 月 日	平成 年 月 日
13	初 診 年 月 日	平成 年 月 日
14	診 断 (検 索) 年 月 日	平成 年 月 日
15	感染したと推定される年月日	昭和・平成 年 月 日
16	死 亡 年 月 日	平成 年 月 日
17・18 推定される感染地域・感染原因・感染経路		
・最近数年間の主な居住地 1 日本国内 2 その他(_____) 3 不明 ・推定される感染地域 1 日本国内 2 その他(_____) 3 不明 ・病原体や媒介動物等との接触または生息場所での活動 1 あり(_____) 2 その他 ・推定される感染源・感染経路等 1 経口感染(推定される飲食物) _____) 2 媒介動物等からの感染(動物の種類) _____) 3 その他(_____) 4 不明 ・同疾患または同様の症状の者の発症 1 同居者にいる _____) 2 同じ職場や学校等にいる 3 その他(_____) 4 いない		

この届出は診断後直ちにしてください

(2、9から11、17・18欄は該当する番号等を 〇で囲み、3、4、12から16欄は年齢・年月日を記入すること。 17欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式 4

一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症保健所報告項目（患者）

一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症につき、保健所が、地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する項目は以下のとおりとする。

別記様式 1 及び別記様式 3 のうち、

「 9 病名」

「10 診断方法」

「11 症状」

「12 発病年月日」

「13 初診年月日」

「14 診断（検案）年月日」

「15 感染したと推定される年月日」

「16 死亡年月日」

「17・18 推定される感染地域・感染原因・感染経路」

及び

「 3 診断時の年齢」のうち、患者の「生年月日」

以上

別記様式5 - 1

保健所コード

西 暦

I D

五類感染症発生届
(クロイツフェルト・ヤコブ病、後天性免疫不全症候群、先天性風しん症候群を除く)

愛媛県知事 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日)

医師の氏名 _____ 印

(自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名 _____

上記施設の住所・電話番号* _____ (電話 _____)

(*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1 性 別	男 ・ 女
2 診断時の年齢	歳

3 病名 (該当する番号等を 囲むこと)	1 アメーバ赤痢
	2 ウイルス性肝炎 〔 1) B型、2) C型、3) D型、 4) その他() 5) 不明 〕
	3 急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く) 〔 1) 病原体() 2) 病原体不明 〕
	4 クリプトスポリジウム症
	5 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	6 ジアルジア症
	7 髄膜炎菌性髄膜炎
	8 梅毒 〔 1) 早期顕症梅毒(7.期、1.期)、 2) 晩期顕症梅毒、3) 無症候梅毒 4) 先天梅毒 〕
	9 破傷風
	10 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
	11 バンコマイシン耐性腸球菌感染症

4 診断方法	1) 病原検査(検体 _____) (方法 _____) (型 _____)
	2) 血清学的検査(検体 _____) (方法 _____) (型 _____)
	3) 臨床決定 _____)
	4) その他(_____) (該当するもの全てに記載すること)
5 診断時の症状	1) 有 _____)
	2) 無 _____)
6 発病年月日	平成 年 月 日
7 初診年月日	平成 年 月 日
8 診断(検索)年月日	平成 年 月 日
9 感染したと推定される年月日	昭和・平成 年 月 日
10 死亡年月日	平成 年 月 日
11・12 推定される感染地域・感染原因・感染経路	
・最近数年間の主な居住地 1 日本国内 2 その他() 3 不明	
・推定される感染地域 1 日本国内 2 その他() 3 不明	
・病原体や媒介動物等との接触または生息場所での活動 1 あり() 2 その他 _____	
・推定される感染源・感染経路等	
1 経口感染(推定される飲食物 _____)	
2 性行為感染 ア. 異性間性的接触 イ. 同性間性的接触	
3 静注薬使用	
4 母子感染	
5 輸血	
6 媒介動物等からの感染(動物の種類 _____)	
7 その他(_____)	
8 不明	
・同疾患または同様の症状の者の発症	
1 同居者にいる 2 同じ職場や学校等にいる	
3 その他(_____) 4 いない	

この届出は診断から7日以内に行ってください

(2、9から11、17・18欄は該当する番号等を 囲み、3、4、12から16欄は年齢・年月日を記入すること。 欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式5 - 2

保健所コード

西 暦

I D

クロイツフェルト・ヤコブ病発生届

愛媛県知事 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日)

医師の氏名 _____ 印
(自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名 _____
上記施設の住所・電話番号* _____ (電話 _____)

(*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1 性別	男 ・ 女		
2 診断時の年齢	歳		
3 病名	クロイツフェルト・ヤコブ病 1) 弧発性CJD 2) 家族性CJD 3) 新変異型CJD 4) GSS 5) FFI (ア. 確実 イ. ほぼ確実 ウ. 疑い)	5 診断時の症状	1) 有 (ア. 進行性痴呆 (年 月より) イ. 記憶障害 (年 月より) ウ. 精神・知能障害 (年 月より) エ. 臨床的に頑固な不眠 (年 月より) オ. 視覚異常 (年 月より) カ. 錯感覚、異常感覚 (年 月より) キ. 錐体路症状 (年 月より) ク. 痙性対麻痺 (年 月より) ケ. 錐体外路症状 (年 月より) コ. 筋強剛 (年 月より) サ. 小脳症状 (年 月より) シ. ミオクローヌス (年 月より) ス. 無動性無言状態 (年 月より) セ. 脳波検査でPSDあり (年 月より) ソ. その他() (年 月より)
4 診断方法	1) 病原検査(異常プリオンたん白の検出) 部位 (1) 脳 (2) 扁桃 (3) その他 方法 (1) Western Blot 法 (2) 免疫染色法型 (免疫染色法による) (1) アミロイド斑型 (2) シナプス型 2) プリオンたん白遺伝子検査 (1) コドン()の異常 (2) コドン129の多型 (ア. M/M イ. M/V ウ. V/V) (3) コドン219の多型 (ア. E/E イ. E/K ウ. K/K) (4) その他() 3) 臨床決定 4) その他() (該当するもの全てに記載すること)		
6 発病年月日	平成 年 月 日	7 初診年月日	平成 年 月 日
8 診断(検索)年月日	平成 年 月 日	9 感染したと推定される年月日	昭和・平成 年 月 日
10 死亡年月日	平成 年 月 日		

この届出は診断から7日以内に行ってください

11・12 推定される感染地域・感染原因・感染経路	
・最近数年間の主な居住地 1) 日本国内 2) その他() 3) 不明 ・推定される感染地域 1) 日本国内 2) その他() 3) 不明 ・同疾患または同様の症状の者 1) 家族にいる 2) 同じ職場等にいる 3) その他() 4) いない	・推定される感染経路等 1) ヒト乾燥硬膜 2) ヒト下垂体由来成長ホルモン製剤 3) 角膜手術 4) 手術等観血的処置 (種類) 5) 輸血等 6) その他() 7) 不明

(1、3から5、11、12欄は該当する番号等を で囲み、2、6から10欄は年齢・年月日を記入すること。欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式5 - 4

保健所コード

西 暦

I D

先天性風しん症候群発生届

愛媛県知事 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日)

医師の氏名 _____ 印
(自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名 _____
上記施設の住所・電話番号* _____ (電話 _____)

(*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1	性 別	男 ・ 女	
2	診断時の年齢		歳
3	病名	先天性風しん症候群	
4	診断方法	1) 病原検査 (検体 _____) (方法 _____) 2) 血清学的検査 (検体 _____) (方法 _____) 3) 臨床決定 4) その他 (_____) (該当するもの全てに記載すること)	
5	診断時の症状	1) 有 _____ 2) 無 _____	
6	発病年月日	平成	年 月 日
7	初診年月日	平成	年 月 日
8	診断(検索)年月日	平成	年 月 日
9	感染したと推定される年月日	昭和・平成	年 月 日
10	死亡年月日	平成	年 月 日

11・12 推定される感染地域・感染原因・感染経路	
・最近数年間の主な居住地 1) 日本国内 2) その他(_____) 3) 不明 ・推定される感染地域 1) 日本国内 2) その他(_____) 3) 不明	・母親の妊娠中の風しん罹患歴 1) あり 2) なし ・母親の風しん抗体価と測定時期 _____ _____ _____ ・母親の風しん予防接種歴 1) あり 2) なし

この届出は診断から7日以内に行ってください

(1、3から5、11、12欄は該当する番号等を で囲み、2、6から10欄は年齢・年月日を記入すること。 欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式6

五類感染症（全数把握対象）保健所報告項目（患者）

五類感染症のうち全数把握対象のものにつき、保健所が、地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する項目は以下のとおりとする。

別記様式5のうち、すべての項目

以上

別記様式7

感染症発生動向調査(小児科定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (週報)

西暦 年 第 週 保健所コード 定点コード

疾患名	年齢		~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20歳以上	合計
	男	女															
R S ウイルス感染症																	
咽頭結膜熱																	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎																	
感染性胃腸炎																	
水痘																	
手足口病																	
伝染性紅斑																	
突発性発疹																	
百日咳																	
風しん																	
ヘルパンギーナ																	
麻疹 (成人麻疹を除く)																	
流行性耳下腺炎																	

別記様式 8

感染症発生動向調査(インフルエンザ定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (週報)

西暦 年 月 日

第 週 保健所コード

定点コード

疾患名	年齢		~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	合計	
	男	女																						
インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)																								

別記様式 9

感染症発生動向調査(眼科定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (週報)

西曆 年 第 週

保健所コード

定点コード

疾患名	年齢		~6ヶ月	6ヶ月~12ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	合計	
	男	女																					
急性出血性結膜炎																							
流行性角結膜炎																							

別記様式10

感染症発生動向調査(STD定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (月報)

西暦 年 月 日 保健所コード 定点コード

疾患名	年齢		0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上	合計	
	男	女																		
性器クラミジア感染症	男																			
	女																			
性器ヘルペスウイルス感染症	男																			
	女																			
尖圭コンジローマ	男																			
	女																			
淋菌感染症	男																			
	女																			

別記様式11

感染症発生動向調査(基幹定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (週報) 西暦 年 第 週 保健所コード 定点コード

ID番号	性	年・月齢	病名	採取年月日	検査方法	検査結果 (病原体名称)
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	
			1 2 3 4 5		1 2 3 4 5 6	

- 検査方法
- 1: 分離・培養
 - 2: 抗原検出
 - 3: 核酸・PCR
 - 4: 塗末検鏡
 - 5: 電顕
 - 6: 血清
- 病名
- 1: 細菌性髄膜炎(真菌性を含む)
 - 2: 無菌性髄膜炎
 - 3: マイコプラズマ肺炎
 - 4: クラミジア肺炎(オウム病を除く)
 - 5: 成人麻疹

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (月報) 西暦 年 第 月 保健所コード 定点コード

ID番号	性	年・月齢	病名	採取年月日	採取部位
			1 2 3		
			1 2 3		
			1 2 3		
			1 2 3		
			1 2 3		

- 病名
- 1: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
 - 2: ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
 - 3: 薬剤耐性緑膿菌感染症

愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 愛媛県における感染症の発生動向の把握、感染拡大防止対策等の一元化を図り、健康危機管理に即した迅速で実践的な体制を構築するとともに、予防接種業務の円滑な推進及び知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に資することを目的として、愛媛県感染症対策推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 感染症発生の防止の施策に関する事項
- (2) 医療機関の確保、医療機関の連絡体制に関する事項
- (3) 感染症及び予防接種に関する知識の普及啓発に関する事項
- (4) 感染症患者の人権への配慮等に関する事項
- (5) 予防接種法(昭和23年法律第68号)結核予防法(昭和26年法律第96号)に基づき、知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に関する事項
- (6) 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱(平成13年1月1日制定)に基づく感染症発生動向調査に関する事項

(組織)

第3条 協議会は、委員16人以内で組織する。

(委員)

第4条 協議会は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱し、又は任命する。

- (1) 社団法人愛媛県医師会の会員
- (2) 社団法人愛媛県獣医師会の会員
- (3) 感染症発生動向調査の専門家
- (4) 感染症対策の専門家
- (5) 第二種感染症指定医療機関の医師
- (6) 愛媛県予防接種センターの医師
- (7) 学識経験者
- (8) 感染症対策関係の行政担当者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任させることができる。

(会長)

第5条 協議会に会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は会長が指名した者をもって充てる。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が必要に応じ招集し会長が議長となる。

(解析評価担当委員)

第7条 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱(平成13年1月1日制定)に規定する感染症発生動向調査にかかる情報の解析評価を担当する解析評価担当委員をおく。

2 解析評価担当委員は、会長が協議会の委員のうちから指名する。

(関係者の出席)

第8条 会長が必要と認めた時は、協議会の会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、保健福祉部健康衛生局健康増進課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が、協議会に諮って定める。

附 則

この要領は、平成15年8月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成16年1月13日から施行する。

愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領

第一 趣旨

感染症の病原体に関する情報は、患者への良質かつ適切な医療の提供のために不可欠であり、かつ、感染症の発生の予防及びまん延の防止のために極めて重要な意義を有している。このことから、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領を定め、病原体の検査情報を収集するものとする。

第二 病原体検査の対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業において病原体検査の対象とする感染症は、次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

- (1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱
(3) 重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る)
(4) 痘そう (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

- (8) 急性灰白髄炎 (9) コレラ (10)細菌性赤痢 (11)ジフテリア (12)腸チフス
(13)パラチフス

3 三類感染症

- (14)腸管出血性大腸菌感染症

4 四類感染症

- (15) E型肝炎 (16)ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)
(18)エキノкокクス症 (19)黄熱 (20)オウム病 (21)回帰熱 (22)Q熱 (23)狂犬病
(24)高病原性鳥インフルエンザ (25)コクシジオイデス症 (26)サル痘
(27)腎症候性出血熱 (28)炭疽 (29)つつが虫病 (30)デング熱
(31)ニパウイルス感染症 (32)日本紅斑熱 (33)日本脳炎
(34)ハンタウイルス肺症候群 (35)Bウイルス病 (36)ブルセラ症 (37)発しんチフス
(38)ボツリヌス症 (40)野兎病 (41)ライム病 (42)リッサウイルス感染症
(43)レジオネラ症 (44)レプトスピラ症

5 五類感染症

- (45)アメーバ赤痢 (47)急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)
(49)クロイツフェルト・ヤコブ病 (50)劇症型溶血性レンサ球菌感染症
(51)後天性免疫不全症候群 (53)髄膜炎菌性髄膜炎 (54)先天性風しん症候群
(56)破傷風 (57)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(58)バンコマイシン耐性腸球菌感染症

二 定点把握対象の五類感染症(病原体定点別)

1 小児科病原体定点

- (60)咽頭結膜熱 (61)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (62)感染性胃腸炎
(64)手足口病 (67)百日咳 (69)ヘルパンギーナ (70)麻しん(成人麻しんを除く)
(71)流行性耳下腺炎

2 インフルエンザ病原体定点(内科病原体定点及び小児科病原体定点)

- (72)インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

3 眼科病原体定点

- (73)急性出血性結膜炎 (74)流行性角結膜炎

4 基幹病原体定点

(80)細菌性髄膜炎 (83)成人麻しん (84)無菌性髄膜炎

第三 病原体別検査実施機関

一 病原体別検査実施機関の分担

病原体によっては、施設面又は技術的に衛生環境研究所又は保健所で検査の実施が困難な場合があるため、国立感染症研究所、衛生環境研究所及び保健所で病原体検査を分担する。検査実施機関別の検査対象感染症は、別表1のとおりとする。

二 医療機関・医師

第二の一に掲げる検査対象感染症の患者を診断した医師は、保健所から病原体検査のための検体提供の依頼を受けた場合にあっては、可能な範囲において検体採取に協力するものとする。採取された検体は、別記様式2（愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱第五の一の1の(2)に定める様式をいう。以下同じ。）の検査票を添えて、速やかに保健所へ提出する。

三 病原体定点に選定された医療機関

第二の二に掲げる病原体定点の検査対象感染症の患者を診断した医師は、概ね第四に示した検体数について、第五の別表2に掲げる検査材料を採取する。採取された検体は、別記様式2の検査票を添えて、速やかに保健所へ提出する。

四 保健所

保健所は、医療機関における検体の採取や搬送に協力し、第二の一に掲げる検査対象感染症のうち(9)、(10)、(12)、(13)及び(14)の検体の提供を受けた場合は、可能な範囲において検査を実施し、その結果を診断した医師に通知する。その他の検体の提供を受けた場合は、別記様式2の検査票を添えて、検体を衛生環境研究所へ搬送する。

五 衛生環境研究所

- 1 衛生環境研究所は、検体と別記様式2の検査票が搬入された場合は、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに本庁及び地方感染症情報センターに通知する。
- 2 衛生環境研究所において、検査の実施が困難な検体については、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。

六 地方感染症情報センター

- 1 地方感染症情報センターは、医療機関、保健所、衛生環境研究所等から得た病原体検査情報を、感染症検査情報オンラインシステムにより中央感染症情報センターへ送付する。
- 2 地方感染症情報センターは、病原体検査情報を患者発生動向調査等の関連情報とともに解析し、医療機関等関係機関へ還元する。

第四 定点把握の五類感染症の病原体検査検体数

定点把握の五類感染症の病原体検査検体数は、病原体定点の種別に応じて、年間1定点当たり概ね次のとおりとする。

一 小児科病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね10件以内の検体を採取する。

10 検体 × 8 検査対象感染症 = 80 件

二 インフルエンザ病原体定点

概ね月当たり10件以内で、インフルエンザ流行中の適当な時期に採取する。

10 検体 × 3 月 = 30 件

三 眼科病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね20件以内の検体を確保する。

20 検体 × 2 検査対象感染症 = 40 件

四 基幹病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね 20 件以内の検体を採取する。

20 検体 × 3 検査対象感染症 = 60 件

第五 採取すべき検査材料種別

病原体検査のために採取すべき検査材料は、別表 2 のとおりとする。

第六 病原体検査検体の採取、保存、輸送等

一 細菌感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア 抗生物質投与前の糞便の一部を滅菌綿棒で取り、輸送用培地（キャリーブリア培地等）の寒天部に深く差し込み密栓する。止むを得ない場合は、直腸スワブを採取し、前項と同様輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。

イ 検体採取後は、室温で保存し、速やかに検査に供する。遅くとも 24 時間以内に分離培養するのが望ましい。

(2) 鼻咽頭拭液

ア 滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、輸送用培地（キャリーブリア培地等）中に綿棒を深く差し込み、直ちにキャップを確実に閉める。

イ 検体採取後は、室温で保存し、24 時間以内に分離培養するのが望ましい。

(3) 脊髄液、血液

ア 髄液は、1 ~ 5 ml を無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

イ 血液は、2 ~ 5 ml を無菌的に採取し、直ちにカルチャーボトルに接種し、常温で輸送する。

2 保存及び輸送方法

(1) 検査材料は、容器から内容物が漏れないようにビニールテープ等で密栓する。所定の搬送用ボックスに入れ、できるだけ速やかに室温で搬送する。

(2) 検体は、冷凍での保存・搬送はしてはならない。

(3) 検査材料は、必要事項を記入した別記様式 2 の検査票と併せて検査実施機関に送付する。

二 ウイルス感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア できるだけ早期（急性期）に排泄直後の糞便を採取する。

イ ウイルス分離培養検査用は糞便 2 g（2 ml）を採取するか、又は滅菌綿棒で少量（0.1-0.2 g）をウイルス分離用保存液中に取り、よく攪拌後綿棒を取り除いて密栓する。

ウ 下痢症ウイルス検出用は、母指頭大（約 5 g）以上の排泄便を採取し密栓する。

(2) 鼻咽頭拭液

滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿球部をよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(3) 咽頭うがい液

滅菌生理食塩水 8 ~ 10 ml を用い咽頭の奥でよくうがいをさせ、清浄なコップ等に吐き出されたうがい液を 5 ml のウイルス分離用保存液又は滅菌ブイヨン液に等量加え密

栓する。

(4) 髄液

1 ~ 5 ml を無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

(5) 水疱内溶液

水疱又は膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器等で局所を突き刺して内容液を吸引し、ウイルス分離用保存液に入れ密栓する。

(6) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒をウイルス分離用保存液中でよく振とうして擦過物を浮遊させた後、綿球部を管壁でよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(7) 血液、血清

ウイルス分離用の血液は、抗凝固剤(クエン酸又はEDTA)入り採血管に5 ~ 10ml を採取し、室温でできるだけ速やかに検査機関に搬送する。

血清免疫学的診断用の場合は、凝固剤入り採血管に3 ~ 5 ml を採血する。30分程度静置後3000rpmで遠心分離し、血清を滅菌セラムチューブ等に採取し、搬送するまで冷凍庫(-25以下)に保存する。

血清免疫学的診断には、急性期(発病3日以内)と回復期(発病後2 ~ 3週間後)のペア血清が必要なことが多い。

2 保存及び搬送方法

(1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。

(2) 検体採取当日又は翌日に検査が可能な場合は、氷冷して保存・搬送する。

(3) 2日以上保存する場合は、密封しドライアイスアセトン又は液体窒素で急速凍結した後、-25以下(できれば-70以下が望ましい)で冷凍保存する。

(4) 冷凍して搬送する場合は、断熱性の搬送用ボックスに入れ、ドライアイス又は寒剤(例:氷75% + 食塩25%)を使用し、搬送中に融解しないようにする。

(5) 保存又は搬送にドライアイスを使用する場合は、CO₂ガスが容器に入り、pHが低下するのを防ぐため、検体容器をビニールテープでシールして密封する。

第七 その他

一 県は、県内の病原体に関する情報を統一的に収集し、分析し、及び公表する体制を構築するため、松山市と緊密な連携を図る。

二 この要領に定めるもののほか、病原体検査の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成13年1月1日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成15年11月5日から施行する。

別表1 検査実施機関別検査対象感染症一覧表

検査実施機関	全数把握対象				定点把握対象	
	一類感染症	二類感染症	三類感染症	四類感染症		
国立感染症研究所	(1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (4) 痘そう (5) ベスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱			(18) エキノコックス症 (19) 黄熱 (20) オウム病 (21) 回帰熱 (23) 狂犬病 (25) コクシジオイデス症 (26) サル痘 (27) 腎症候性出血熱 (30) テング熱 (31) ニパウイルス感染症 (34) ハンタウイルス肺症候群 (35) Bウイルス病 (36) プルセラ病 (37) 発しんチフス (40) 野痘病 (41) ライム病 (42) リッサウイルス感染症 (44) レプトスピラ症	五類感染症 (49) クロイツツフェルト・ヤコブ病 (54) 先天性風しん症候群 (57) ハンコマイシン耐性腸球菌感染症 (58) ハンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	五類感染症
衛生環境研究所	(3) 重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る)	(8) 急性灰白髄炎 (11) シフトリア		(15) E型肝炎 (16) ウエストナイル熱(ウエストナイル熱を含む) (22) Q熱 (24) 高病原性インフルエンザ (28) 炭疽 (29) つつが虫病 (32) 日本紅斑熱 (33) 日本脳炎 (38) ボンリヌス症 (43) レジオネラ症	(45) アメーバ赤痢 (47) 急性脳炎(ウエストナイル熱及び日本脳炎を除く) (50) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (53) 髄膜炎菌性髄膜炎 (56) 破傷風	(60) 咽頭結核熱 (61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (62) 感染症胃腸炎 (64) 手足口病 (67) 百日咳 (69) ヘルペシギーナ (70) 麻しん(成人麻しんを除く) (71) 流行性耳下腺炎 (72) インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く) (73) 急性出血性結核炎 (74) 流行性角結膜炎 (80) 細菌性髄膜炎 (83) 成人麻しん (84) 無菌性髄膜炎
中央保健所		(9) コレラ (10) 細菌性赤痢 (12) 腸チフス (13) パラチフス	(14) 腸管出血性大腸菌感染症		(51) 後天性免疫不全症候群	

別表2 感染症別の採取材料一覧表

検査対象感染症名	病原体	危険度	採取検査材料										検査方法				検査担当機関
			血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検生検材料/ その他	培養法	抗原検出法	抗体検出法	遺伝子検出			
3重症急性呼吸器症候群	V	L3										肺					衛環研
8急性灰白髄炎	V	L2	S														衛環研
9コレラ	B	L2															保健所
10細菌性赤痢	B	L2															保健所
11ジフテリア	B	L2	S														衛環研
12腸チフス	B	L3															保健所
13パラチフス	B	L3															保健所
14腸管出血性大腸菌感染症	B	L2															保健所
15 E 型肝炎		L2	S														衛環研
16ウエストナイル熱		L3	S									脳					衛環研
18エキノコックス症	糸虫	L1	S									手術材料					感染研
19黄熱	V	L3										肝臓					感染研
20オウム病	クラミジア	L2										痰、気管吸引液					感染研
21回帰熱	スピロヘータ	L3															感染研
22Q熱	リケッチア	L3															衛環研
23狂犬病	V	L3										脳、気管吸引液					感染研
24高病原性鳥インフルエンザ	V	L3	S									肺、気管吸引液					衛環研
25コクシジオイデス症	真菌	L3										痰、膿、肺					感染研
26サル痘	V L3 扱い	L2	S														感染研
27腎症候性出血熱	V	L3															感染研
28炭疽	B	L3										痰、腹水、胸水					衛環研
29つつが虫病	リケッチア	L3															衛環研
30デング熱	V	L2															感染研
31ニバウイルス感染症	V	L4	S														感染研
32日本紅斑熱	リケッチア	L3															衛環研
33日本脳炎	V	L2										脳					衛環研
34ハンタウイルス肺症候群	V	L3															感染研
35 B ウイルス病	V	L3	S									皮膚病巣					感染研
36ブルセラ病	B	L3															感染研
37癩しんちフス	リケッチア	L3										動物臓器					感染研
38ポツリヌス症	B	L2	S									摂取食品					衛環研
40野兔病	B	L3															感染研
41ライム病	スピロヘータ	L3										皮膚病巣					感染研
42リッサウイルス感染症	V	L3										脳					感染研
43レジオネラ症	B	L2	S									痰、気管吸引液					衛環研
44レプトスピラ症	スピロヘータ	L2															感染研
45アメーバ赤痢	原虫	L2	S									肝臓、腸、肝					衛環研
47急性脳炎	V、B	-															衛環研
49クワイツフェルト・ヤコブ病	プリオン	-										膿、扁桃、脾臓等					感染研
50劇症型溶血性レンサ球菌感染症	B	L2										皮膚、腹水、胸水					衛環研
51後天性免疫不全症候群	V	L3															保健所
53髄膜炎菌性髄膜炎	B	L2															衛環研
54先天性風しん症候群	V	L2										白内障レンズ					感染研
56破傷風	B	L2	S									皮膚病巣					衛環研
57バンコマイシン耐性ブドウ球菌感染症		L2															感染研
58バンコマイシン耐性腸球菌感染症		L2															感染研
60咽頭結膜熱	V	L2										痰、気管吸引液					衛環研
61 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	B	L2															衛環研
62感染症胃腸炎	V、B	L2	S														衛環研
64手足口病	V	L2	S														衛環研
67百日咳	B	L2	S									痰、鼻咽頭分泌物					衛環研
69ヘルパンギーナ	V	L2	S														衛環研
70麻疹	V	L2										脳(SSPE)					衛環研
71流行性耳下腺炎	V	L2	S														衛環研
72インフルエンザ	V	L2	S									肺、脳					衛環研
73急性出血性結膜炎	V	L2	S														衛環研
74流行性角結膜炎	V	L2	S														衛環研
80細菌菌性髄膜炎	B	L2															衛環研
83成人麻疹	V	L2															衛環研
84無菌性髄膜炎	V	L2	S														衛環研

(注) 病原体: B...細菌、V...ウイルス

血液・血清: S...血清、...全血液

検査担当機関: 感染研...国立感染症研究所、衛環研...衛生環境研究所、保健所...中央保健所

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書
平成 16 年(2004 年)

平成 17 年 9 月発行

発 行 愛媛県感染症情報センター
(愛媛県立衛生環境研究所)
愛媛県松山市三番町 8 丁目 234 番地
電話(089)931-8757
